

昭和 59 年度

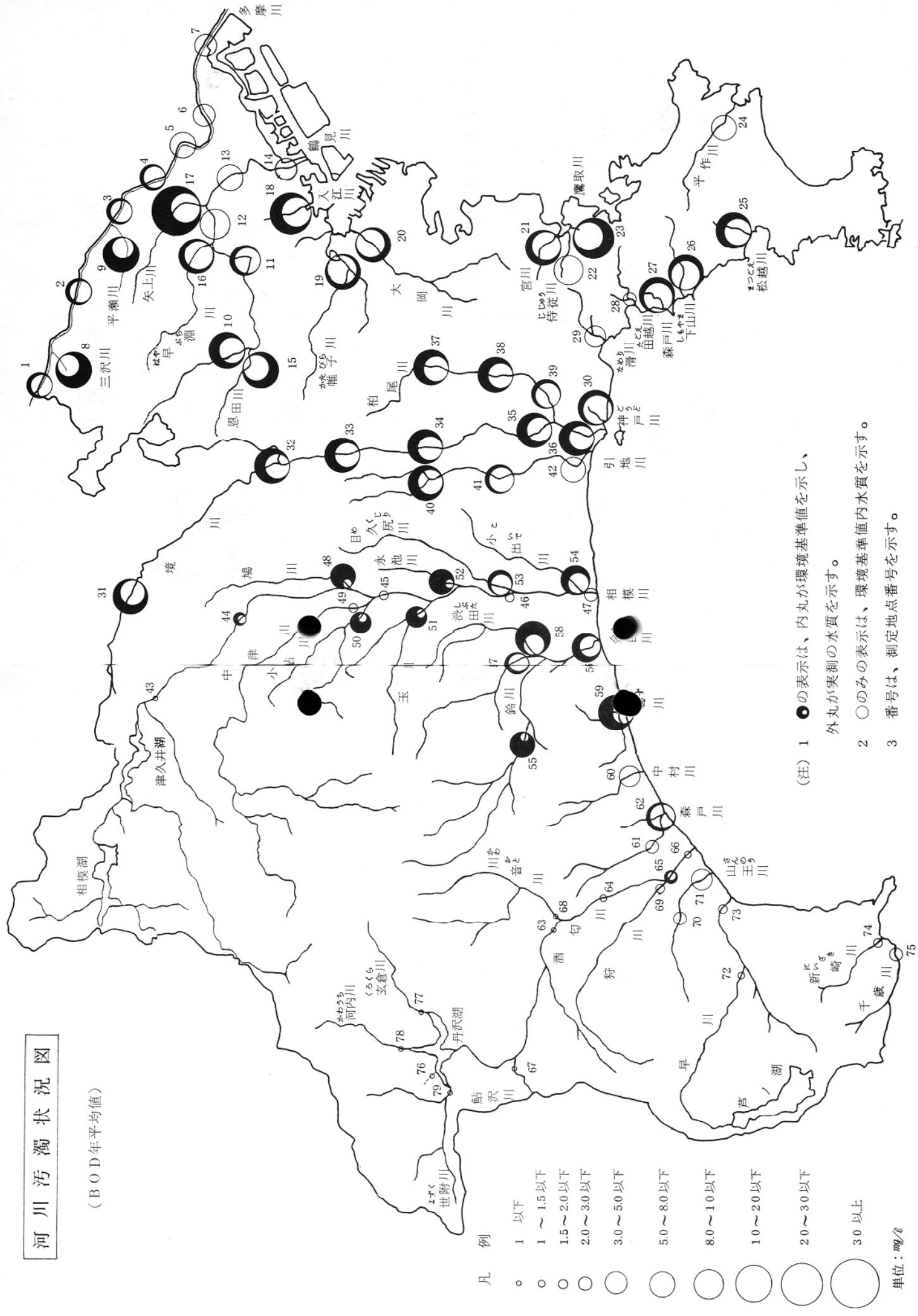
公共用水域水質測定結果

神奈川県・横浜市・川崎市

横須賀市・藤沢市・相模原市

河川汚濁状況図

(BOD年平均値)



(注) 1 ●の表示は、内丸が環境基準値を示し、外丸が実測の水質を示す。

2 ○のみの表示は、環境基準値内水質を示す。

3 番号は、測定地点番号を示す。

相模湖汚濁状況図

(BOD年平均値)



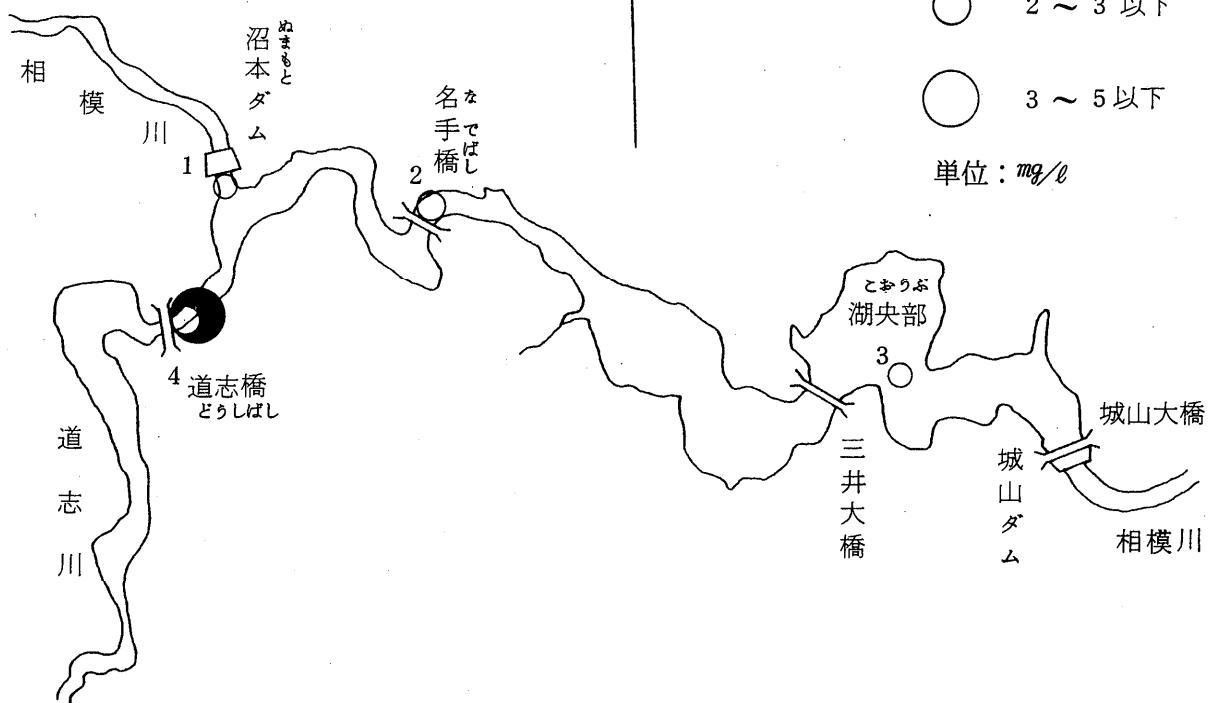
凡例

- 1 以下
- 1 ~ 1.5 以下
- 1.5 ~ 2 以下
- 2 ~ 3 以下
- 3 ~ 5 以下

単位: mg/l

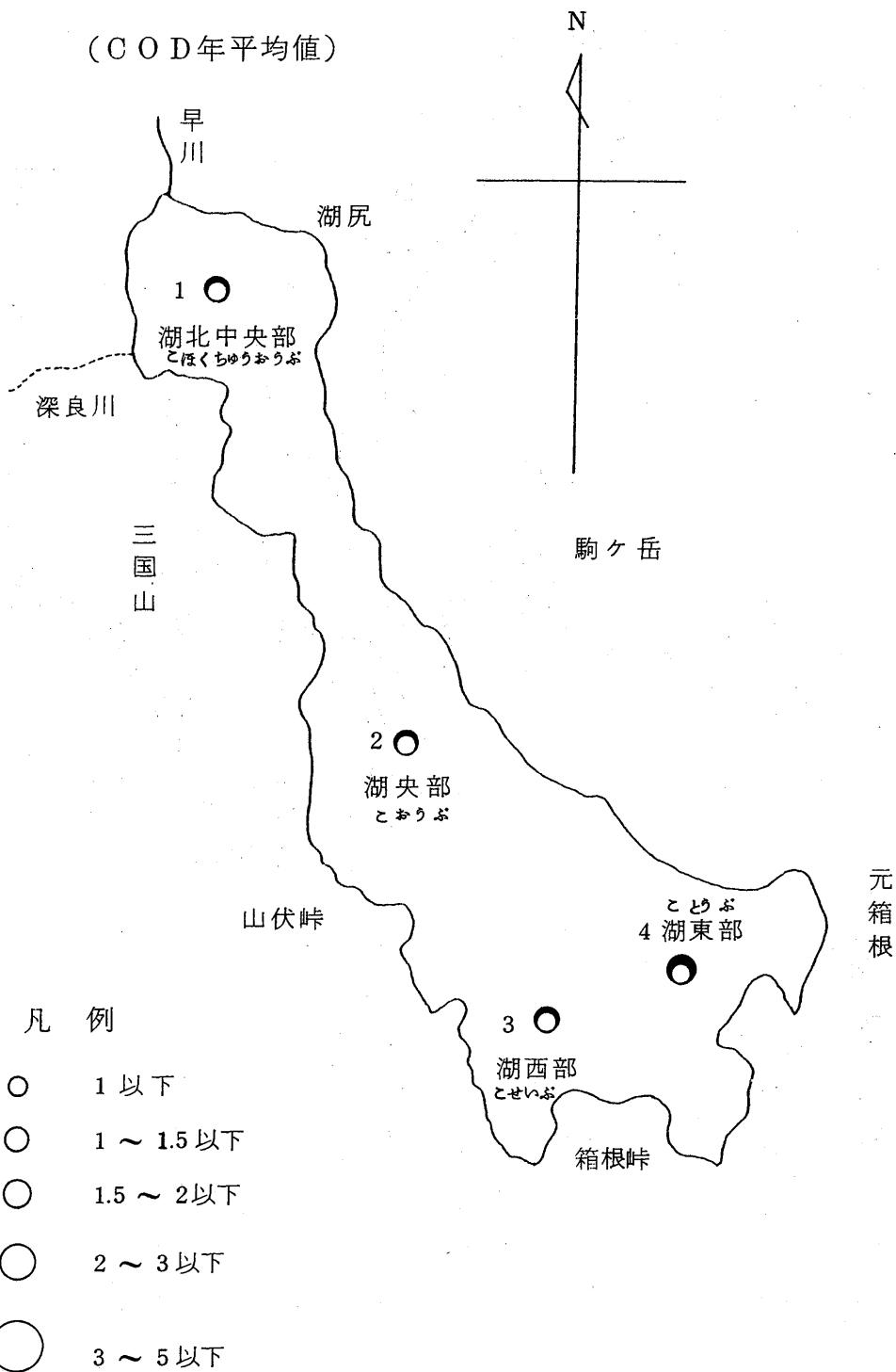
津久井湖汚濁状況図

(BOD年平均値)



芦ノ湖汚濁状況図

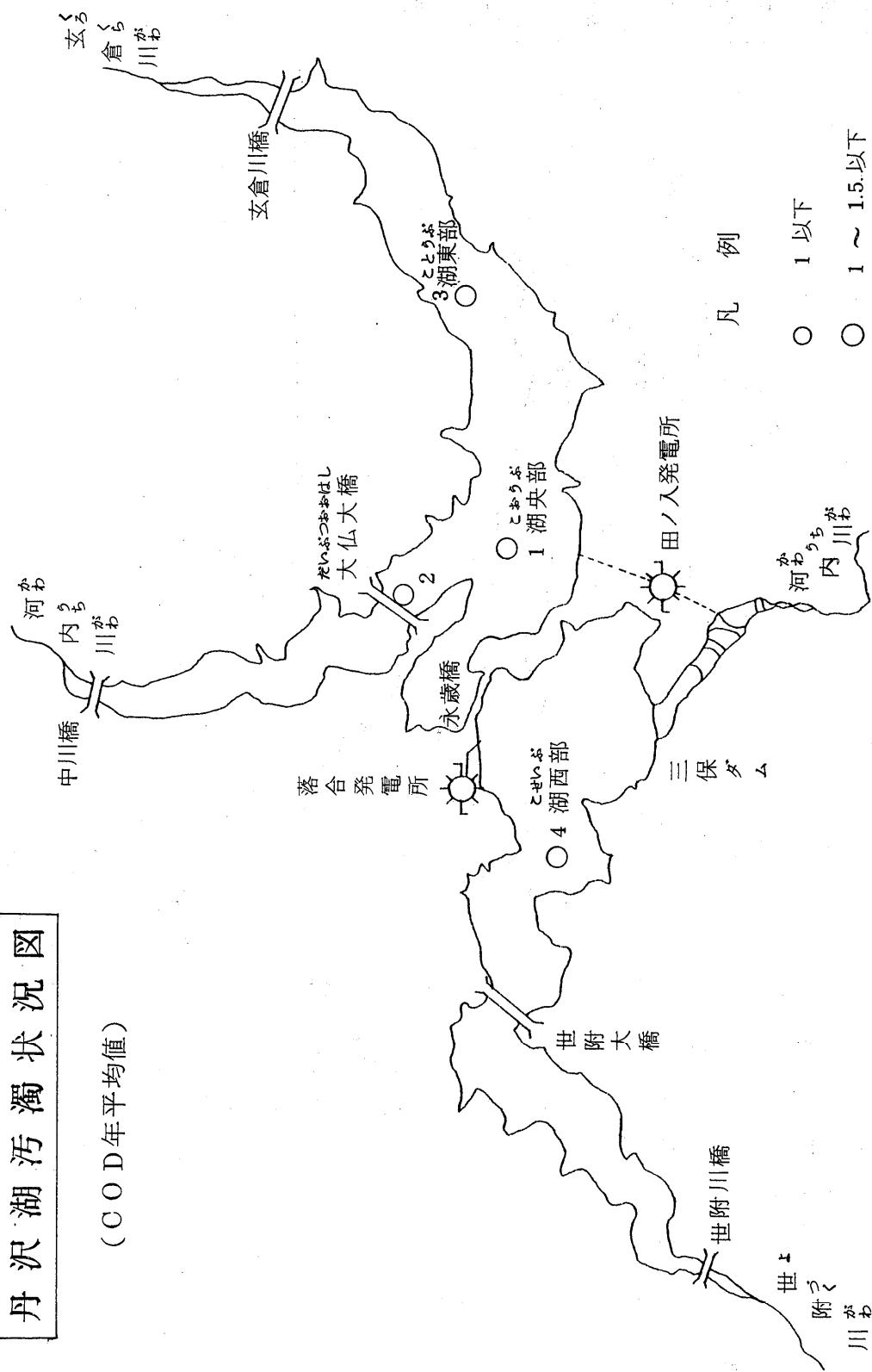
(C O D年平均値)



単位: mg/l

丹沢湖汚濁状況図

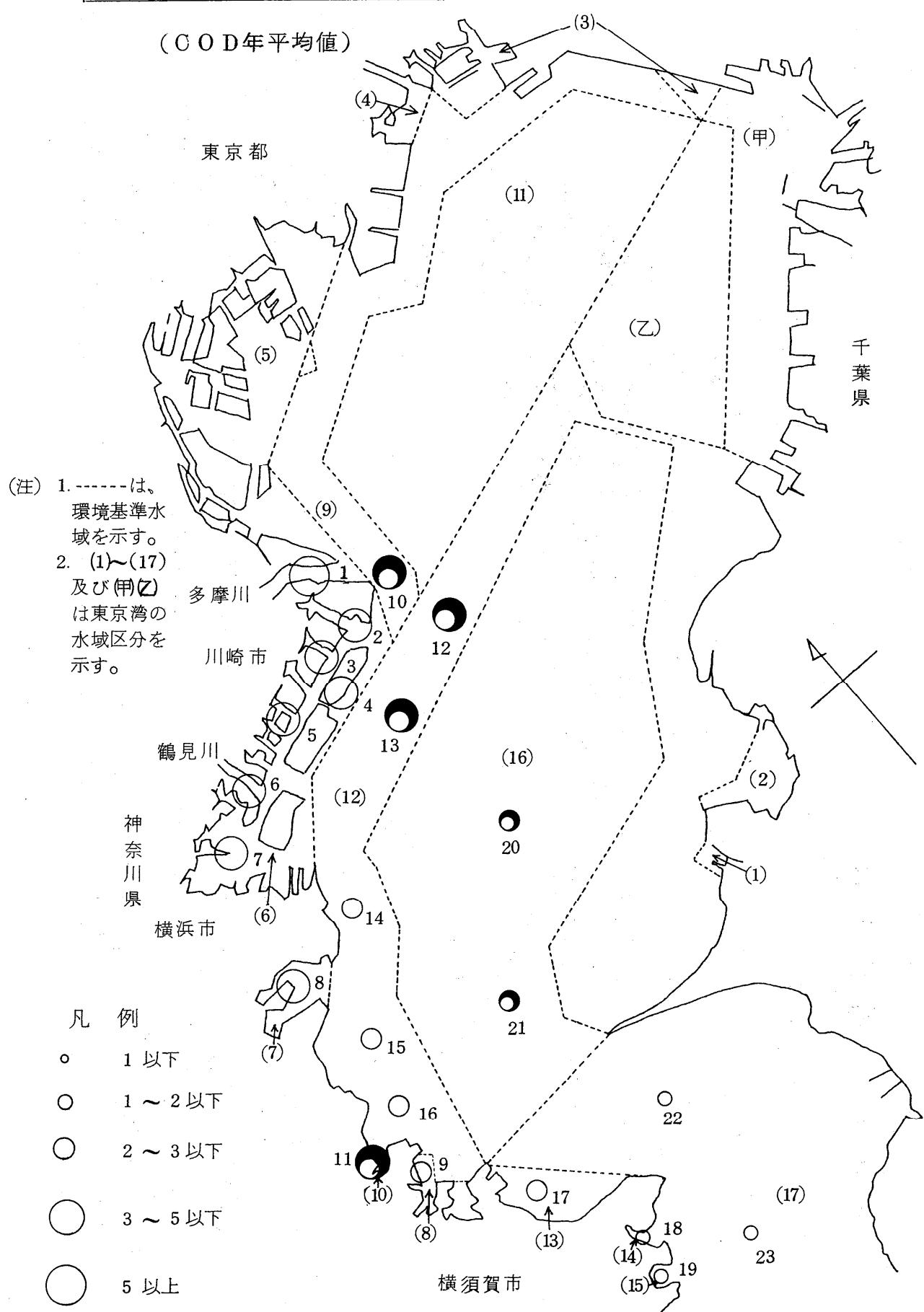
(C O D年平均値)



単位: mg/l

東京湾汚濁状況図

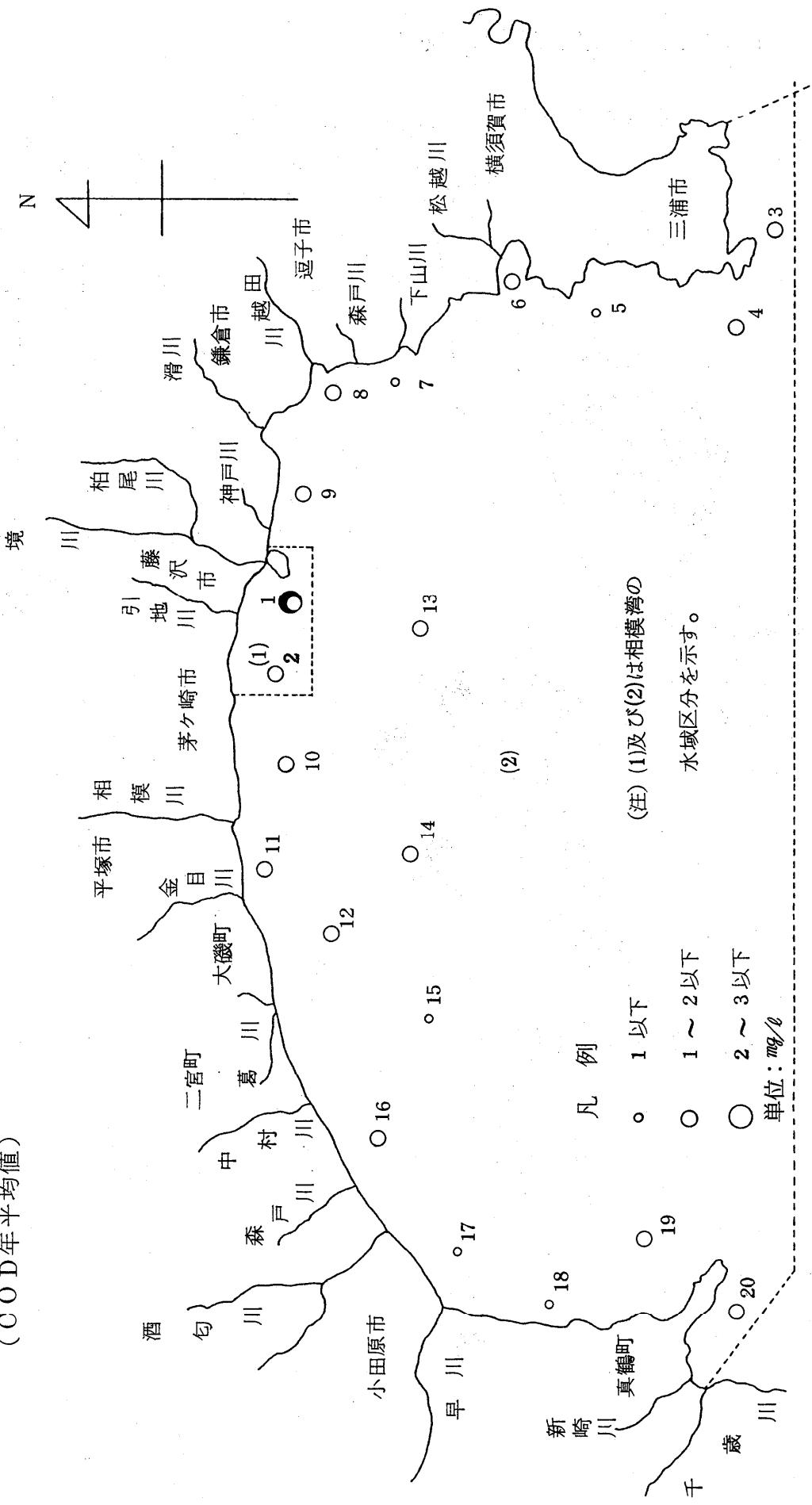
(C O D年平均値)



単位: mg/l

凶況況狀濁污灣模相

(C0D年平均值)



目 次

1	測定水域及び測定地点	1
2	測 定 期 間	1
3	測 定 頻 度	1
4	分折方法及び分折項目	1
5	県内公共用水域の概況	1
	(1) 河 川	1
	(2) 湖 沼	3
	ア 相 模 湖	3
)	イ 津久井湖	3
	ウ 芦 ノ 湖	3
	エ 丹 泽 湖	3
	(3) 海 域	3
	ア 東 京 湾	3
	イ 相 模 湾	4
6	測定結果の概要	4
	(1) 河 川	4
	(2) 湖 沼	4
	ア 相 模 湖	4
)	イ 津久井湖	5
	ウ 芦 ノ 湖	5
	エ 丹 泽 湖	5
	(3) 海 域	6
	ア 東 京 湾	6
	イ 相 模 湾	6
7	測定結果の考察	6
	(1) 河 川	6
	(2) 湖 沼	9
	ア 相 模 湖	9
	イ 津久井湖	10
	ウ 芦 ノ 湖	10
	エ 丹 泽 湖	10

(3) 海域	11
ア 東京湾	11
イ 相模湾	11

図表

1 河川	
BOD縦断変化 図1	15
水質経年変化 図2	20
水質経月変化 図3	23
2 湖沼	
水質経年変化 図4・5	25
水質経月変化 図6	33
3 海域	
(1) 東京湾	37
水質経年変化 図7・8	37
水質経月変化 図9	45
(2) 相模湾	51
水質経年変化 図10・11	51
水質経月変化 図12	55

表

表1 各測定地点におけるBOD(COD) 年平均値経年変化	62
表2 各測定地点におけるBOD(COD) 75%値経年変化	71
表3 生活環境項目類型別総括表	80
表4 生活環境項目の環境基準値を超えた割合	82
表5 健康項目の環境基準値を超えた割合	84
表6 BOD(COD) の環境基準達成状況	86

公共用水域水質測定結果表	89
--------------	----

参考資料

1 水質汚濁に係る環境基準について(抜粋)	192
2 県内公共用水域が該当する水質汚濁に係る環境基準の水域類型	199
3 県内河川の概要	201
4 県内湖沼の概要	203

神奈川県は、水質汚濁防止法第16条の規定に基づき、昭和59年度の測定計画を作成し、建設省、横浜市、川崎市、横須賀市、藤沢市及び相模原市と共同で、公共用水域の水質測定を実施した。その結果は、次のとおりである。

1 測定水域及び測定地点

測定水域 33 水域

測定地点 139 地点

河 川	79 地点
湖 沼	17 "
海 域	43 "

2 測定期間

測定期間は、昭和59年4月から昭和60年3月までである。

3 測定頻度

測定頻度は、原則として次のとおりである。

河 川 毎月、1日6時間間隔で4回

湖 沼 每月、1日1回2層
海 域

4 分析方法及び分析項目

分析方法は、環境基準及び排水基準に定められた方法等によった。

分析項目は、原則として毎月、環境基準の健康項目（河川及び海域それぞれ6項目、湖沼1項目）、生活環境項目（河川8項目、湖沼9項目、海域7項目）及び環境基準以外の項目（河川12項目、湖沼7項目及び海域7項目）について分析した。

なお、8月及び2月には、上記の項目以外の健康項目（河川及び海域3項目、湖沼8項目）、生活環境項目（河川1項目）及び環境基準以外の項目（河川2項目、湖沼8項目、海域7項目）についても分析した。

5 県内公共用水域の概況

(1) 河 川

本県の河川は、地勢上小河川が多いが、1級河川として、多摩川、鶴見川及び相模川があり、2級河川として酒匂川、境川の他21の河川がある。相模川から西側の河川は、丹沢、箱根等の山岳部を水源とする急流の河川が多く、東側の河川は、緩やかな流れの

川が多くなっている。

本県は、首都に隣接し、交通が便利であることなどもあって、早くから京浜工業地帯などの工場群を抱えている。さらに近年では、県内奥深くまで開発が進み、自然環境の改変が著しい。こうした社会的、経済的事情は、当然のことながら河川環境に大きな影響を与えていている。

ア 多 摩 川

多摩川は、山梨県北東部の笠取山にその源を発し、奥多摩湖で数多くの支川を集めて関東山地を東に流れ、秋川、浅川などの支川を合わせ、神奈川県と東京都の境を流下し、東京湾に注いでいる。

多摩川の本川の水は、上流では東京都西多摩郡羽村堰で都の上水道用として取水され、中流から下流にかけては、支川からの水がほとんどである。県内では三沢川、平瀬川等が本川に流入している。

イ 鶴 見 川

鶴見川は、東京都町田市の丘陵部にその源を発し、恩田川、矢上川等の支川を集めながら緩やかに流れ、横浜市鶴見区で東京湾に注いでいる。流域は、都市化が進んでおり、特に、中流部から河口にかけては工場も多く、人口も密集している。

ウ 帷 子 川

帷子川は、横浜市旭区上川井町地先にその源を発し、市の中央部を東に流れ、横浜駅付近を経て、数本の運河に分かれて東京湾に注いでいる。

エ 平 作 川

平作川は、三浦半島中央に位置する大楠山付近にその源を発し、横須賀市の中央部を縦断し、途中多くの雨水幹線を集め久里浜港に注いでいる。

オ 境 川

境川は、城山湖付近にその源を発し、都県境を南東に流れ、町田市南端から県内に入り、さらに南に流れ藤沢市で柏尾川を合わせて相模湾に注いでいる。流域は、相模原市、横浜市、藤沢市等の都市化の著しい区域を抱えている。

カ 引 地 川

引地川は、大和市上草柳の湧水にその源を発し、途中蓼川を合わせて南に流れ、藤沢市鵠沼海岸で相模湾に注いでいる。小田急江ノ島線が流域東部を河川と並行に走っていること等により沿川全域にわたって都市化が進んでいる。

キ 相 模 川

相模川は、富士山麓にその源を発し、山梨県内で数々の支川を集め甲州街道に沿って流下する。県境の境川橋で桂川から相模川と名を変え、相模湖、津久井湖を経て、

途中中津川等の支川を合わせて相模平野を緩やかに流れ相模湾に注いでいる。相模川の水は、県民の最も重要な飲料水源となっている。

ク 金 目 川

金目川は、丹沢山塊の南東部にその源を発し、秦野市内で葛葉川、水無川、室川を合わせて東に流れ、さらに平塚市で渋田川等を合わせて相模湾に注いでいる。流域は、人口増加が著しく都市化の波が押し寄せている。

ケ 酒 勾 川

酒勾川は、富士山東麓にその源を発し、途中河内川、川音川、狩川などの支川を合わせて本県西部を南に流れ、小田原市内で相模湾に注いでいる。小田原市飯泉堰から取水される水は、県民の重要な飲料水源となっている。

コ 早 川

早川は、芦ノ湖にその源を発し、深い谷を南東に流れ、湯本で支川の須雲川を合わせて小田原市早川口で相模湾に注いでいる。流域は、上流部の仙石原を除き平地に乏しいが、川沿いに温泉旅館が点在している。

(2) 湖 沼

ア 相 模 湖

相模湖は、昭和19年に完成した相模ダムによって相模川が堰き止められてできた人造湖である。湖周辺には、藤野町、相模湖町の集落が河岸段丘上に位置し、ダム近くには観光施設が集まっており、行楽シーズンには多くの観光客が訪れている。

イ 津久井 湖

津久井湖は、昭和40年に完成した城山ダムによって相模湖からの流出水が堰き止められてできた人造湖であり、湖周辺には、津久井町等の集落が形成されている。津久井湖では城山湖（本沢調整池）を上池として揚水発電が行われている。

ウ 芦 ノ 湖

芦ノ湖は、箱根火山により誕生した風光明媚な天然湖であり、その水は、大部分が湖底からの湧き水である。湖畔には、毎年多くの観光客が訪れており、旅館等の観光施設が点在している。

エ 丹 泽 湖

丹沢湖は、昭和53年に完成した三保ダムによって酒勾川の支川の河内川が堰き止められてできた人造湖である。湖周辺及び流入河川（玄倉川、河内川、世附川）流域の人口は少ないが、丹沢湖を訪れる観光客は徐々に増加している。

(3) 海 域

ア 東 京 湾

東京湾は、房総半島と三浦半島に囲まれ、浦賀水道で太平洋につながる湾口の狭い閉鎖性水域である。その臨海部は、大工業地帯として発達しており、また、内陸部においても多くの人口を抱え活発な経済活動が営まれている。東京湾の海岸をみると川崎から横浜の金沢に至る地域は、工業用地造成のため埋め立てが進み、人工的な海岸に変貌しており、自然海岸は三浦半島に行かなければみられない。

イ 相 模 湾

相模湾は、太平洋に面した開放型の湾で、その沖合には黒潮が流れしており、定置網漁業、わかめ養殖等の沿岸漁業が行われている。また、海岸は、変化に富み数多くの景勝地があり、海水浴場などの観光地として利用されている。

6 測定結果の概要

注 ()内の数値は、前年度を示す。

(1) 河 川

ア 健 康 項 目

健康項目は、79 地点、延 10,271 検体について測定した。この結果境川において藤沢市内でシアン、相模原市内でカドミウムが、それぞれ 1 検体検出された。

その他の項目は、すべて環境基準に適合していた。

イ 生 活 環 境 項 目

生活環境項目は、79 地点、延 19,984 検体について測定した。このうち環境基準が定められているものは、延 15,430 検体で、環境基準値を超えたものは、延 3,245 検体で、環境基準値を超えた割合(以下「不適合率」という。)は、21.0%(18.6%)である。

項目別の不適合率は、pH(水素イオン濃度)1.3%(0.5%)、BOD(生物化学的酸素要求量)50.6%(44.8%)、SS(浮遊物質量)2.0%(3.9%)、DO(溶存酸素量)15.0%(9.3%)及び大腸菌群数 85.7%(84.6%)となっている。

(2) 湖 沼

ア 相 模 湖

(ア) 健 康 項 目

健康項目は、5 地点、延 140 検体について測定した。この結果すべての項目が環境基準に適合していた。

(イ) 生 活 環 境 項 目

生活環境項目は、5 地点、延 420 検体について測定した。このうち環境基準が定められているのは、延 300 検体で、環境基準値を超えたものは、67 検体、不適合率は、

22.3 % (20.3 %)である。

項目別の不適合率は、pH 6.7 % (3.3 %)、BOD 23.3 % (11.7 %)、SS 6.7 % (6.7 %)、DO 13.3 % (3.3 %)及び大腸菌群数 61.7 % (76.7 %)となっている。

イ 津久井湖

(ア) 健康項目

健康項目は、4地点、延112検体について測定した。この結果すべての項目が環境基準に適合していた。

(イ) 生活環境項目

生活環境項目は、4地点、延336検体について測定した。このうち環境基準が定められているのは、延240検体で、環境基準値を超えたものは、33検体、不適合率は、14.0 % (17.9 %)である。

項目別の不適合率は、pH 6.3 % (21.3 %)、BOD 25.0 % (31.9 %)、SS 2.1 % (4.3 %)、DO 18.8 % (2.1 %)及び大腸菌群数 16.7 % (29.8 %)となっている。

ウ 芦ノ湖

(ア) 健康項目

健康項目は、4地点、延112検体について測定した。この結果すべての項目が環境基準に適合していた。

(イ) 生活環境項目

生活環境項目は、4地点、延336検体について測定した。このうち環境基準が定められているのは、延240検体で、環境基準値を超えたものは、延94検体、不適合率は、39.2 % (43.3 %)である。

項目別の不適合率は、pH 0 % (6.3 %)、COD(化学的酸素要求量) 95.8 % (83.3 %)、SS 43.8 % (60.4 %)、DO 29.2 % (35.4 %)及び大腸菌群数 27.1 % (31.3 %)となっている。

エ 丹沢湖

(ア) 健康項目

健康項目は、4地点、延112検体について測定した。この結果すべての項目が環境基準に適合していた。

(イ) 生活環境項目

生活環境項目は、4地点、延336検体について測定した。このうち環境基準が定められているものは、延240検体で、環境基準値を超えたものは、延17検体、不適合率は、7.1 % (7.9 %)である。

項目別の不適合率は、pH 0 % (0 %)、COD 8.3 % (2.1 %)、SS 0 % (31.3 %)、

DO 27.1 % (6.3 %) 及び大腸菌群数 0 % (0 %) となっている。

(3) 海 域

ア 東 京 湾

(ア) 健康項目

健康項目は、23 地点、延 1,794 検体について測定した。この結果すべての項目が環境基準に適合していた。

(イ) 生活環境項目

生活環境項目は、23 地点、延 1,380 検体について測定した。このうち環境基準が定められているものは、延 1,044 検体で、環境基準値を超えたものは、延 120 検体、不適合率は、11.5 % (9.6 %) である。

項目別の不適合率は、pH 6.2 % (5.4 %)、COD 27.5 % (20.3 %)、DO 9.1 % (9.8 %)、大腸菌群数 0 % (2.1 %) 及び n-ヘキサン抽出物質(油分等) 1.2% (0.6%) となっている。

イ 相 模 湾

(ア) 健康項目

健康項目は、20 地点、延 1,560 検体について測定した。この結果すべての項目が環境基準に適合していた。

(イ) 生活環境項目

生活環境項目は、20 地点、延 1,200 検体について測定した。このうち環境基準値を超えたものは、延 159 検体、不適合率は、13.3 % (17.6 %) である。

項目別の不適合率は、pH 4.6 % (11.7 %)、COD 12.1 % (7.9 %)、DO 34.6 % (55.0 %)、大腸菌群数 15.0 % (12.5 %) 及び n-ヘキサン抽出物質(油分等) 0 % (0.8 %) となっている。

7 測定結果の考察

(1) 河 川

健康項目については、境川でシアン(境川橋) 及びカドミウム(境橋) が環境基準値を超えて検出され、それぞれ原因を究明するため追跡調査を実施したが原因を特定するには至らなかった。

生活環境項目の不適合率は 21.0 % と、前年度の 18.6 % に比べて増加しているが、ここ数年間はほぼ横ばいの状況にある。

項目別に不適合率をみると、pH、SS はそれぞれ 1.3 %、2.0 % と低い状況にあるが、DO は 15.0 % と例年の 10 % 前後に比べ高い。BOD、大腸菌群数は、それぞれ 50.6 %、

85.7 %と依然として高い割合となっている。

特に河川の水質を示す代表的指標であるBODについて、利用目的に応じて定められた環境基準の類型別に不適合率をみると、A類型の地点では41.1 %（前年度35.7 %）、C類型77.6 %（前年度60.7 %）、E類型39.5 %（前年度35.0 %）といずれも前年度と比べ高くなっている。B類型では7.6 %（前年度15.3 %）と低くなり、D類型では57.8 %（前年度56.3 %）とほとんど変化がみられない。

各地点のBODの年平均値は、経年的には大きな変化がみられないものの、前年度と比較すると悪くなった地点が増加した。

県内河川の水質は、従来と同様に金目川以東の都市とその近郊を流域とする河川の汚濁が著しい。また、比較的良好な水質を保ってきた県西部の河川についても、酒匂川の飯泉取水堰でBODの年平均値が環境基準値を超えるなど、全般的に水質の悪化がみられた。この原因のひとつとして、降雨量が昭和54年度から58年度までの5年間の平均を100とした場合の66と少なく、河川の流量が低下したことの影響を挙げることができる。

ア 多 摩 川

本川の7地点のBOD年平均値は、3.4～7.4 mg/lと前年度の2.7～5.9 mg/lに比べやや高くなっています、4地点で環境基準値を超えている。

上流から下流へかけての水質変化をみると、上流の多摩川原橋で6.9 mg/lであったものが、多摩水道橋では5.2 mg/lとやや低くなり、中流部の二子橋では人口密集地を流れる平瀬川等の流入支川があり、7.4 mg/lと再び高くなっています。潮汐の影響を受ける下流部では、河口に近づくほど低い値を示し、ガス橋、六郷橋及び大師橋では環境基準値以下となっている。

流入支川の三沢川及び平瀬川は、生活排水等が原因となって、それぞれ19 mg/l、14 mg/lと本川に比べ高い値となっている。

イ 鶴 見 川

本川の5地点のBOD年平均値は、4.3～13 mg/lと、前年度の3.5～9.8 mg/lと比べ高くなっています、2地点で環境基準値を超えている。

上流から下流へかけての水質変化をみると、上流の千代橋で13 mg/l、中流部の亀の子橋10 mg/l、大綱橋9.7 mg/lであったものが、末吉橋では潮汐の影響を受け8.0 mg/lとやや低くなり、さらに下流部の臨港鶴見川橋では4.3 mg/lとなっている。

流入支川では恩田川、早瀬川が、それぞれ15 mg/l、17 mg/lといずれも本川に比べ高く、特に生活排水の影響の大きい矢上川は、35 mg/lと著しく高い値となっている。

ウ 横浜市内河川

横浜市内河川のうち、帷子川、大岡川、宮川及び侍従川のBOD年平均値は、8.1～20 mg/l とここ数年横ばいの状況にあり、侍従川以外の河川は環境基準値を超えている。

入江川は、下水道の整備がすすみ、昭和54年頃から水質の改善がみられてきたが、BOD年平均値は25 mg/l と依然として環境基準値を超えている。

エ 横須賀市内河川

鷹取川のBOD年平均値は21 mg/l と依然として高い値を示し、松越川は19 mg/l と、ここ数年やや高くなる傾向にある。両河川とも生活排水の影響を受け、環境基準値を超えている。

平作川は、7.1 mg/l と、前年度の8.6 mg/l と比べて低くなっている。ここ数年は横ばいの状況にあり環境基準値以下である。

オ 湘南河川

田越川及び滑川のBOD年平均値は、それぞれ2.3 mg/l 、4.2 mg/l となっており、ともに環境基準値以下である。

森戸川では前年度と同様の11 mg/l となっている。

下山川は13 mg/l と、前年度8.4 mg/l と比べて高くなり年々汚濁が進む傾向にある。神戸川では17 mg/l と、前年度の19 mg/l と比べ低いが、両河川とも環境基準値を超えている。

これらの3河川は、流域が狭く流量が少ないとから、生活排水の影響を強く受けていることがうかがえる。

引地川は、前年度とほぼ同様の7.2～11 mg/l であり、ここ数年は横ばいの状況にある。

カ 境 川

本川の6地点のBOD年平均値は、11～20 mg/l と、前年度の10～18 mg/l に比べやや高くなっている、すべての地点が環境基準値を超えている。

上流から下流へかけての水質変化みると、境橋で14 mg/l であったものが鶴間橋では19 mg/l 、高鎌橋では20 mg/l と高くなっている、下流の境川橋で11 mg/l と低くなっている。

また、流入支川の柏尾川は、吉倉橋、鷹匠橋がそれぞれ18 mg/l 、13 mg/l で、本川との合流前の川名橋が8.6 mg/l となっており、3地点ともここ数年は大きな変化はみられない。

キ 相 模 川

本川の5地点のBOD年平均値は、1.0～2.9 mg/l と、前年度1.0～1.9 mg/l と比

べて小倉橋を除く各地点で高くなっている、昭和橋では環境基準値を超えていている。

上流から下流へかけての水質変化をみると、小倉橋で 1.0 mg/l であったものが、昭和橋で 2.5 mg/l と高くなり、相模大橋、寒川取水堰（上）ではそれぞれ 1.8 mg/l となり、下流の馬入橋では 2.9 mg/l となっている。

流入支川では、中津川が 1.8 mg/l と前年度の 1.5 mg/l に比べわずかに高くなっている。

その他、鳩川、小鮎川等の支川では $3.9 \sim 6.9 \text{ mg/l}$ と、前年度の $4.3 \sim 8.6 \text{ mg/l}$ に比べ低くなっているが、寒川取水堰において上水道水源として取水されていることを考慮すると良好な水質とはいえない状況にある。寒川取水堰より下流で本川に合流する目久尻川及び小出川では、前年度と同じく 6.8 mg/l 、 10 mg/l となっている。

ク 県西河川

金目川の本川 2 地点の BOD 年平均値は、小田急鉄橋で 6.4 mg/l と前年度 5.5 mg/l に比べ高くなっている、花水橋では 9.3 mg/l と、前年度 9.6 mg/l よりわずかに低くなっている。流入支川の鈴川及び渋田川は、それぞれ 7.6 mg/l 、 13 mg/l と前年度に比べ高く、本川、支川のすべての地点が環境基準値を超えていている。

葛川及び森戸川下流の親木橋では、それぞれ 11 mg/l 、 10 mg/l と前年度に比べ高くなっているが環境基準値を超えていている。

早川の 2 地点は 1.3 mg/l 、 1.9 mg/l と、前年度の 1.0 mg/l 、 1.5 mg/l に比べわずかに高くなっている。

中村川、山王川、新崎川、千歳川の各河川では、 $1.9 \sim 4.2 \text{ mg/l}$ と前年度の $1.3 \sim 3.5 \text{ mg/l}$ に比べわずかに高くなっているがいずれも環境基準値以下となっている。

ケ 酒匂川

本川の 4 地点の BOD 年平均値は、 $0.8 \sim 2.1 \text{ mg/l}$ と、前年度 $0.7 \sim 1.6 \text{ mg/l}$ に比べ高くなり、飯泉取水堰（上）では 2.1 mg/l と環境基準値を超えてている。これは、6 ~ 12 月の BOD 年平均値が 1.3 mg/l と良好な水質を保っていたものの、4 月、5 月と 1 ~ 3 月の 5 か月の平均値が 3.2 mg/l と著しく高かったことによるものである。

上流から下流へかけての水質変化をみると、十文字橋及び報徳橋では、それぞれ 0.8 mg/l 、 1.1 mg/l と引き続き良好な水質に保たれているが、飯泉取水堰（上）では 2.1 mg/l と高くなり、下流の酒匂橋では 1.4 mg/l となっている。

流入支川についてみると鮎沢川、川音川は、それぞれ 0.9 mg/l 、 0.8 mg/l と前年度に比べわずかに高くなっているが、良好な水質に保たれている。

また、狩川は前年度とほぼ同様の 1.9 mg/l となっている。

(2) 湖沼

ア 相模湖

BOD年平均値は、 $1.5 \sim 2.1 \text{ mg/l}$ と、前年度 $1.0 \sim 1.5 \text{ mg/l}$ に比べ高くなっている。境川橋では 2.1 mg/l と環境基準値を超えていている。

湖沼の水質を示す代表的指標であるCODの各地点の年平均値は、 $2.3 \sim 3.5 \text{ mg/l}$ と、前年度 $2.1 \sim 2.5 \text{ mg/l}$ に比べ高くなっている。

相模湖では富栄養化が進み、春から夏にかけて上層のCODが下層に比較して高くなる現象がみられる。富栄養化の要因物質である窒素・磷の年平均値は、それぞれ $1.3 \sim 1.5 \text{ mg/l}$ 、 $0.085 \sim 0.16 \text{ mg/l}$ と依然として高い値にあり、アオコ等植物プランクトンの発生しやすい条件を備えている。

イ 津久井湖

BOD年平均値は、 $1.3 \sim 4.1 \text{ mg/l}$ と、前年度 $1.2 \sim 2.7 \text{ mg/l}$ に比べ高くなっている。道志橋では 4.1 mg/l と環境基準値を超えていている。

各地点のCOD年平均値は $2.3 \sim 5.8 \text{ mg/l}$ と、前年度の $2.3 \sim 3.3 \text{ mg/l}$ に比べ高くなっている。

津久井湖についても、相模湖と同様に富栄養化が進み、窒素・磷の年平均値は、それぞれ $1.3 \sim 2.1 \text{ mg/l}$ 、 $0.038 \sim 0.089 \text{ mg/l}$ と前年度に比べほとんど変化がみられない。

ウ 芦ノ湖

各地点のCOD年平均値は、 $1.4 \sim 1.6 \text{ mg/l}$ と、前年度と同様であったが、自然環境保全の目的から厳しい環境基準が適用されているため全ての地点で環境基準値を超えている。

窒素・磷についてみると、窒素は $0.22 \sim 0.34 \text{ mg/l}$ と前年度の $0.35 \sim 0.48 \text{ mg/l}$ と比べ低く、磷は $0.007 \sim 0.008 \text{ mg/l}$ と前年度の $0.008 \sim 0.010 \text{ mg/l}$ とほぼ同様になっている。

芦ノ湖は富栄養化の著しい現象はみられないが、汚濁からの回復が困難な天然湖として、今後とも水質の動向に留意する必要がある。

エ 丹沢湖

各地点のCOD年平均値は、 $1.2 \sim 1.4 \text{ mg/l}$ と、測定を始めた昭和55年度以降ほぼ横ばいであり、すべての地点で環境基準値以下である。

窒素・磷についても、それぞれ $0.52 \sim 0.54 \text{ mg/l}$ 、 $0.010 \sim 0.011 \text{ mg/l}$ と前年度の $0.47 \sim 0.50 \text{ mg/l}$ 、 $0.009 \sim 0.015 \text{ mg/l}$ と比べて大きな変化はみられず良好な水質が保たれている。

玄倉川、河内川等の流入河川のCOD年平均値は、 1.0 mg/l 以下と清浄な状況にある。

(3) 海域

ア 東京湾

生活環境項目の不適合率は 11.5 % と、前年度の 9.6 % と比べて増加している。

項目別の不適合率をみると、大腸菌群数、n-ヘキサン抽出物質、pH、DO はそれぞれ 0 %、1.2 %、6.2 %、9.1 % と低い状況にあるが、COD は 27.5 % と高い割合となっている。

海域の水質を示す代表的な指標である COD について、不適合率を類型別にみると、A 類型の地点が 35.4 % (前年度 27.1 %)、B 類型が 47.5 % (前年度 33.3 %)、C 類型が 1.9 % (前年度 2.8 %) となっている。

各地点の COD 年平均値は、川崎市から横浜市にかけての沿岸部と浮島沖から扇島沖にかけての 12 地点は 3.2 ~ 5.6 mg/l (全地点平均 4.2 mg/l) と、前年度 2.9 ~ 5.7 mg/l (全地点平均 3.9 mg/l) とほぼ同様であり、水質の改善はみられない。また、横浜市の本牧沖、富岡沖と横須賀市の沿岸部をあわせた 7 地点は、1.9 ~ 2.6 mg/l (全地点平均 2.3 mg/l) と、前年度の 1.6 ~ 2.4 mg/l (全地点平均 2.0 mg/l) と大きな変化は見られず、各地点とも環境基準値以下となっている。

湾央部の 4 地点では、1.5 ~ 2.6 mg/l (全地点平均 2.0 mg/l) と、前年度の 1.3 ~ 2.7 mg/l (全地点平均 1.9 mg/l) と比べて大きな変化はみられない。このうち中の瀬北、中の瀬南が、それぞれ 2.6 mg/l、2.1 mg/l と環境基準値を超えていている。

東京湾では、春から秋にかけて上層の pH、COD、クロロフィル a が高くなり、透明度も 1 m 程度まで低下する測定地点ができるなど、富栄養化の現象が著しい。

窒素・燐についてみると、窒素の年平均値は 0.53 ~ 4.0 mg/l (全地点平均 1.3 mg/l) と、前年度の 0.61 ~ 3.9 mg/l (全地点平均 1.3 mg/l) とほぼ同様であり、また、燐の年平均値も 0.032 ~ 0.23 mg/l (全地点平均 0.086 mg/l) と、前年度の 0.028 ~ 0.23 mg/l (全地点平均 0.080 mg/l) とほぼ同様である。いずれも海域としては、依然として高い値にあり赤潮の発生も多くみられた。

東京湾は奥行きが深く、湾口部が狭い閉鎖性水域であるため、外洋水との交換が悪く、大量の汚濁物質が流入することから、その水質改善ははかばかしくない。

イ 相模湾

生活環境項目の不適合率は 13.3 % と、前年度の 17.6 % と比べ減少している。

項目別の不適合率をみると、n-ヘキサン抽出物質、pH はそれぞれ 0 %、4.6 % と低い状況にあるが、COD、大腸菌群数、DO はそれぞれ 12.1 %、15.0 %、34.6 % と高い割合になっている。また、COD の各地点の年平均値は 0.9 ~ 2.2 mg/l (全地点平均 1.3 mg/l) と、前年度 0.9 ~ 2.0 mg/l (全地点平均 1.2 mg/l) とほぼ同様であり、流

入河川の影響を強く受ける 1 地点を除き環境基準値以下である。

窒素・磷の年平均値は、窒素が $0.28 \sim 0.80 \text{ mg/l}$ (全地点平均 0.39 mg/l)、磷が $0.017 \sim 0.046 \text{ mg/l}$ (全地点平均 0.023 mg/l) と、前年度の $0.40 \sim 1.4 \text{ mg/l}$ (全地点平均 0.54 mg/l)、 $0.017 \sim 0.067 \text{ mg/l}$ (全地点平均 0.024 mg/l) と比べて低くなっているものの、平塚沖など前年度より高くなっている地点もある。

各水域の水質の状況は、以上述べたとおりである。

健康項目については、河川の 2 地点を除きすべての水域で環境基準を達成している。しかし、シアン及びカドミウムが同一の河川から基準を超えて検出されている。低レベルの濃度であることと、検出後直ちに実施した追跡調査では検出されていないものの、沿川の環境が複雑な都市河川では、原因を特定することが困難であり、今後とも再発防止に向けて環境及び発生源の監視に努める必要がある。

生活環境項目に関しては、例年と比べて降雨量が少なく、河川流量の減少がみられるなどの自然条件を考慮しても、依然として改善がみられない。

この原因として、産業排水については、水質汚濁防止法及び神奈川県公害防止条例等に基づく工場・事業場に対する規制・指導と事業者の努力が相当の効果をもたらしているものの、一般家庭などから排出される生活排水が汚濁源として大きな割合を占めていることが挙げられる。そこで、県・市町村は、昭和 59 年度に生活排水の対策推進要綱を定め、下水道の整備を基本としつつ総合的な生活排水対策の推進に努めている。

人口密集地域を流れる河川や都市下水路のような自然の浄化機能が低下した水域では、水質、流量及び地理的条件などを考慮し、河川水そのものを浄化することも試みられている。また鶴見川下流などでは、しゅんせつが継続的に進められ、その効果もあらわれてきている。今後は、河川の地域における憩いの場としての役割りにさらに目を向けた施策を進める必要がある。

相模湖・津久井湖では、有機性汚濁物質の流入による一次汚濁のほか、アオコの発生など植物プランクトンの増殖による二次汚濁が顕著である。すでに昭和 54 年の夏季には、相模湖にアオコが異常発生し上水道の取水制限などの被害が生じている。

このため、昭和 57 年度からは、間欠式空気揚水筒を相模湖内に設置し、ばっ(曝)気による水質改善の効果を試験している。

今後も、窒素・磷の環境基準の類型指定とこれを維持達成するための排水規制の施

行、さらに昭和59年7月に公布された湖沼水質保全特別措置法に基づく対策を総合的に推進し、望ましい水質の保全と貴重な水資源の確保に努めていくことが必要である。

また、国立公園の貴重な自然の一部として、特に清浄な水質が求められている芦ノ湖では、湖周辺の旅館等の観光施設からの排水に対処するため、芦ノ湖周辺公共下水道の整備が進められている。

東京湾については、流入する河川や工場等から排出される有機性汚濁物質による一次汚濁に加え、窒素・磷などの栄養塩類の流入と、春から夏にかけての水温上昇や日照の影響から、赤潮などプランクトンの増殖による二次汚濁が顕著である。このため昭和55年7月からは、CODに係る水質総量規制が実施され、また、昭和57年7月からは富栄養化対策として窒素・磷を削減することを目的に「東京湾富栄養化対策指導指針」を定め、関係機関が協力して東京湾の水質汚濁の防止に努めている。

さらに、開放性水域ではあっても富栄養化の現象を呈している相模湾については、昭和59年5月に「相模湾富栄養化対策指導指針」を定め、窒素・磷の削減指導を実施している。

図表

※ 1日に複数の測定を行っている項目については、昭和57年度から日間平均値を求め、これによって年平均値を算出する方法に改めた。

これに伴い56年度以前の年平均値についても同様の方法により表示した。

河 川

)

)

(1) 主要河川におけるBOD縦断変化図(年平均値)

図1-1 多摩川におけるBOD縦断変化図

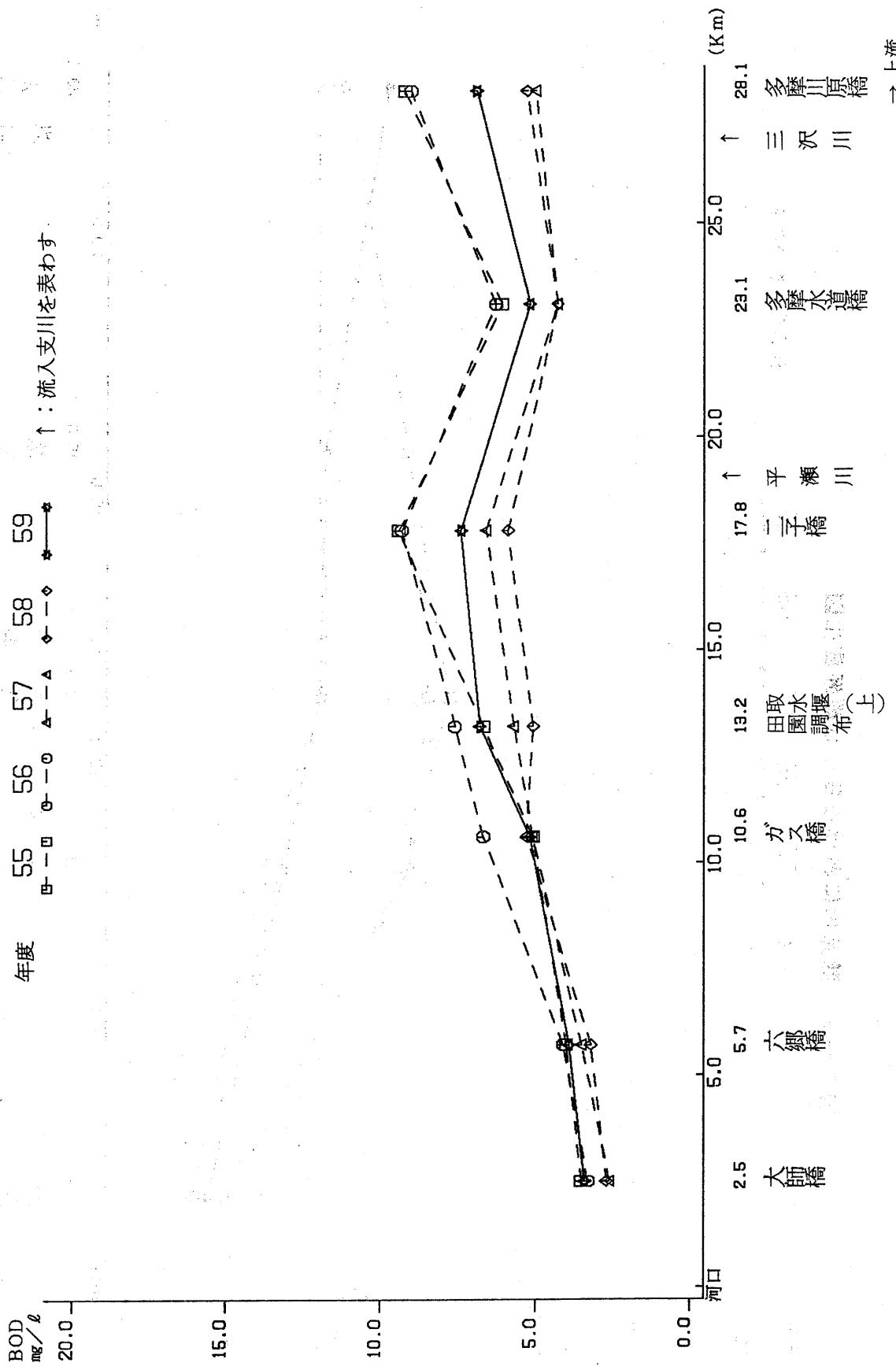


図 1-2 鶴見川におけるBOD縦断変化図

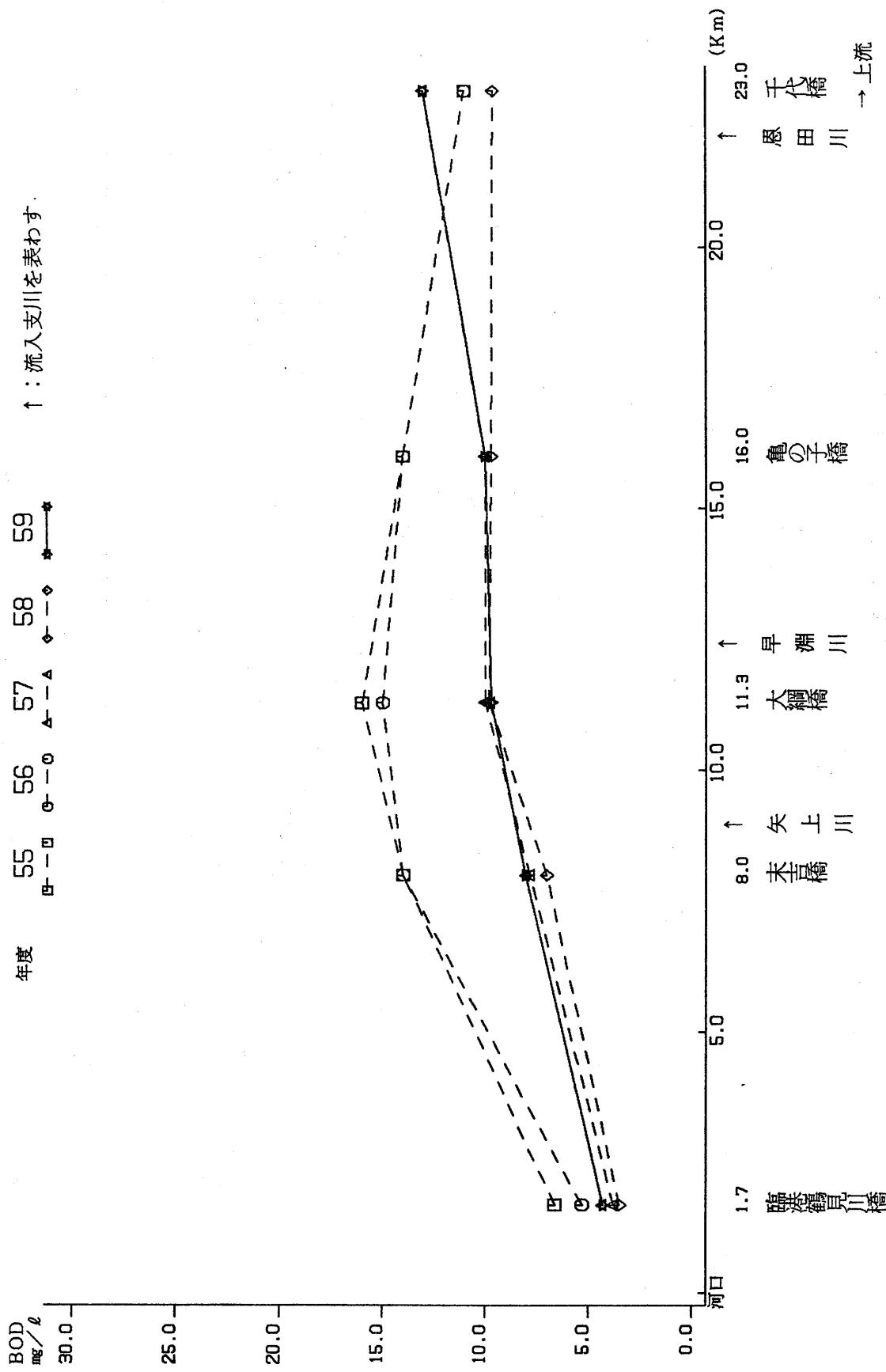


図 1-3 境川における BOD 緩断変化図

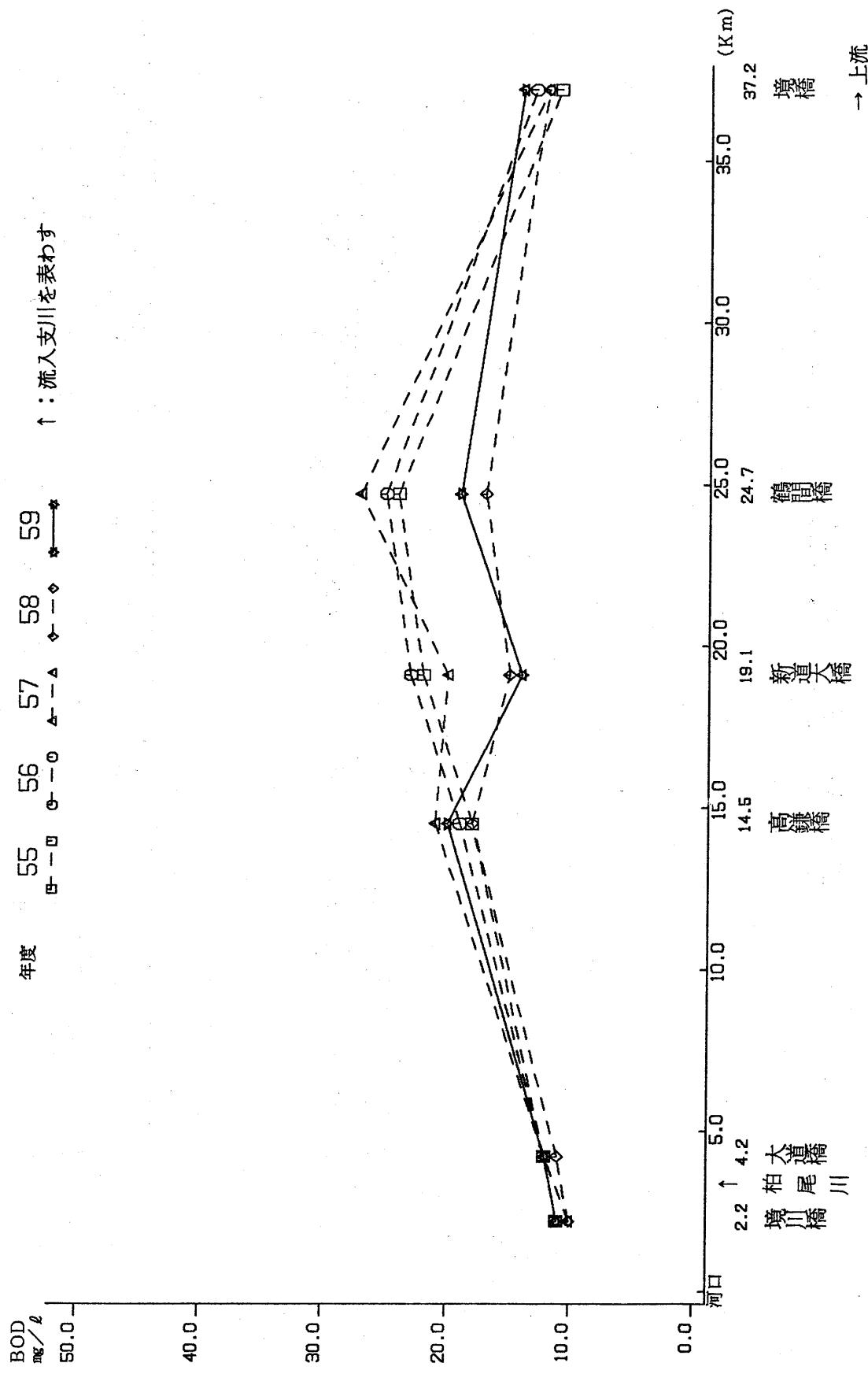


図 1-4 相模川におけるBOD縦断変化図

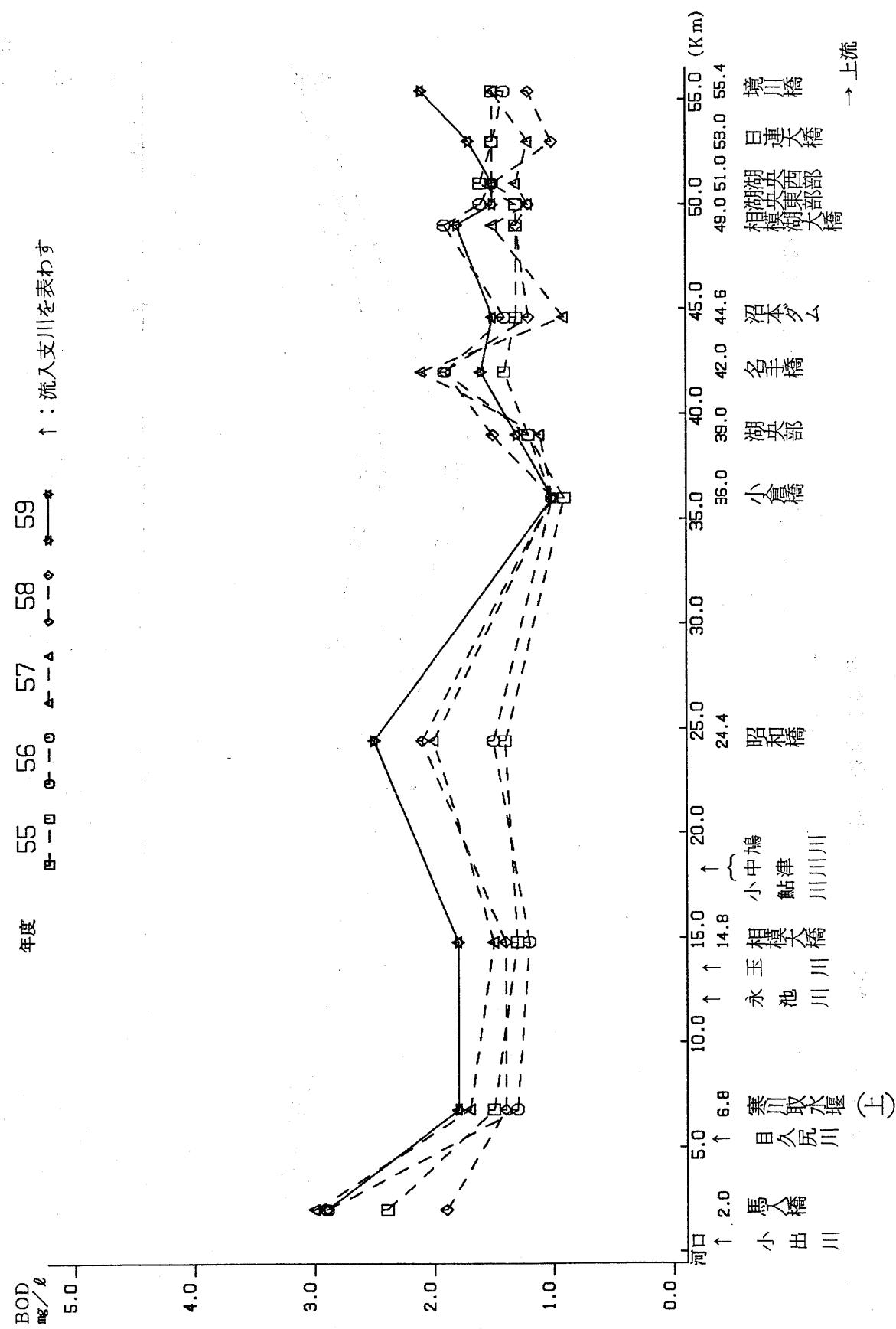
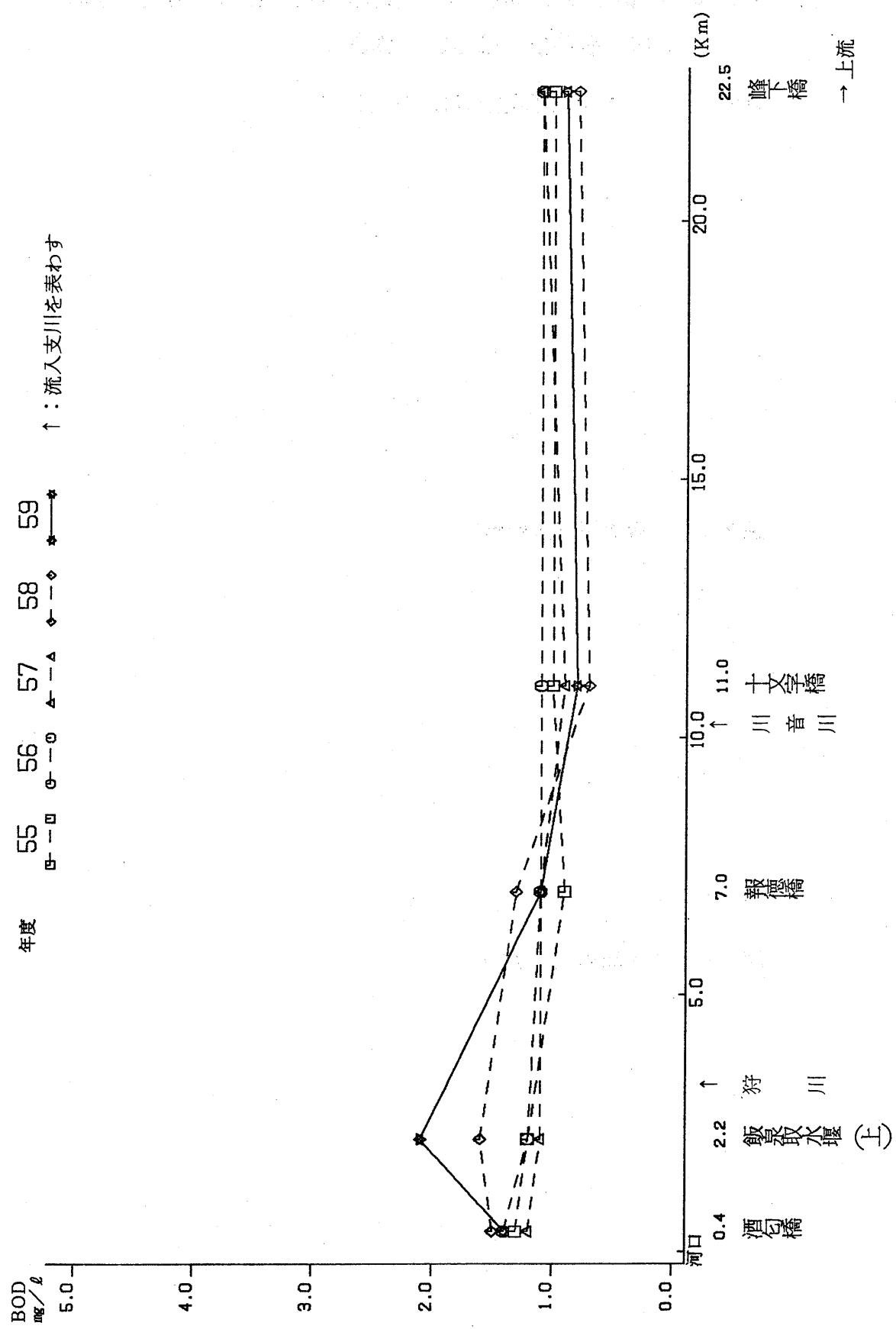


図 1-5 酒匂川におけるBOD縦断変化図



(2) 河川の主要地点における水質経年変化図（年平均値）
 (pH. BOD. COD. DO)

図 2-1 多摩川（田園調布取水堰（上））

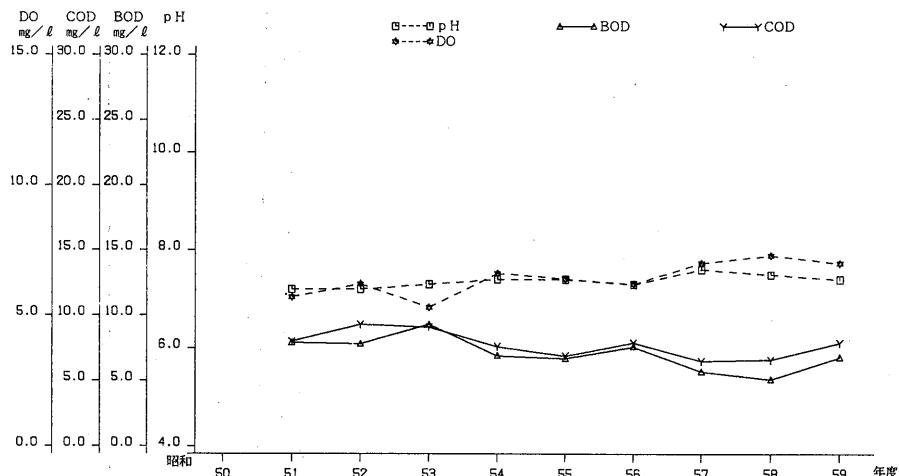


図 2-2 鶴見川（大綱橋）

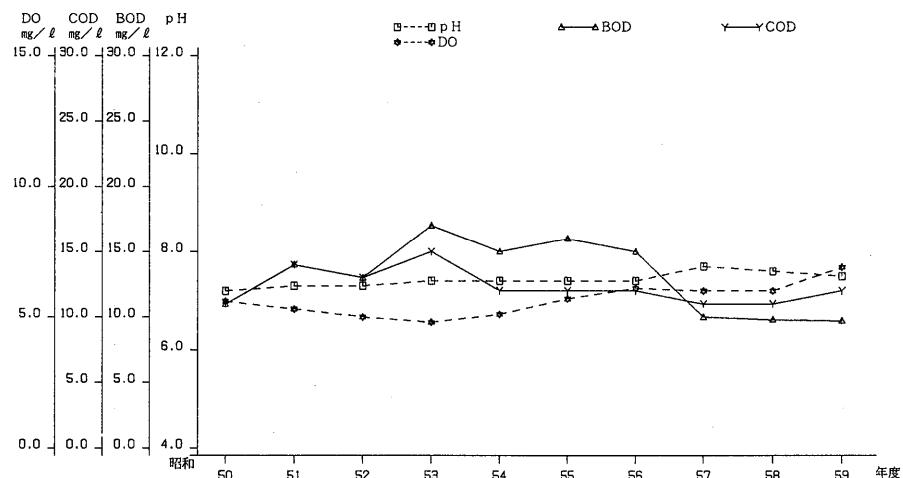


図 2-3 大岡川（清水橋）

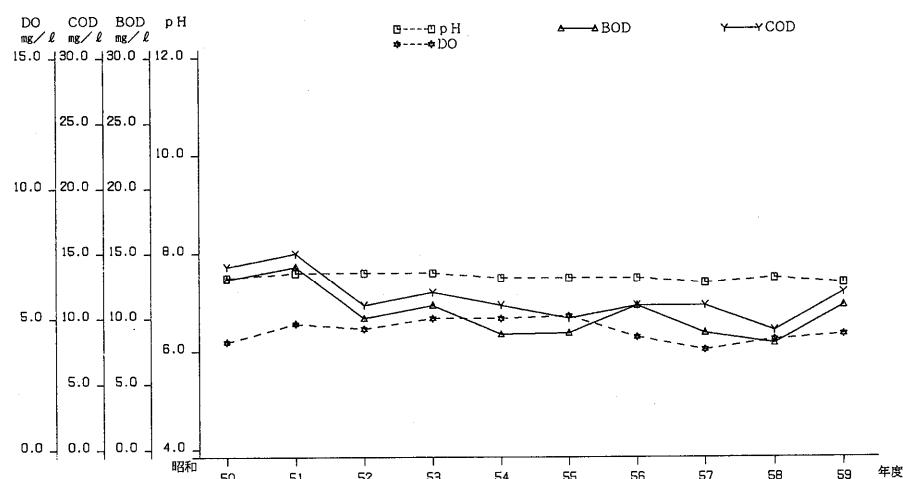


図 2-4 平作川 (夫婦橋)

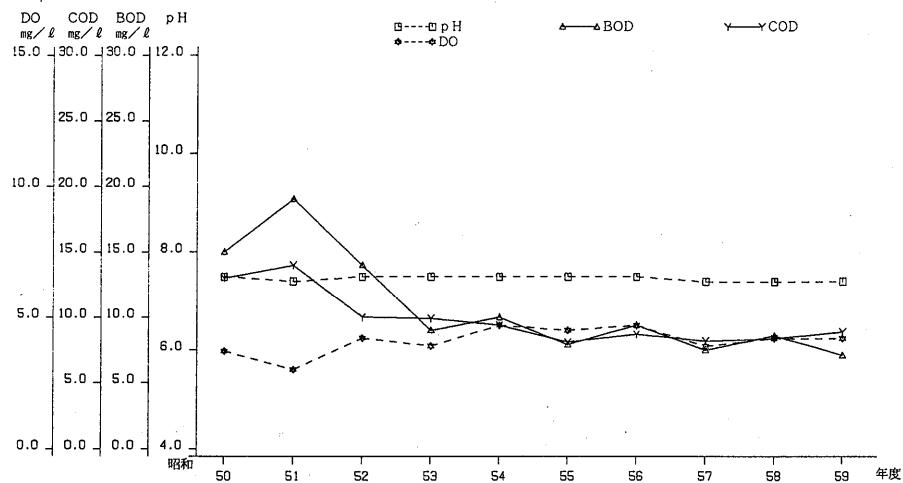


図 2-5 境川 (境川橋)

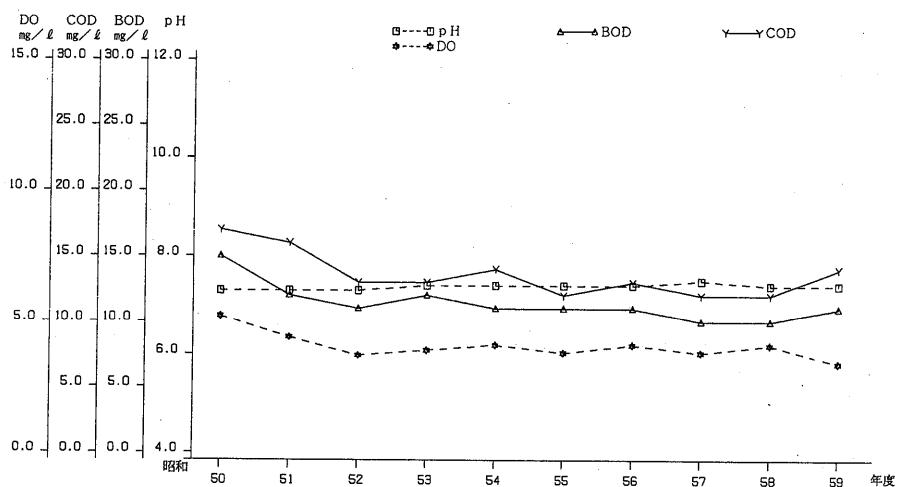


図 2-6 境川 (境橋)

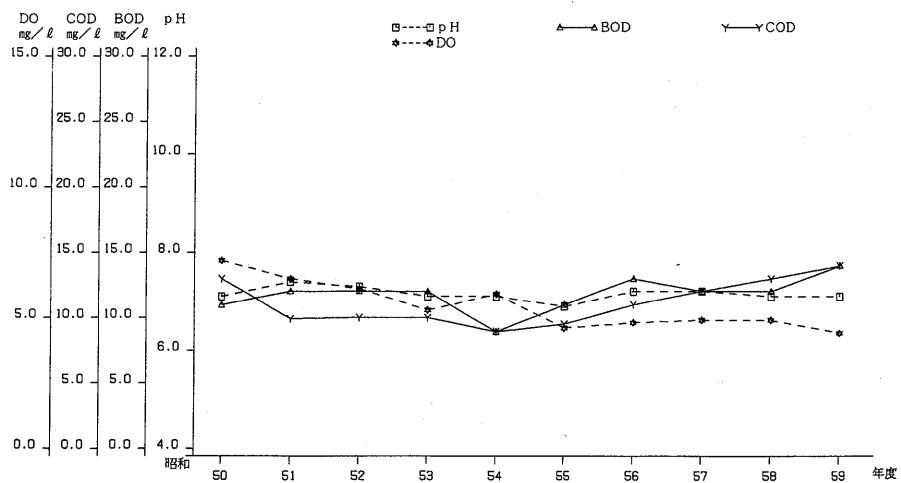


図 2-7 相模川（寒川取水堰（上））

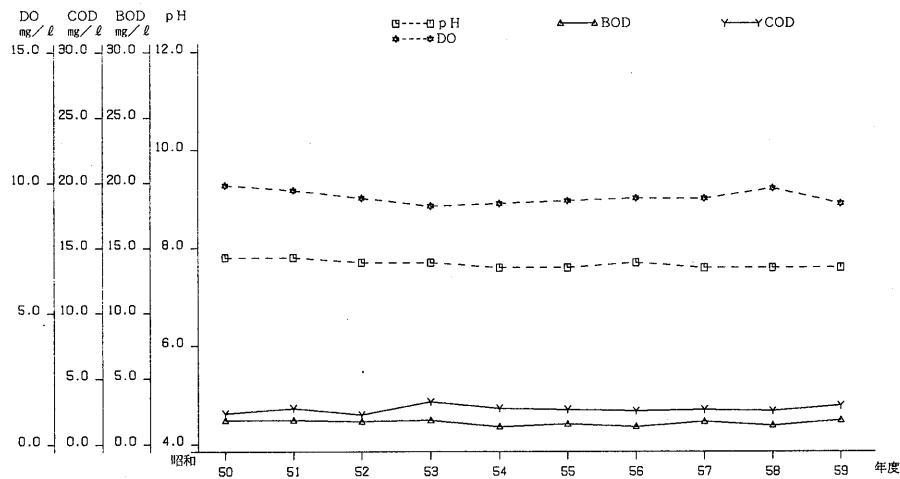


図 2-8 金目川（花水橋）

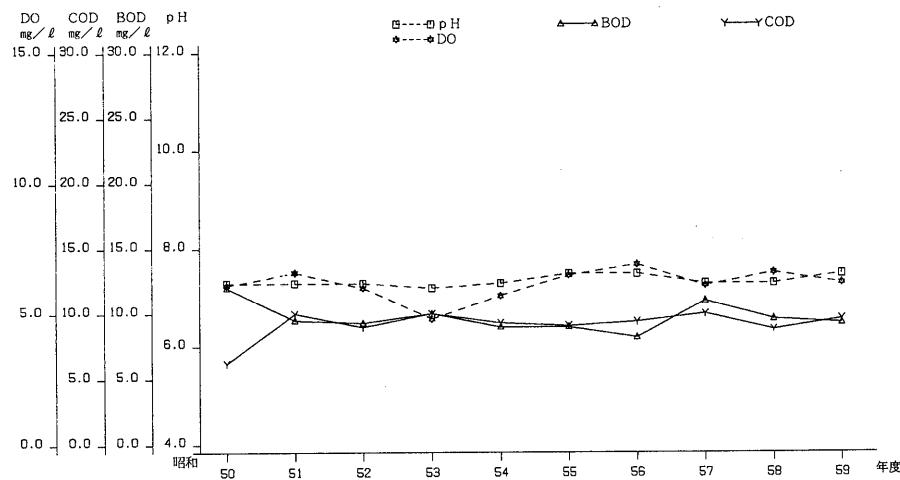
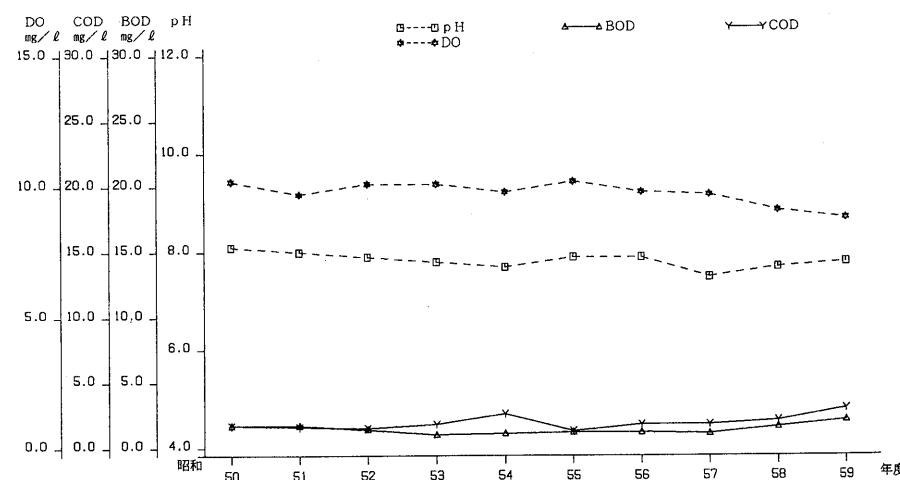


図 2-9 酒匂川（飯泉取水堰（上））



(3) 河川の主要地点における水質経月変化図 (BOD)

図 3-1 多摩川 (田園調布取水堰 (上))

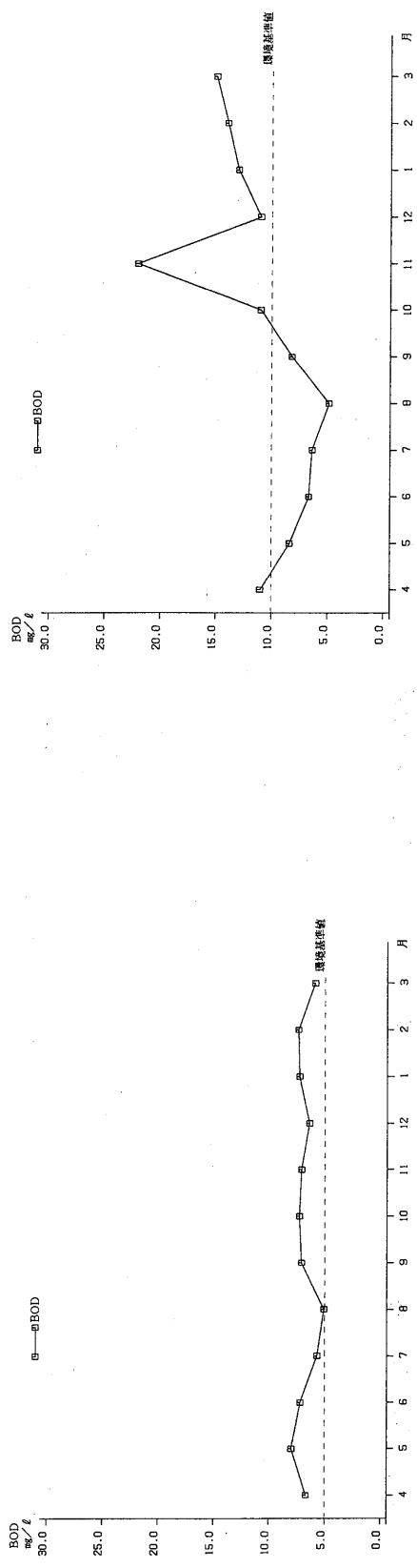


図 3-2 鶴見川 (大綱橋)

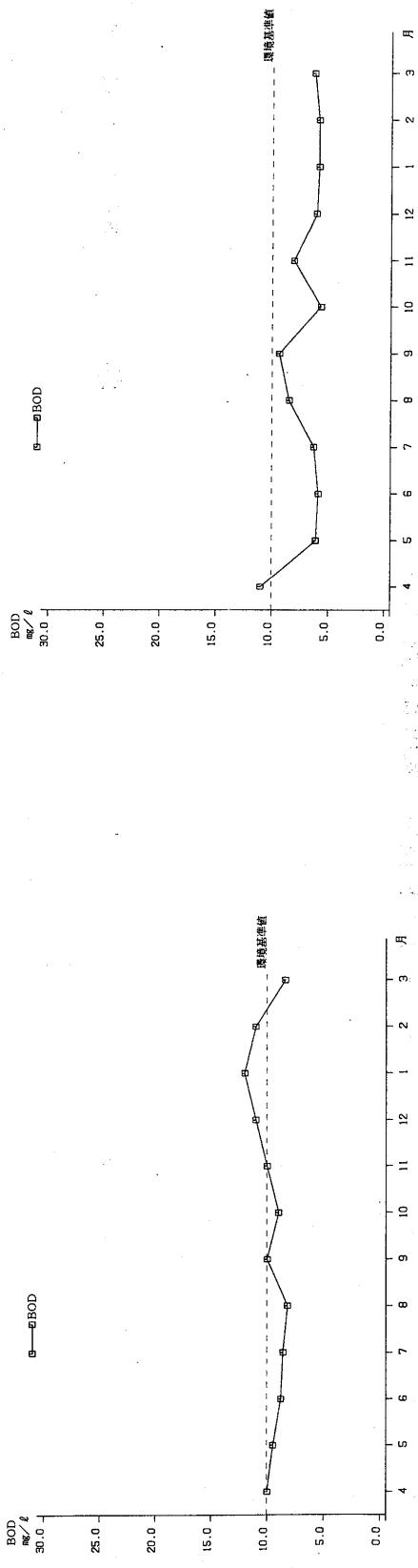


図 3-3 大岡川 (清水橋)

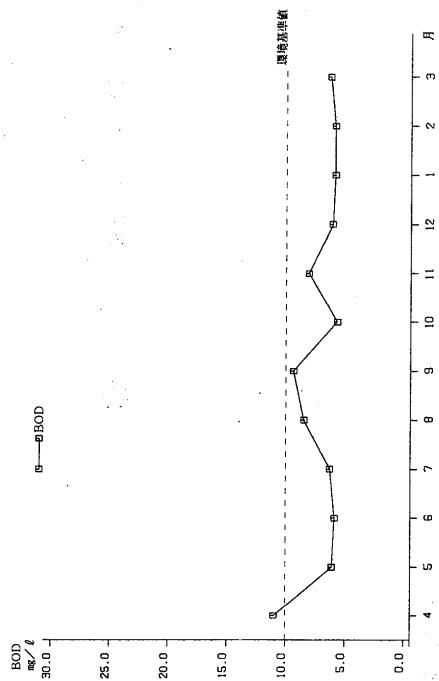


図 3-5 境川(境川橋)

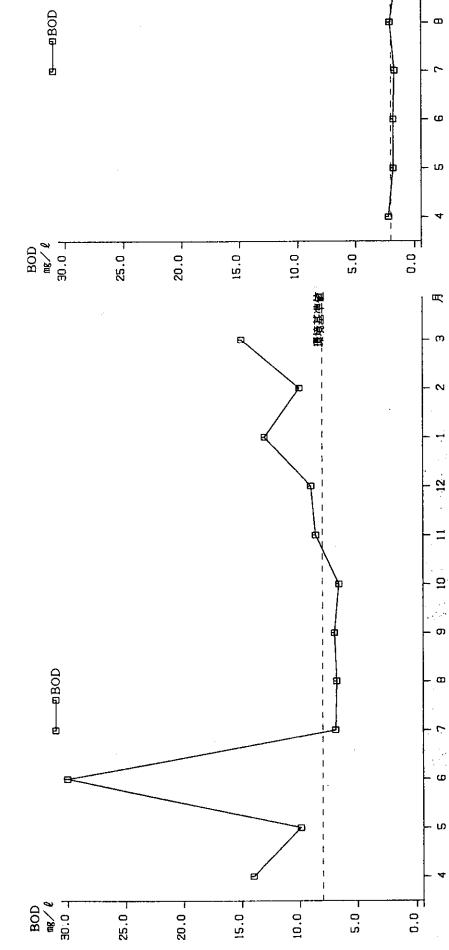


図 3-7 相模川(寒川取水堰(上))

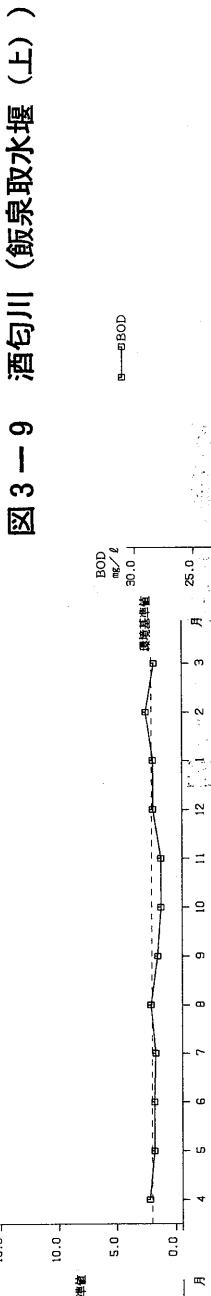


図 3-9 酒匂川(飯泉取水堰(上))

図 3-6 境川(境橋)

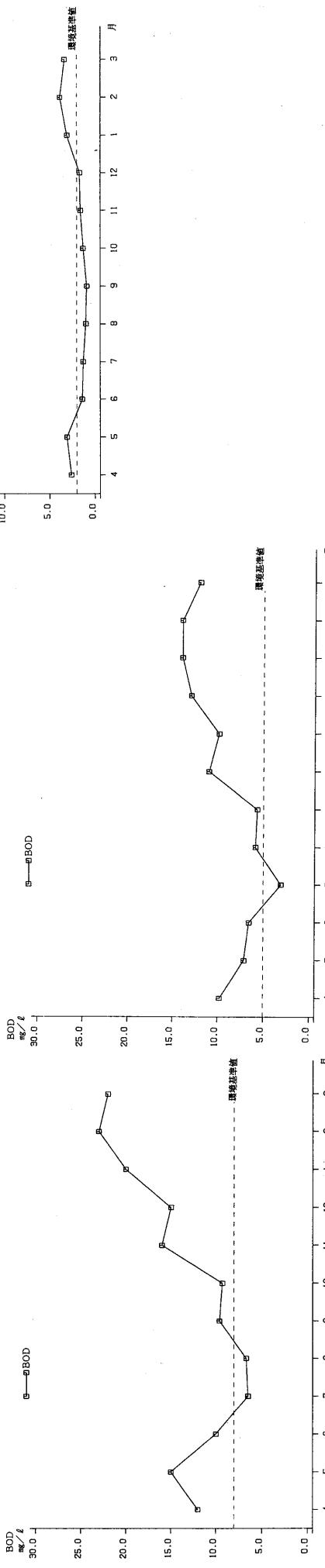


図 3-8 金目川(花水橋)

湖 沼

(4) 湖沼における水質経年変化図(全測定地点の平均値)
 (透明度, COD, クロロフィルa, T-N, T-P, PO₄-P)

図4-1 相模湖

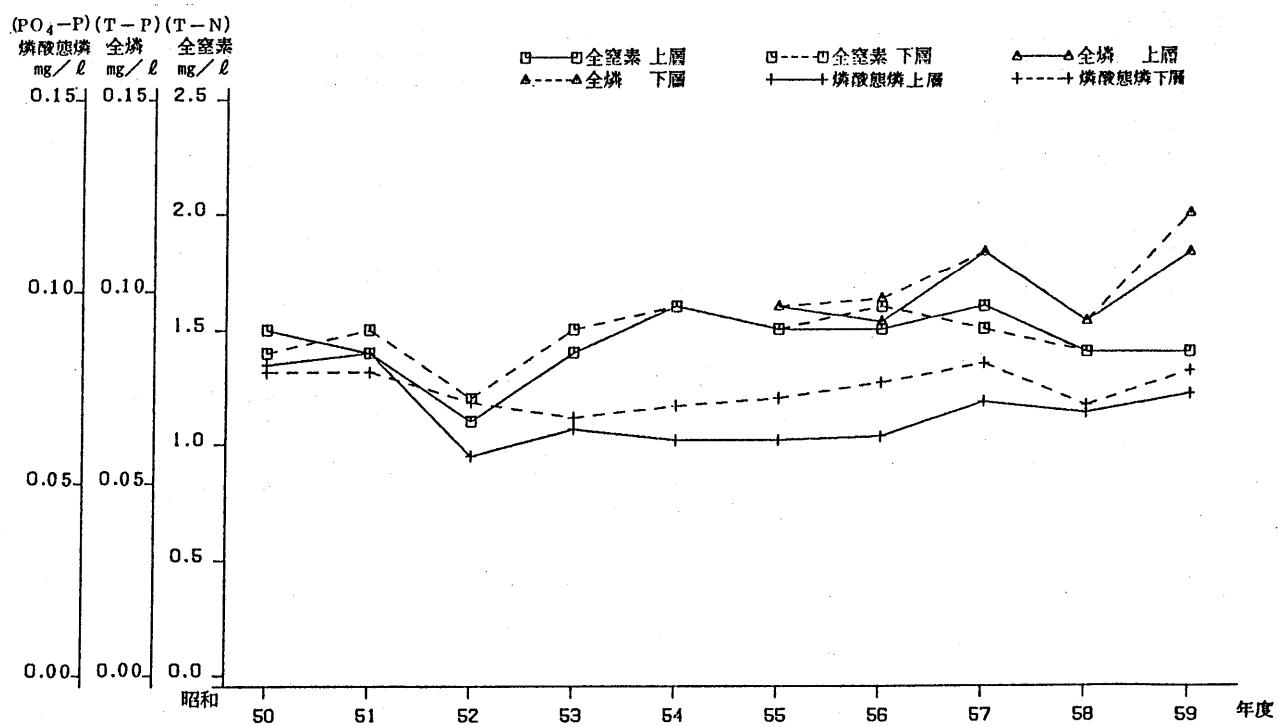
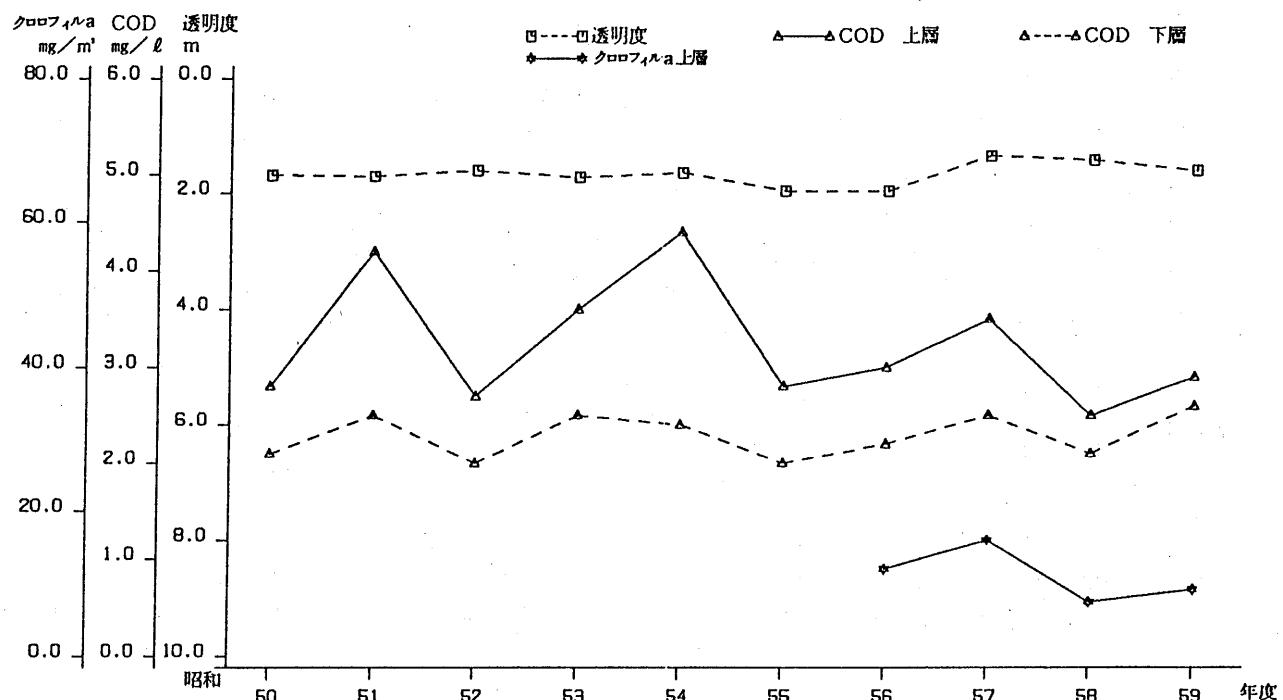


図4-2 津久井湖

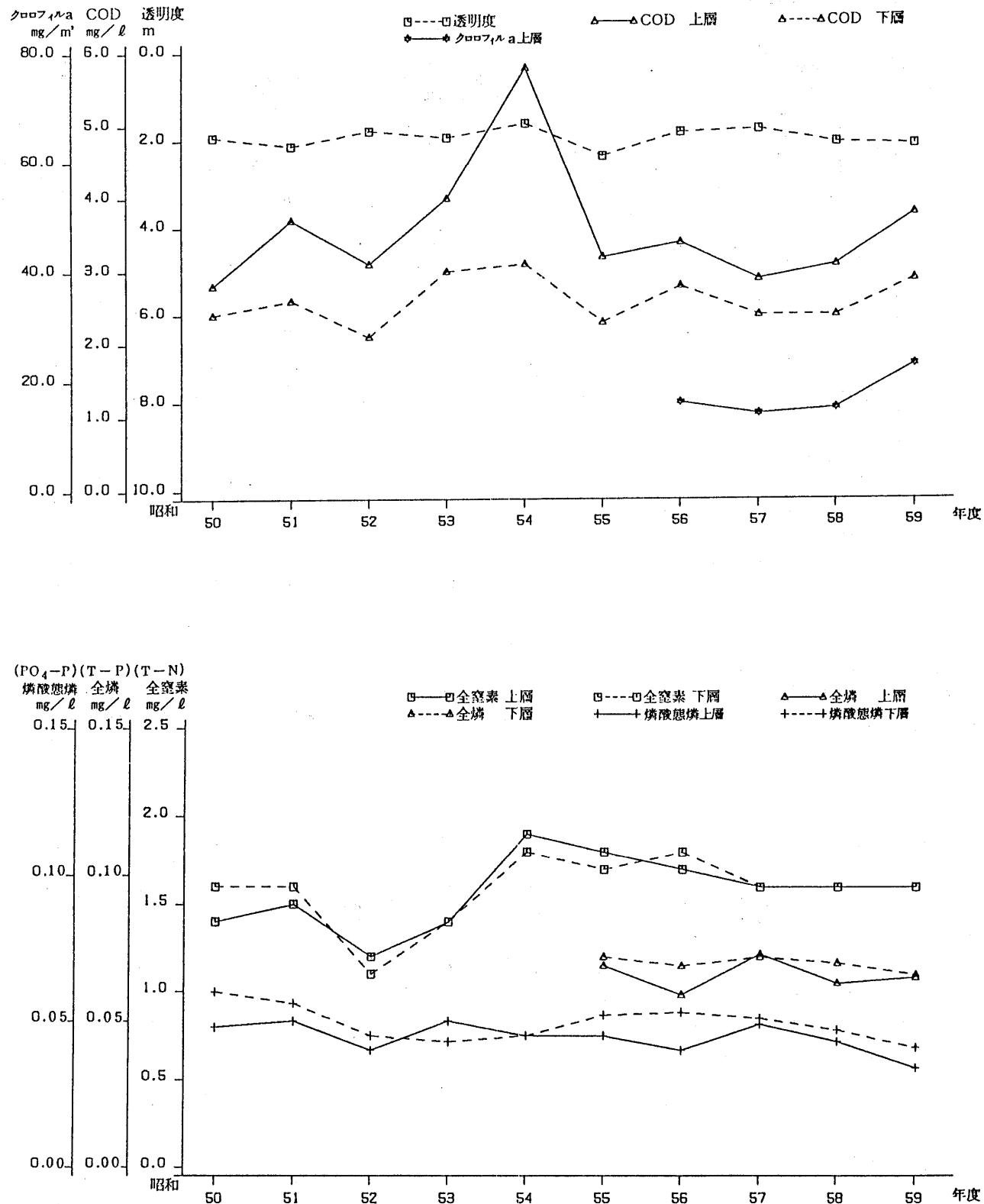


図4-3 芦ノ湖

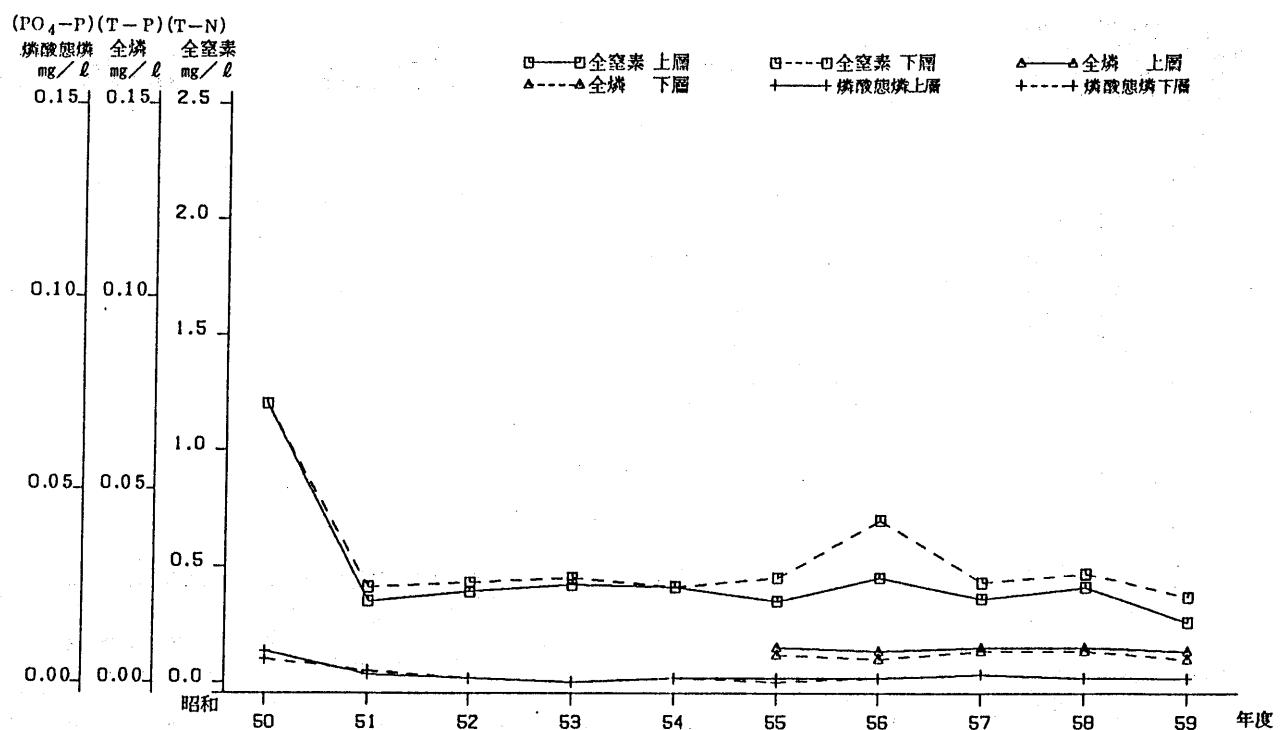
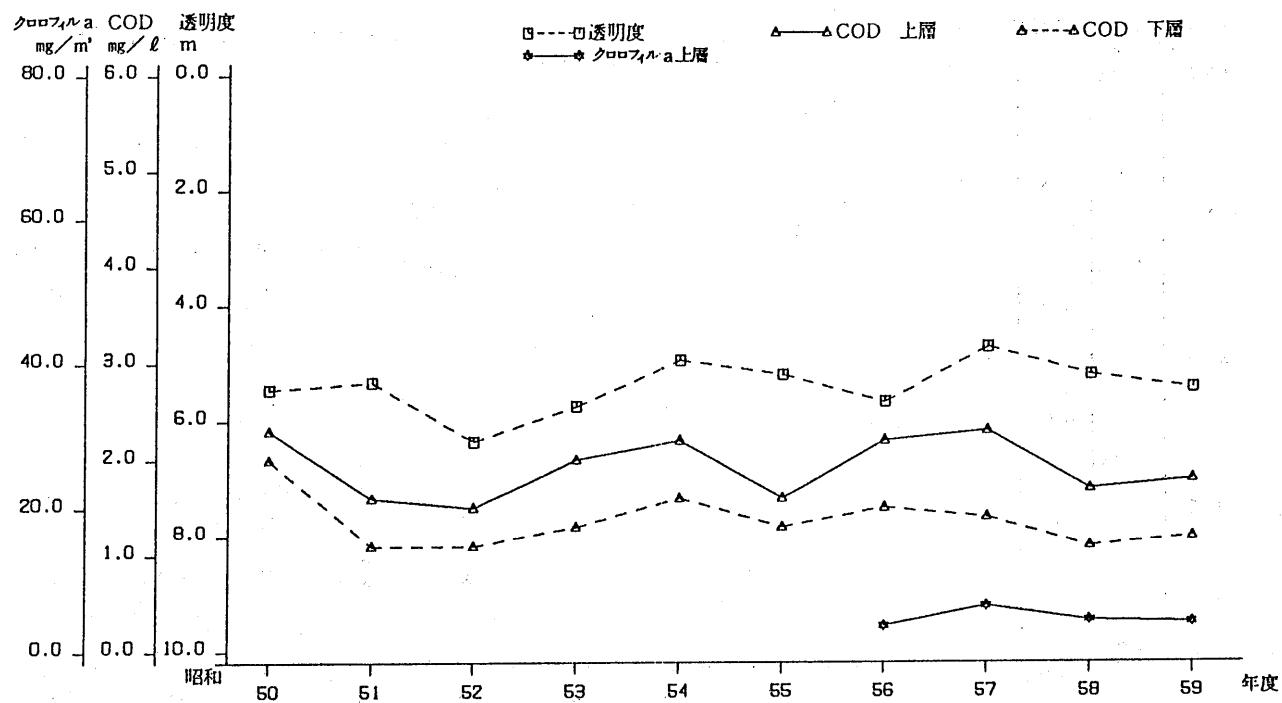
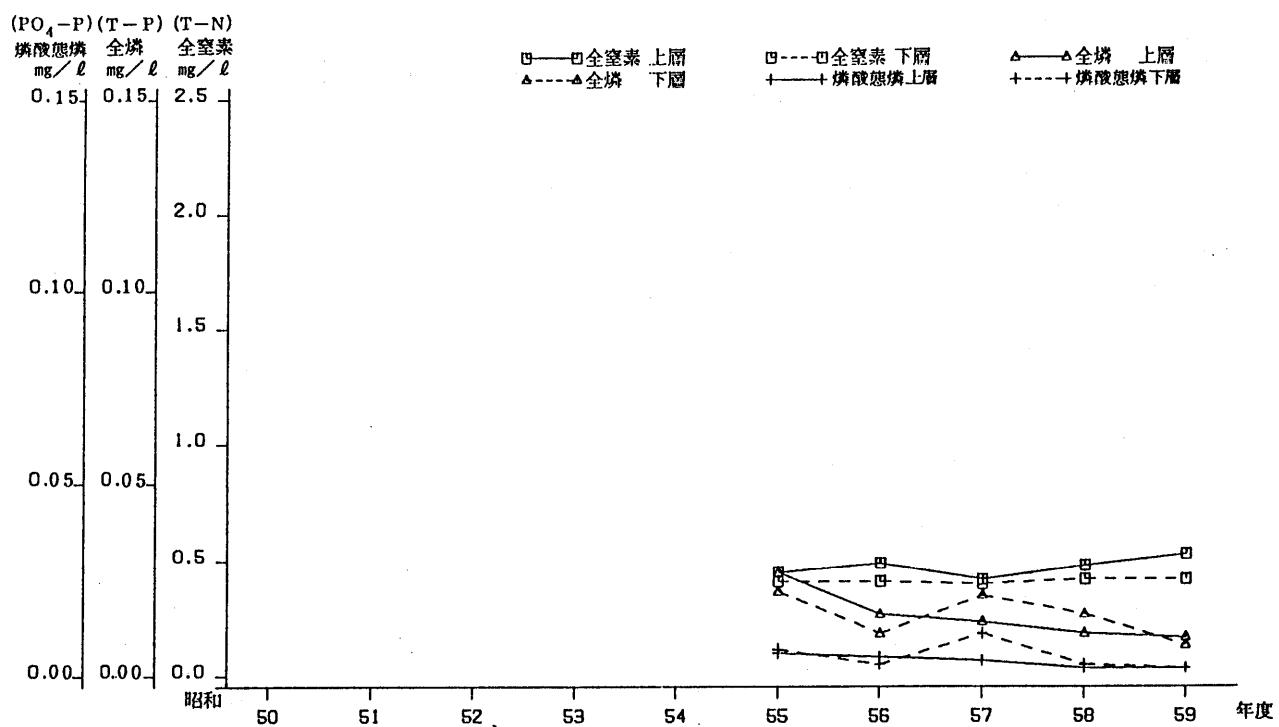
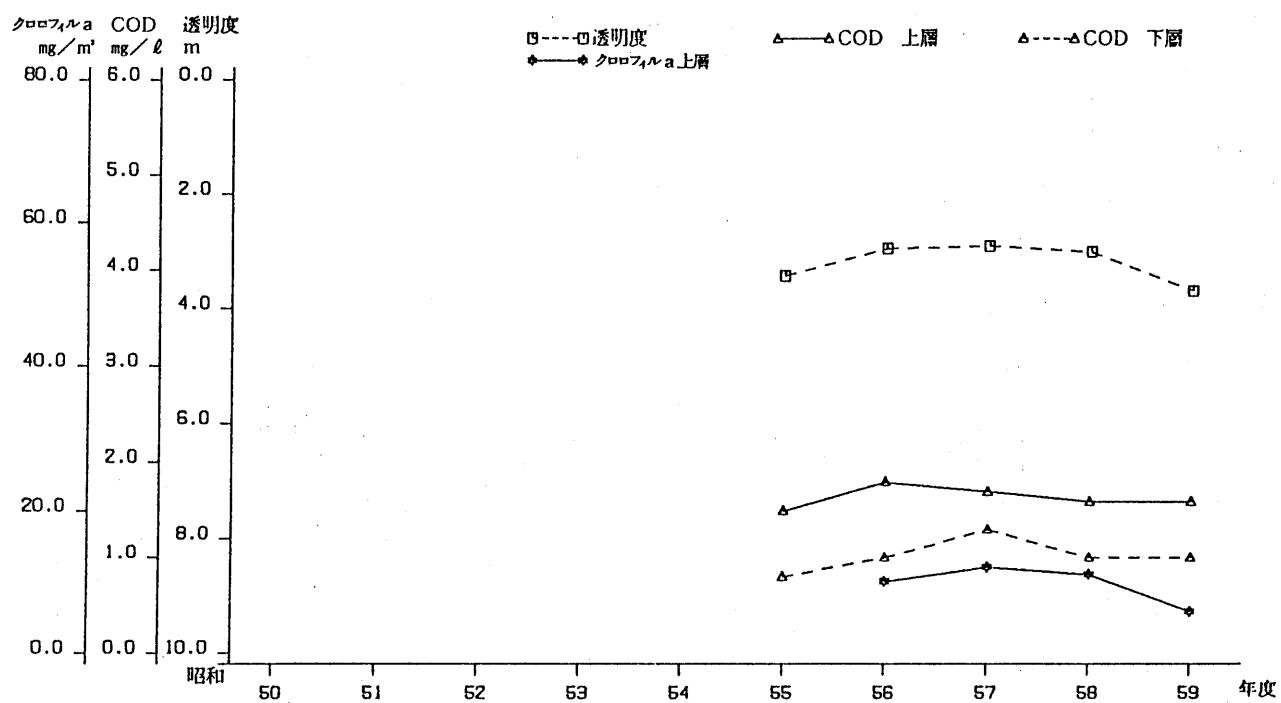


図4-4 丹沢湖



(5) 湖沼の主要地点における水質経年変化図(年平均値)
 (透明度. pH. BOD. COD. T-N. T-P. クロロフィルa)

図 5-1 相模湖(湖央東部)

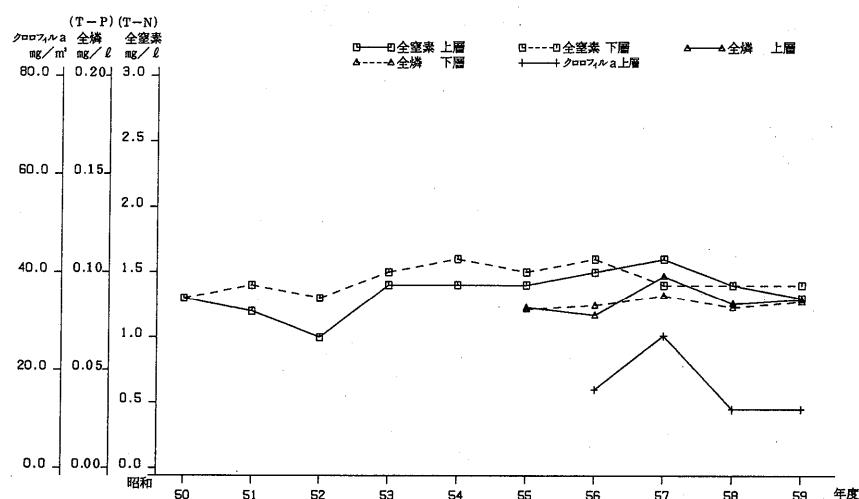
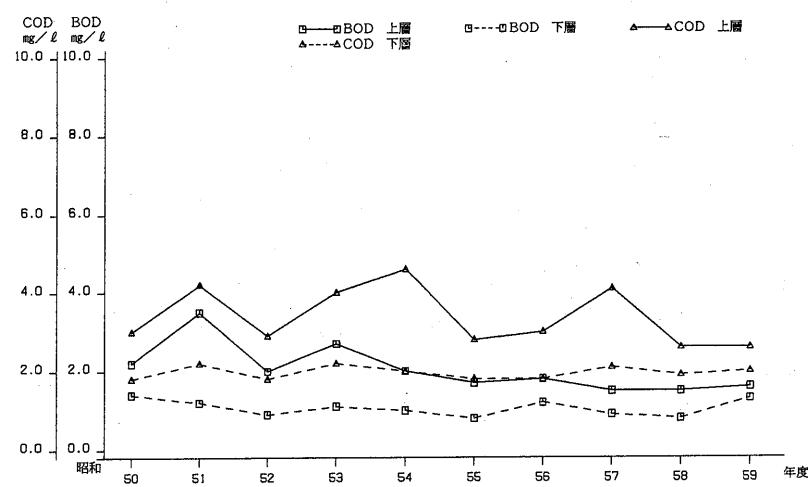
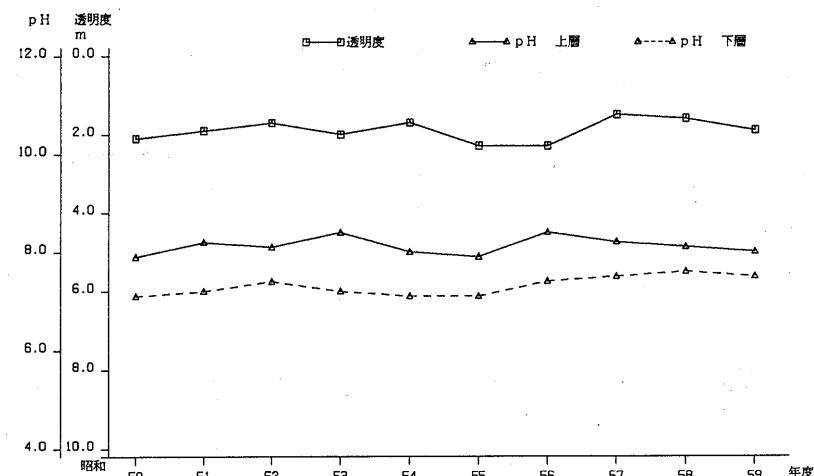


図 5-2 津久井湖(湖央部)

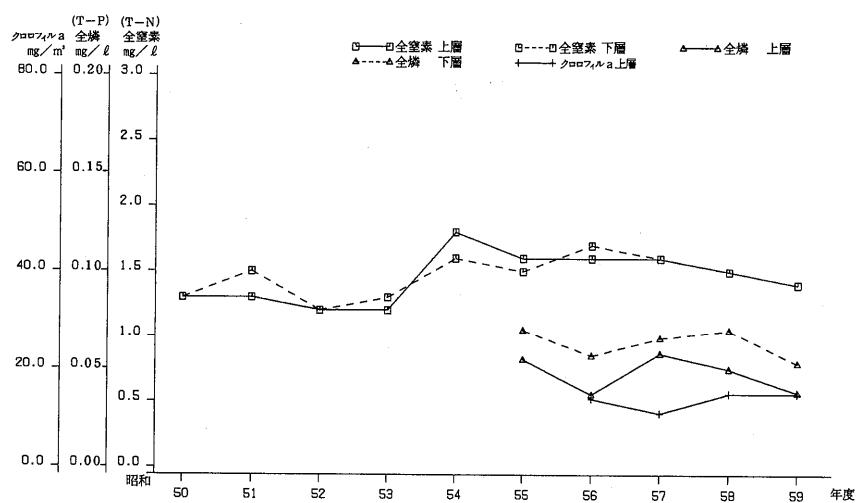
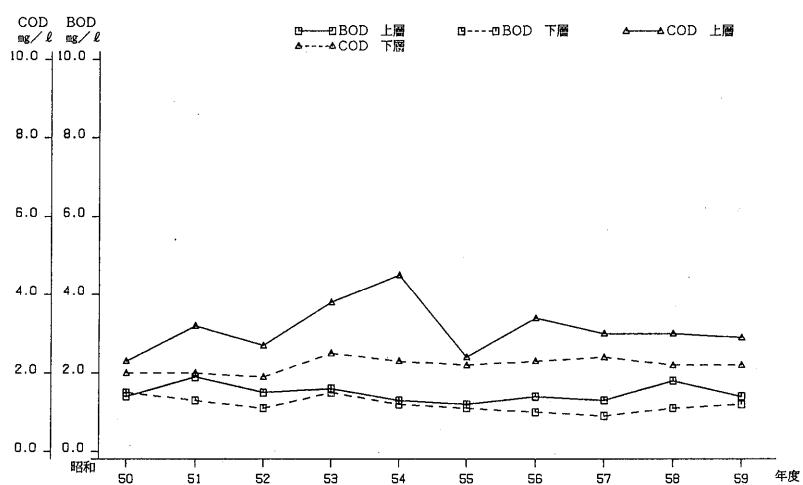
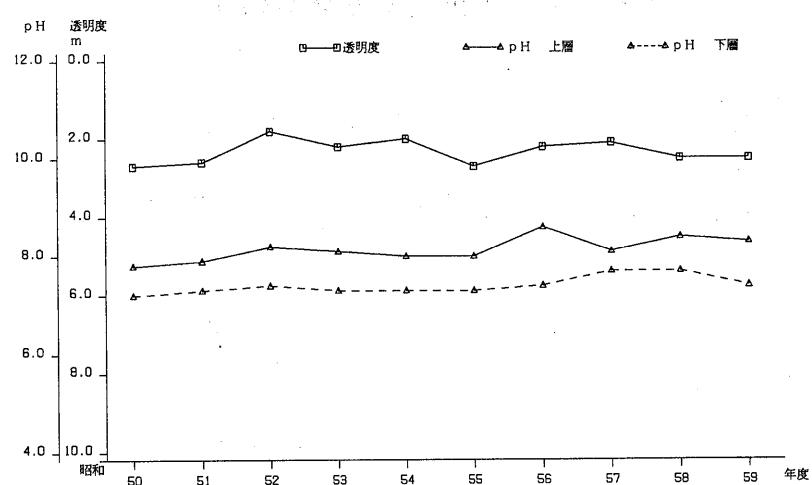


図 5-3 芦ノ湖(湖央部)

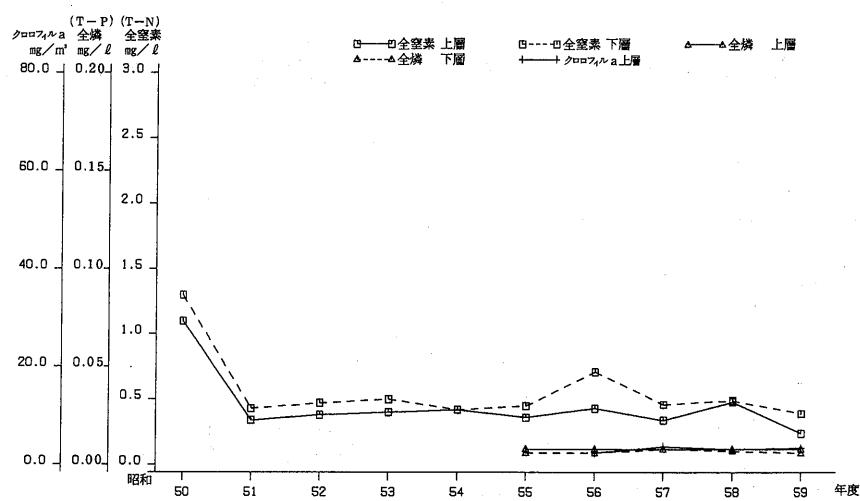
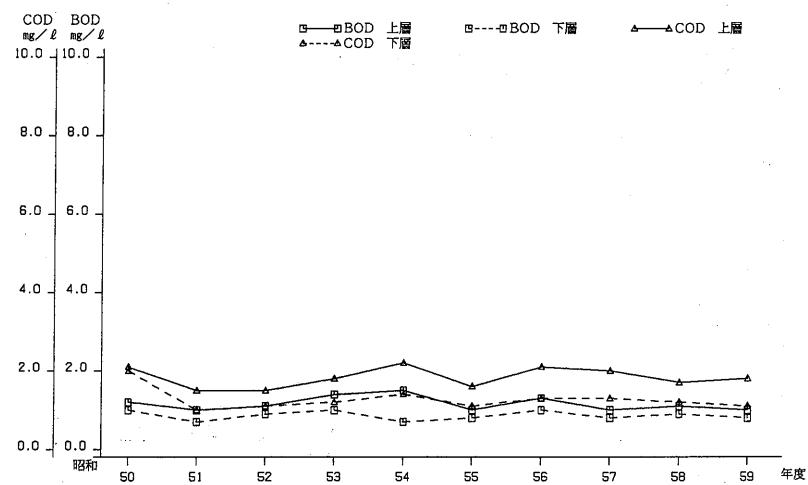
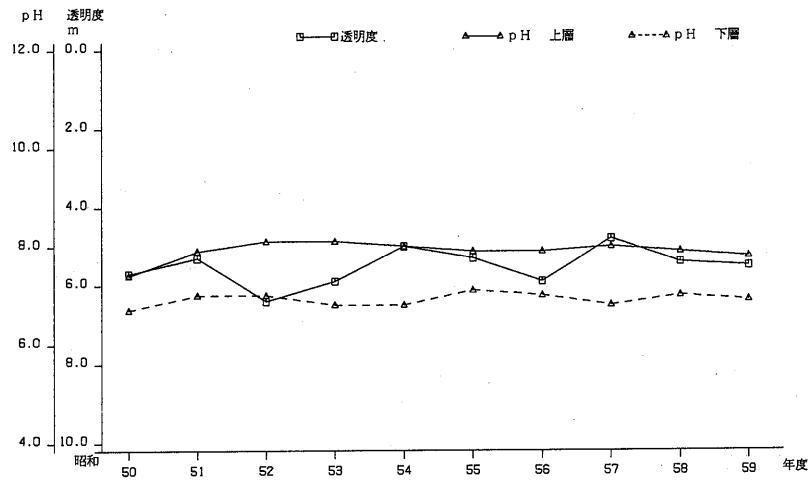
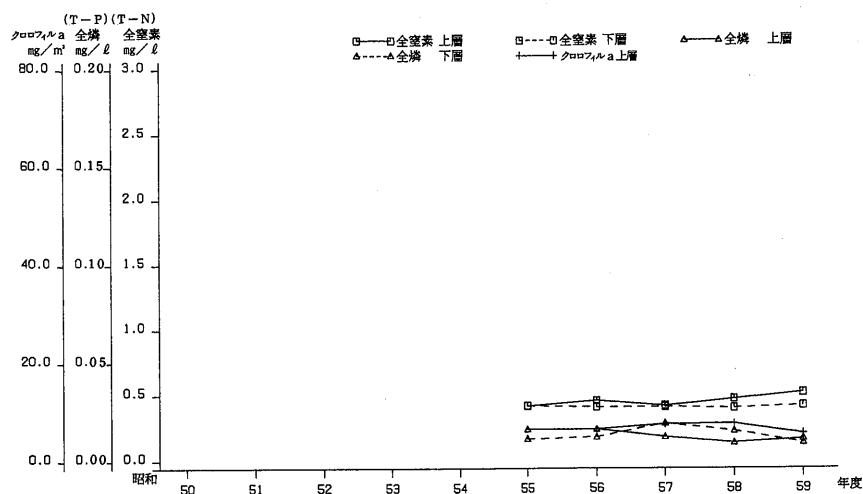
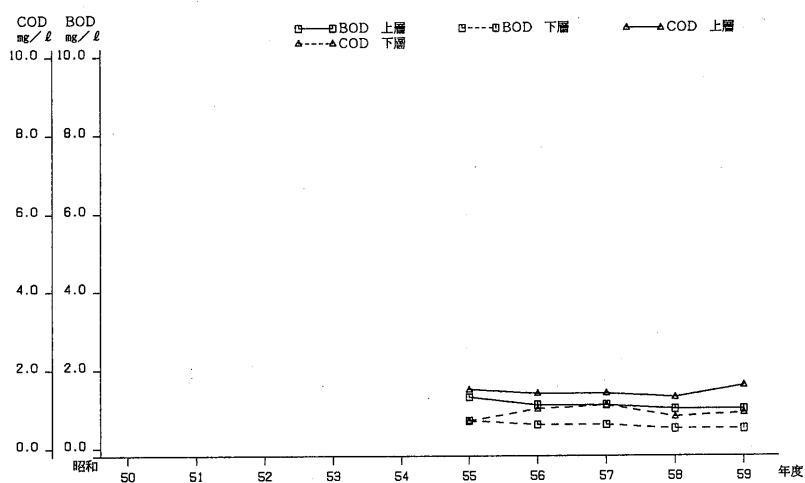
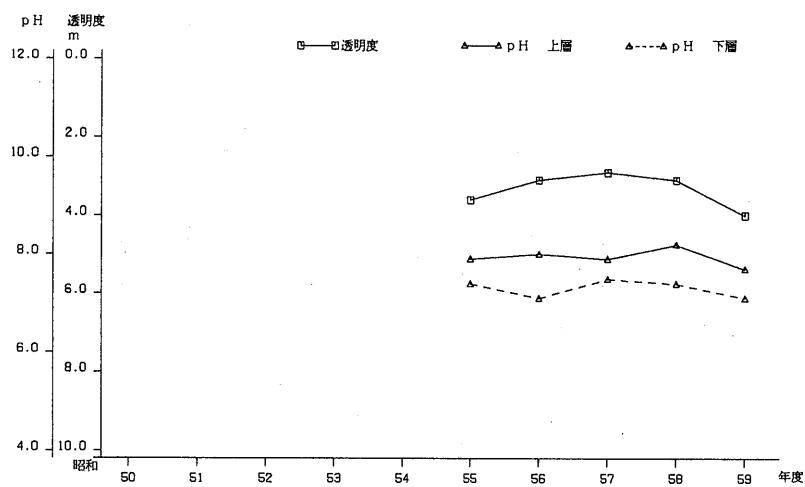


図 5-4 丹沢湖(湖央部)



(6) 湖沼の主要地点における水質経月変化図
(透明度, pH, COD, T-N, T-P, クロロフィルa)

図 6-1 相模湖(湖央東部)

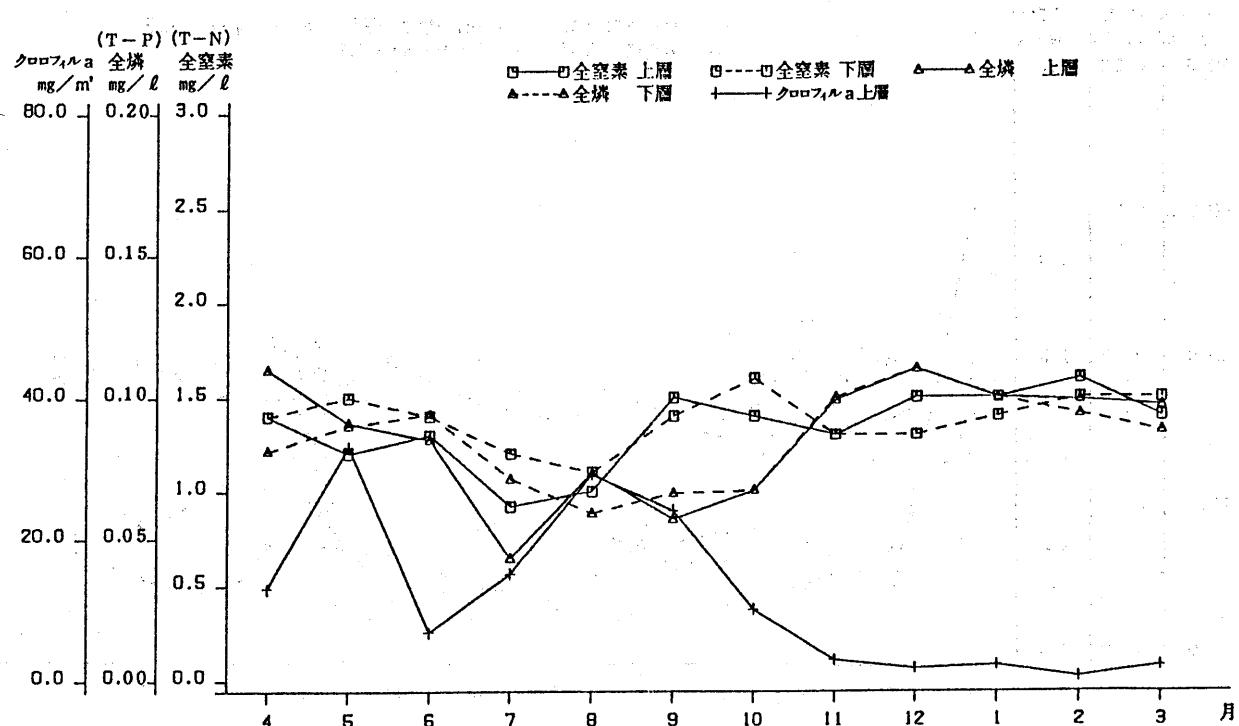
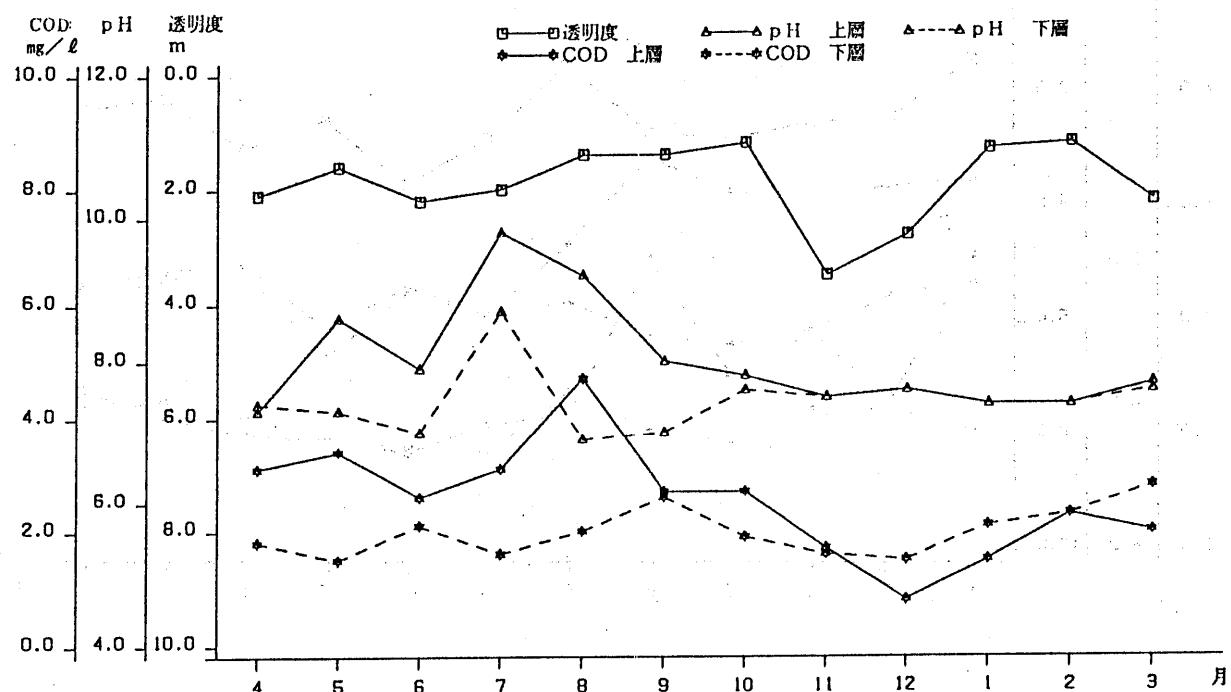


図 6-2 津久井湖(湖中央)

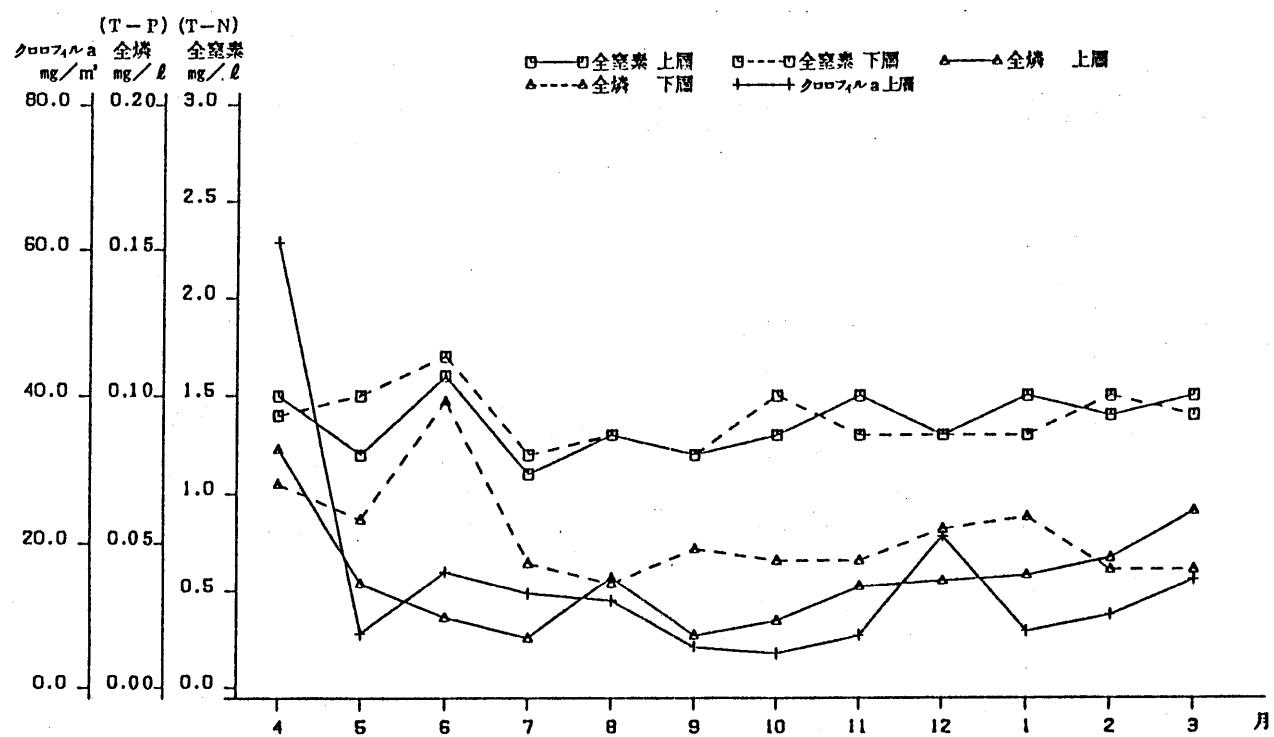
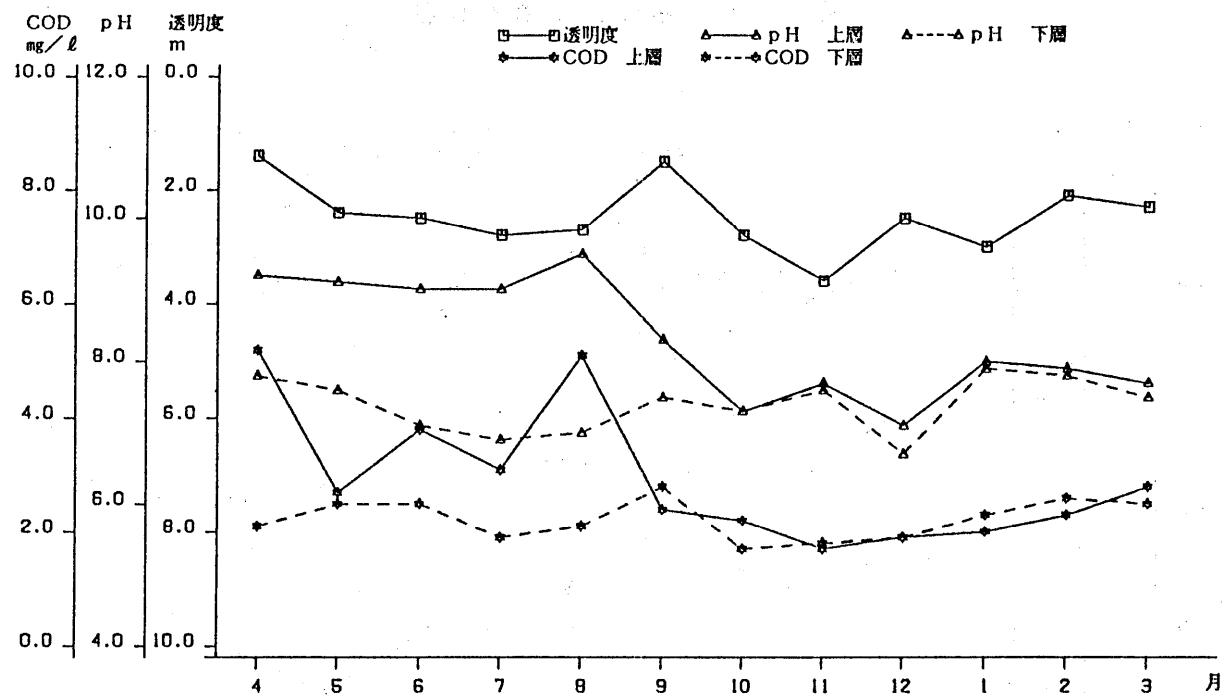


図 6-3 芦ノ湖(湖央部)

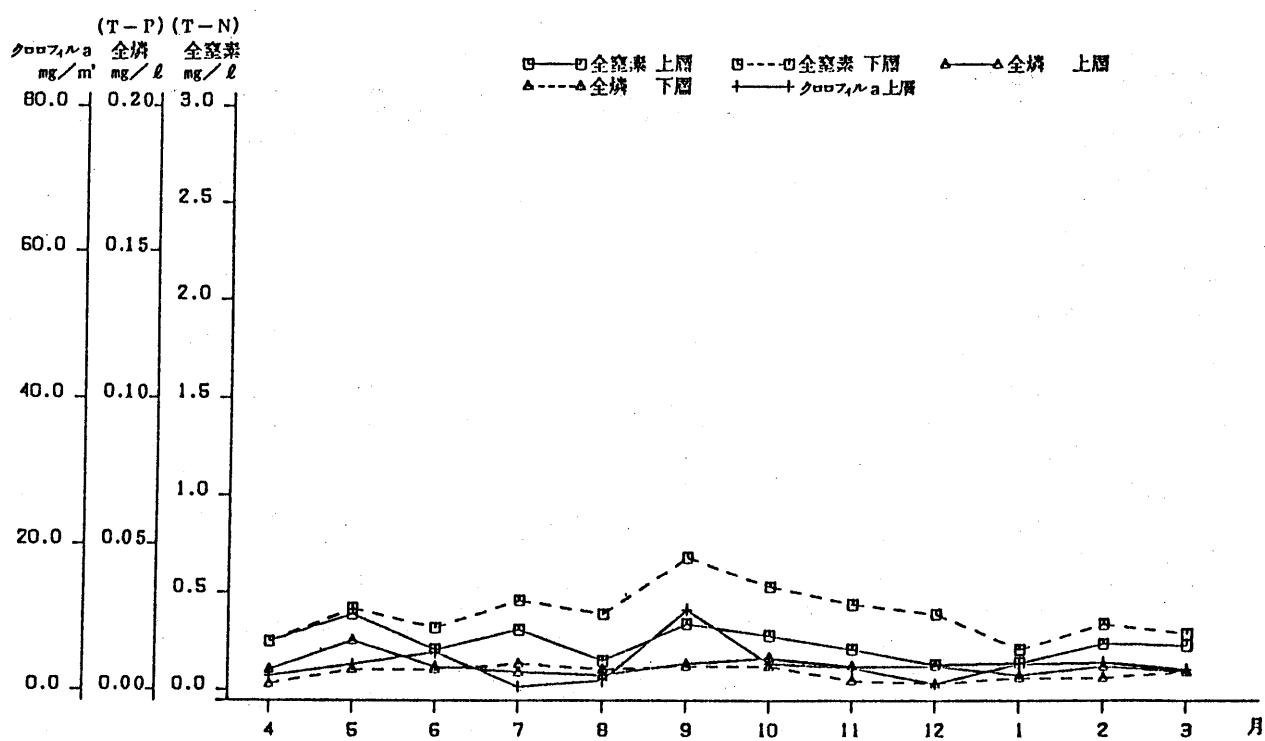
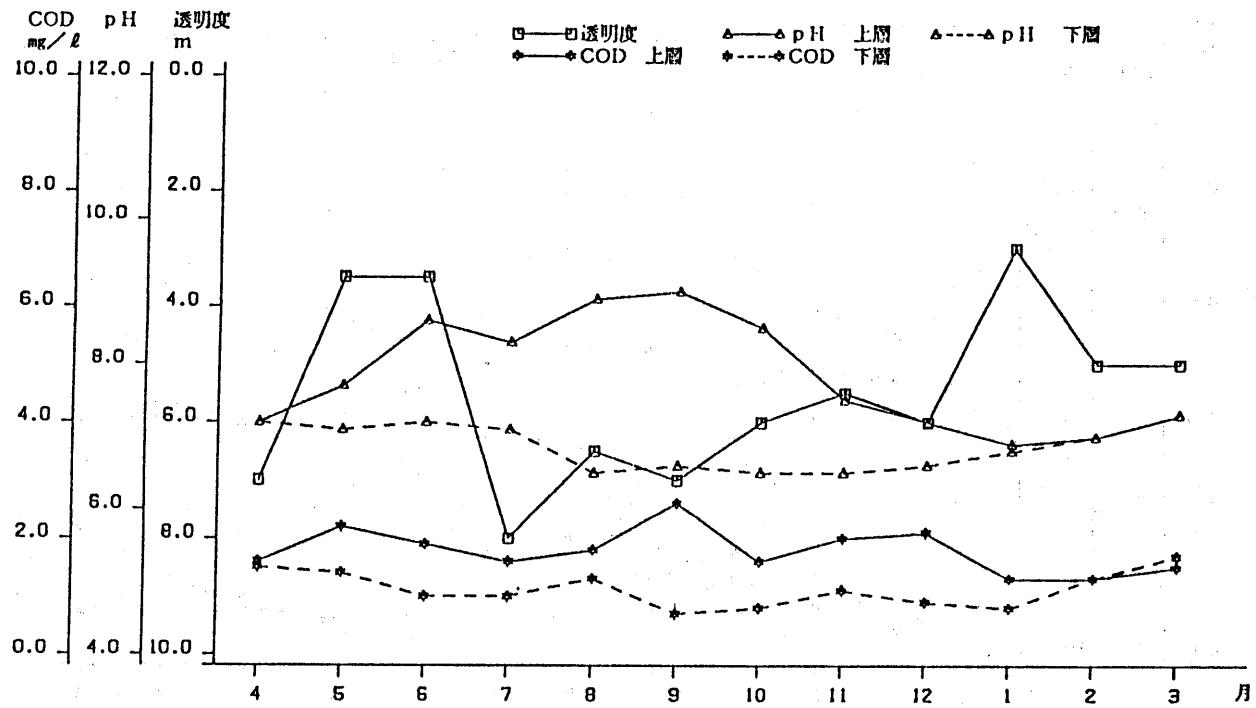
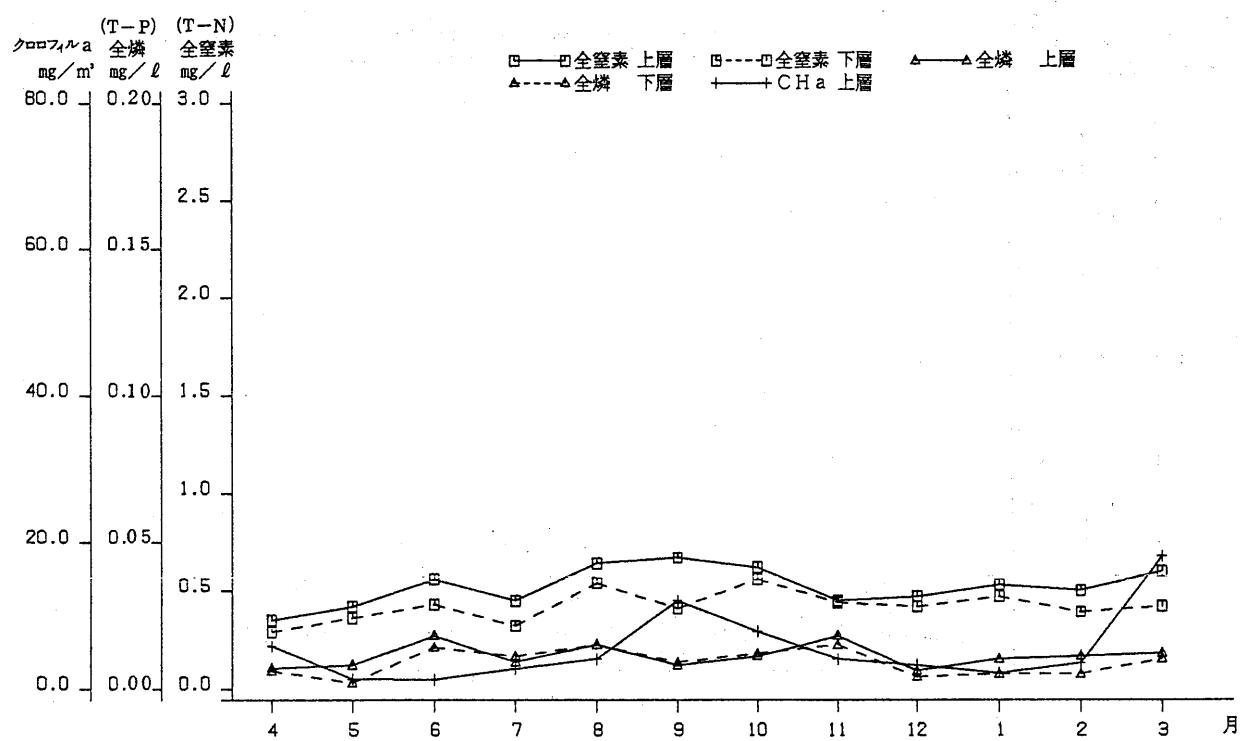
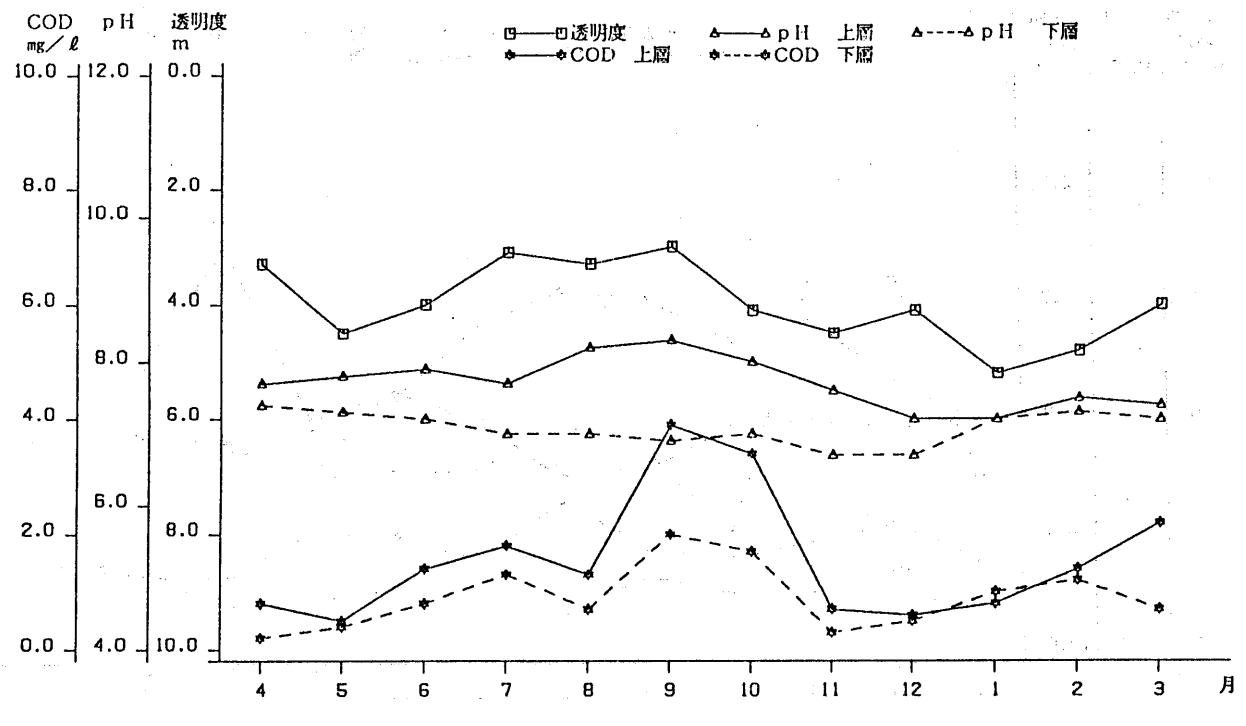


図 6-4 丹沢湖(湖央部)



海 域

(7) 東京湾における水質経年変化図（全測定地点の平均値）

図7-1 東京湾（全域）

（透明度、COD、クロロフィルa、T-N、T-P、PO₄-P）

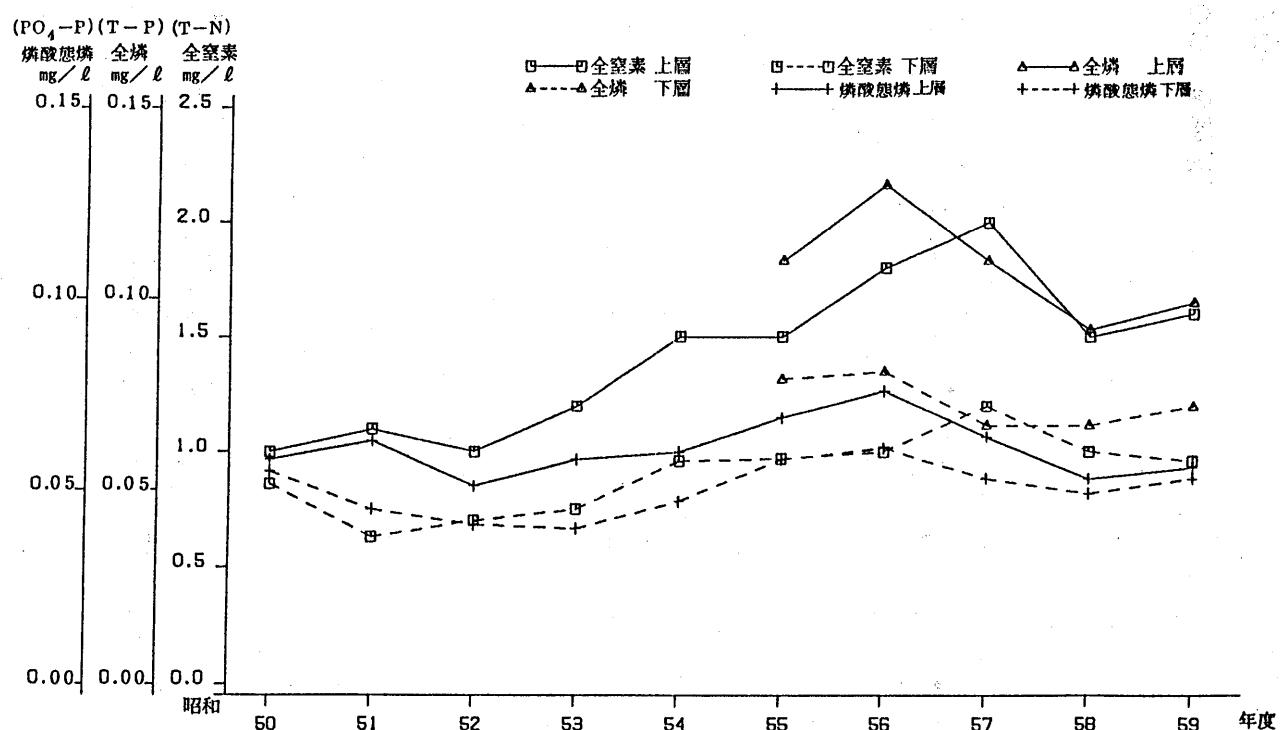
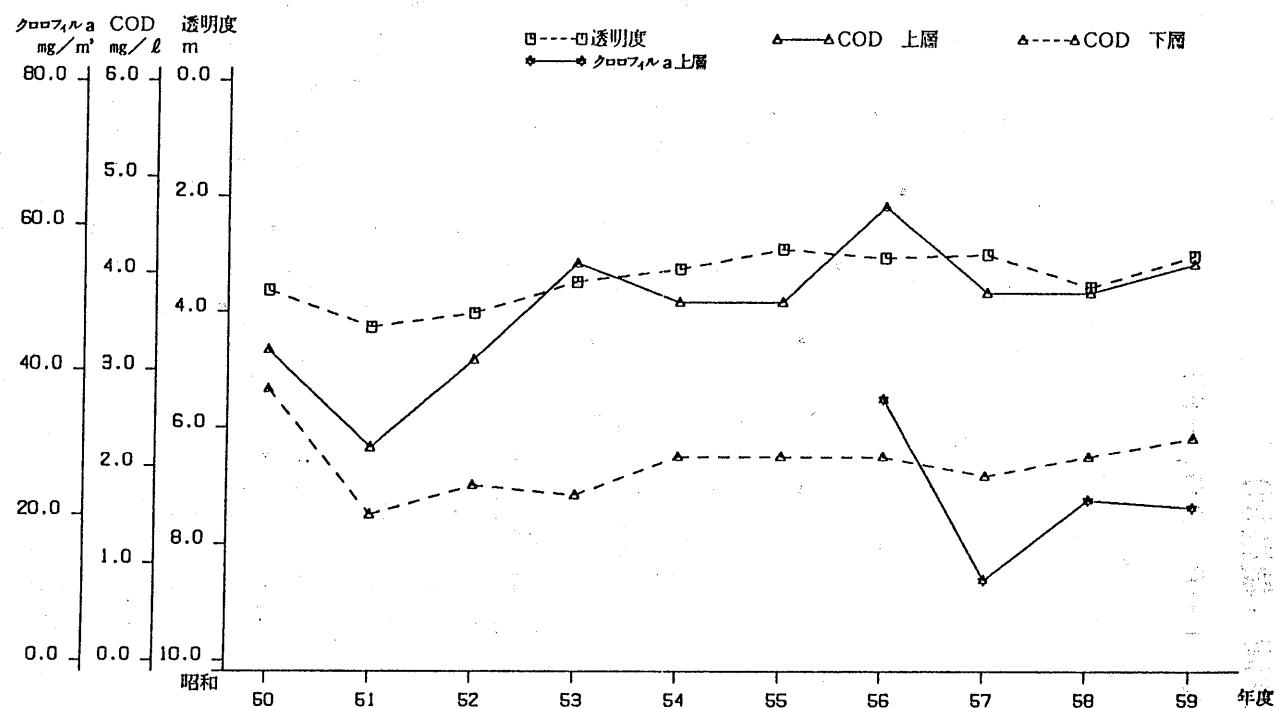
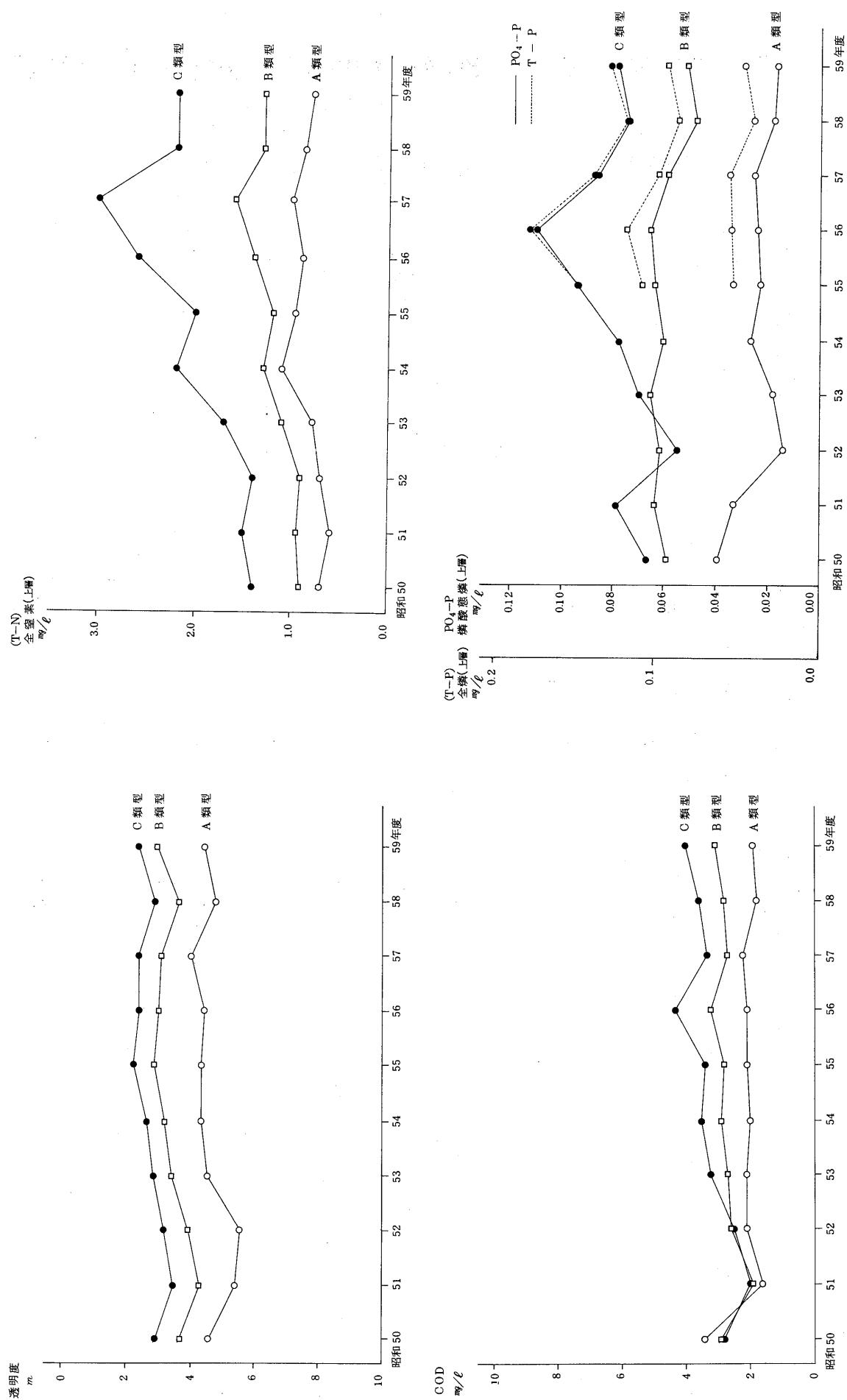


図7-2 東京湾(類型別)
(透明度、COD、T-N、T-P、PO₄-P)



(8) 東京湾の主要地点における水質経年変化図（年平均値）
 （透明度、pH、COD、T-N、T-P、クロロフィルa）

図8-1 横浜港内

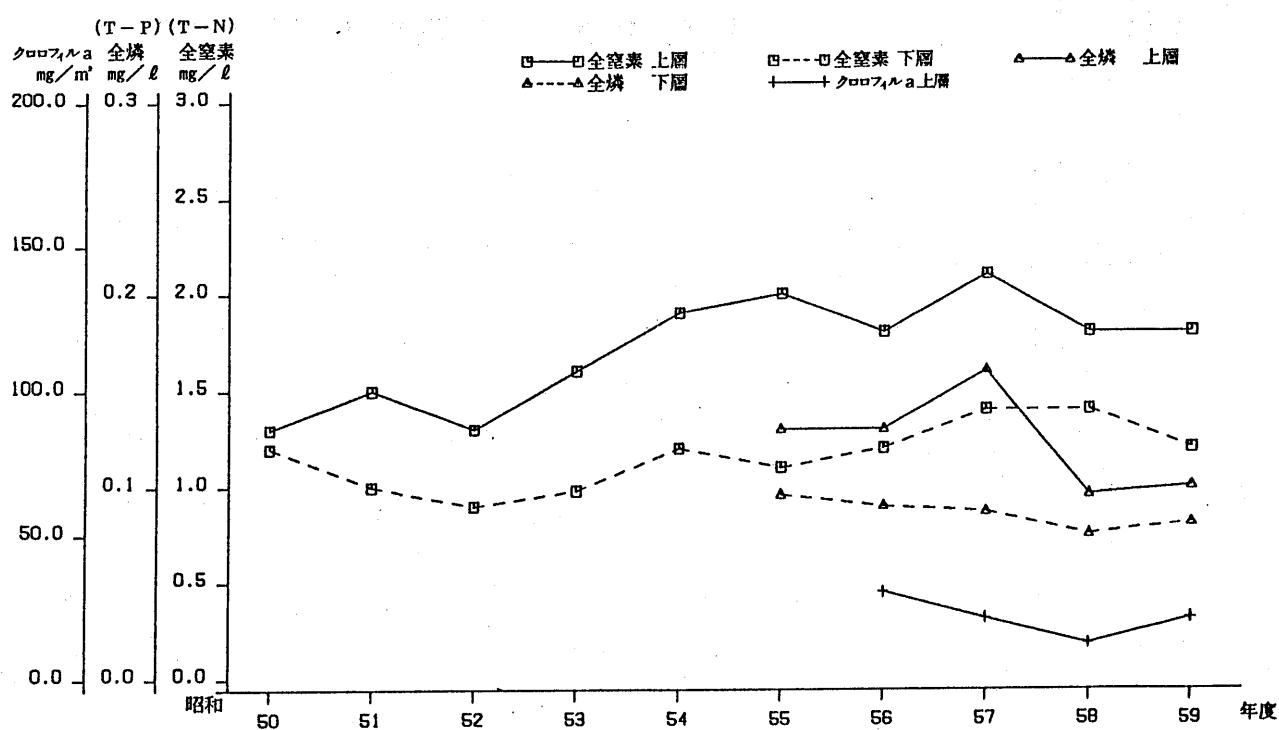
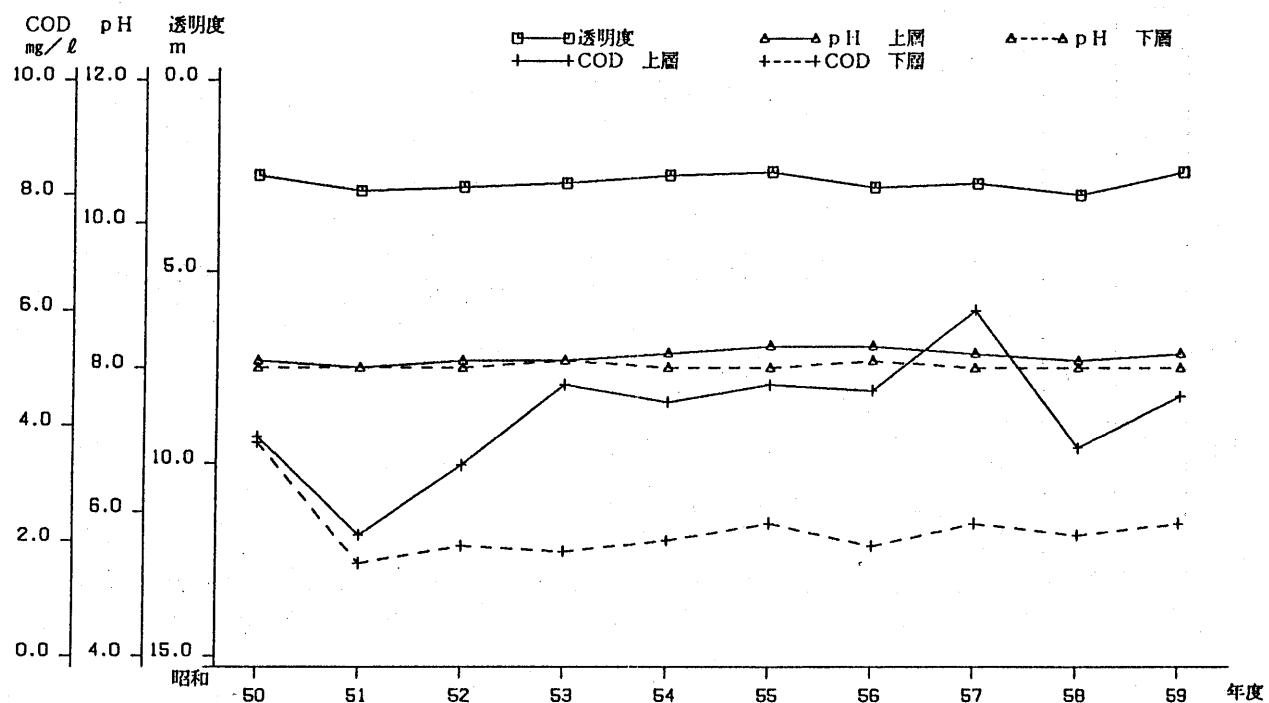


図8-2 千鳥町沖

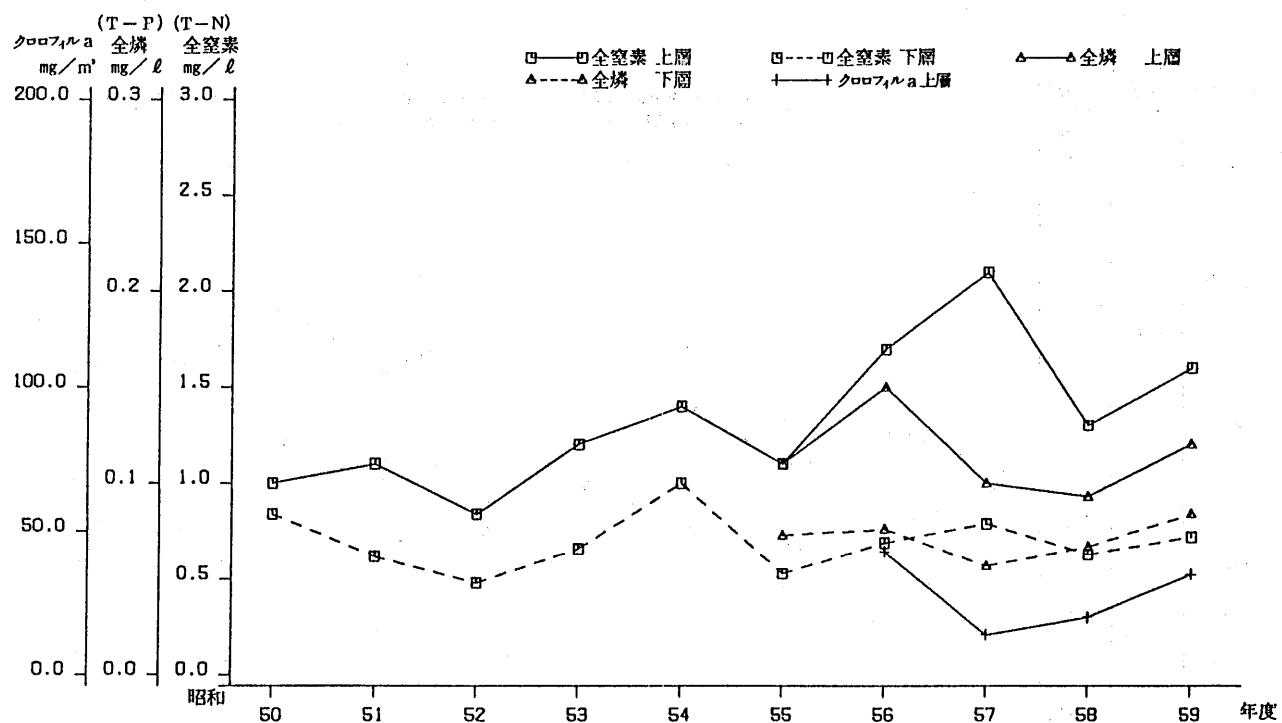
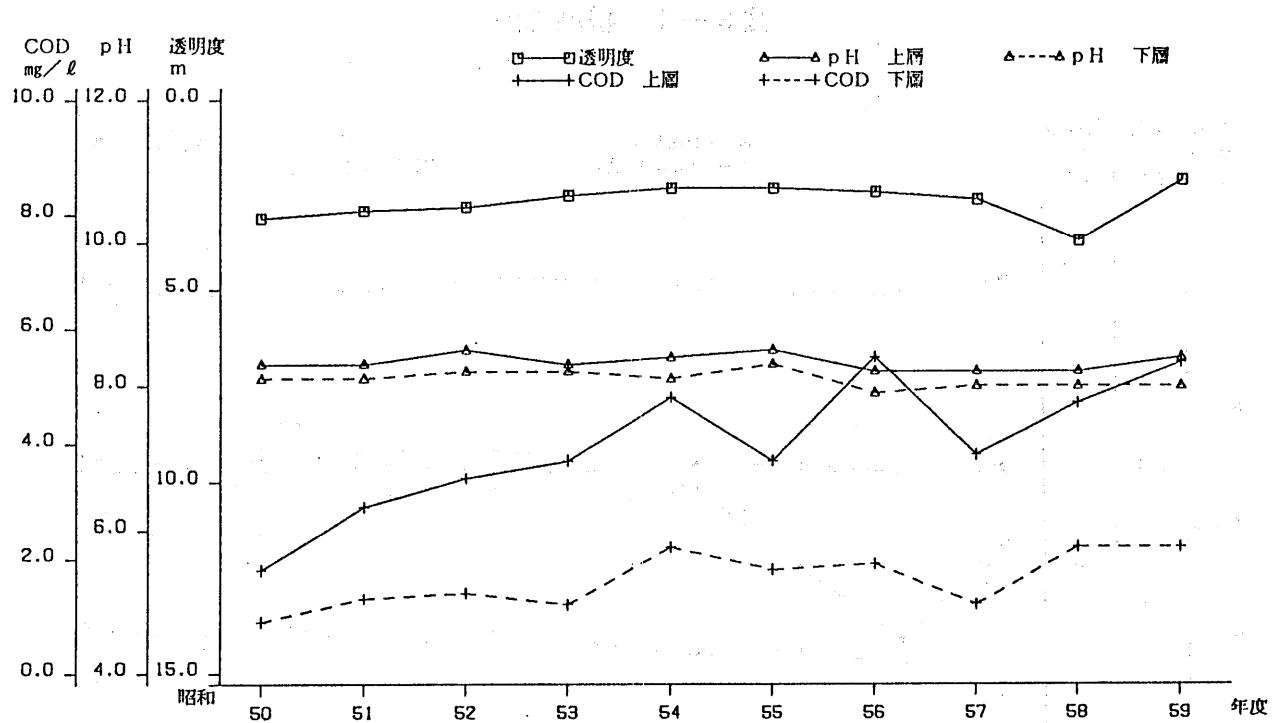


図8-3 富岡沖

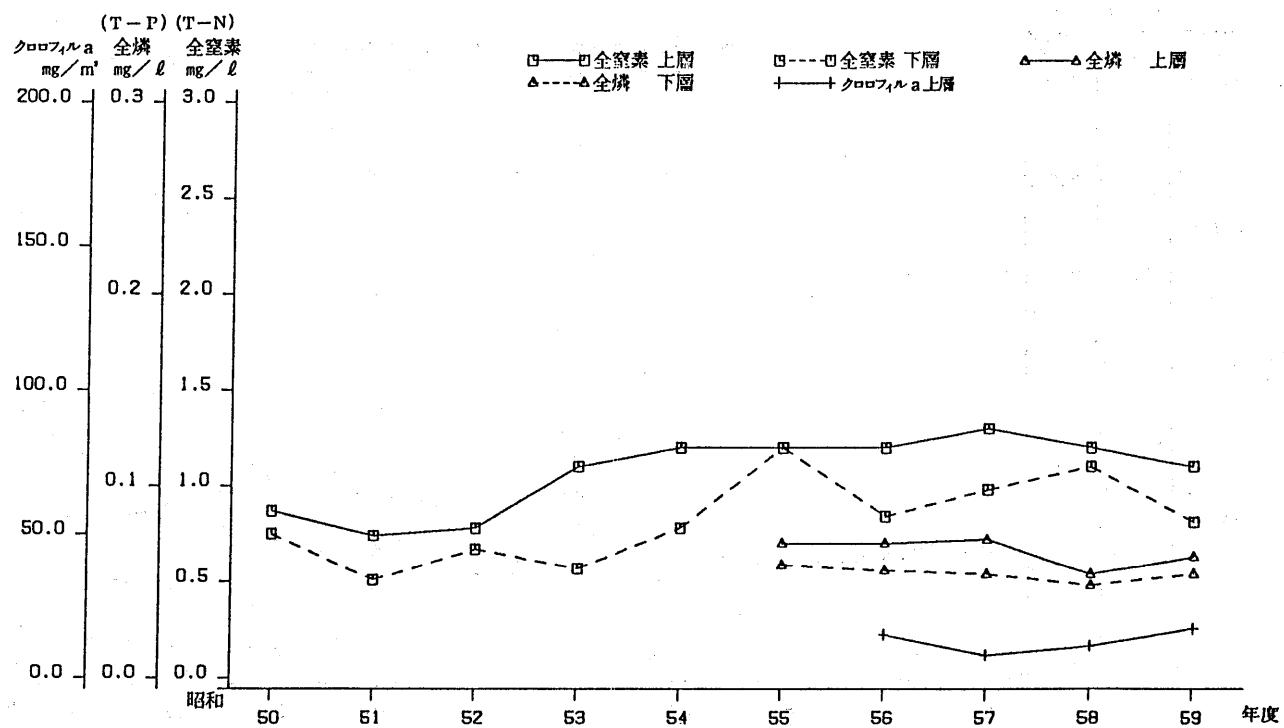
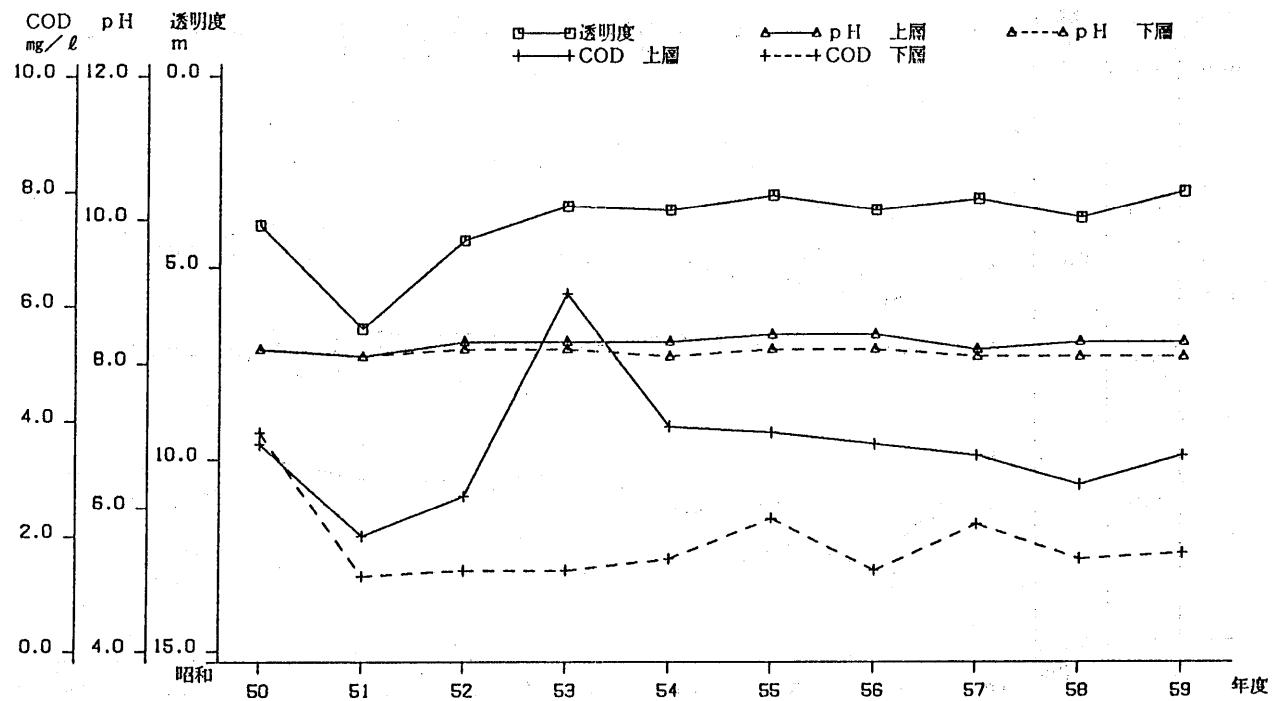


図8-4 大津湾

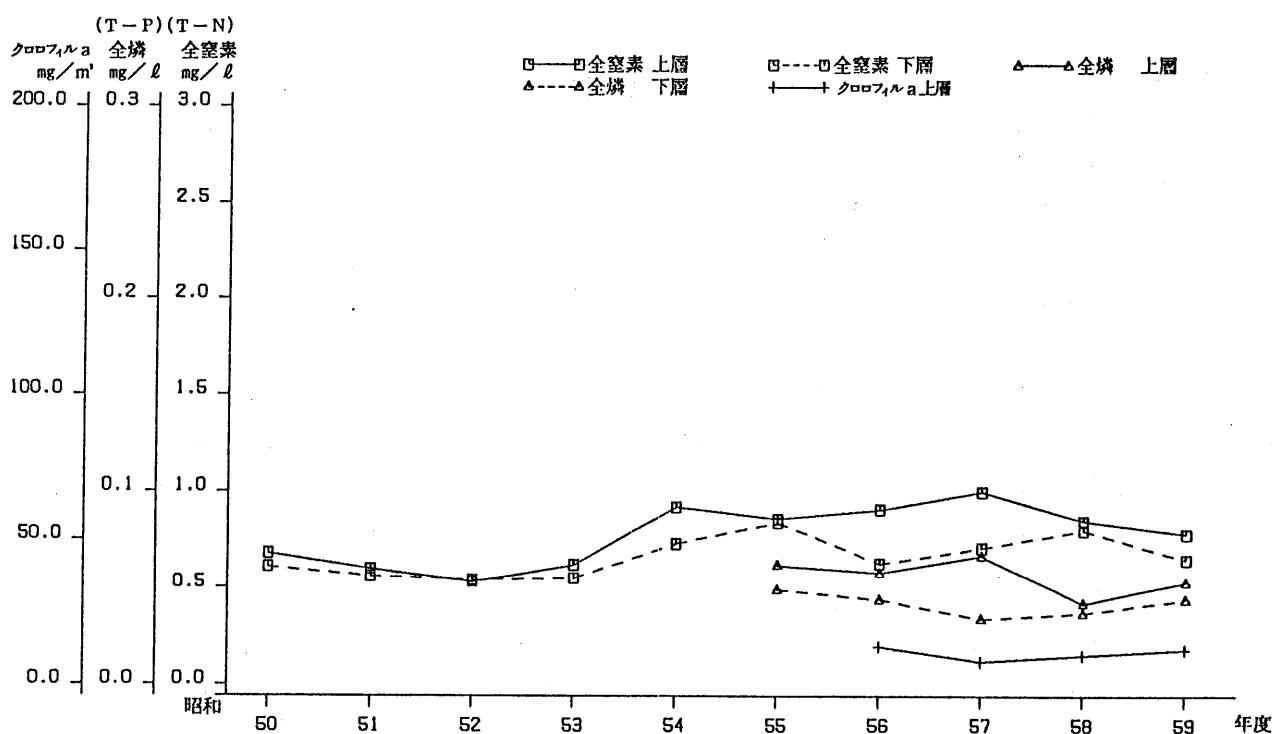
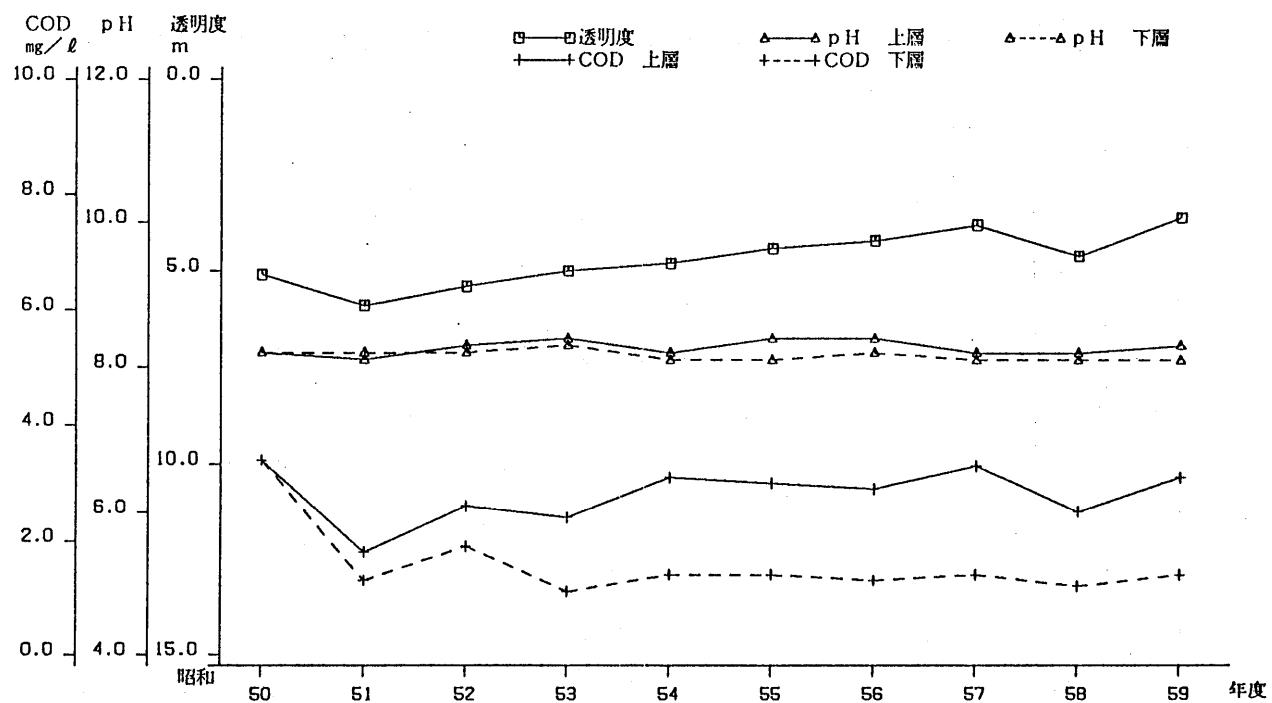


図8-5 中の瀬南

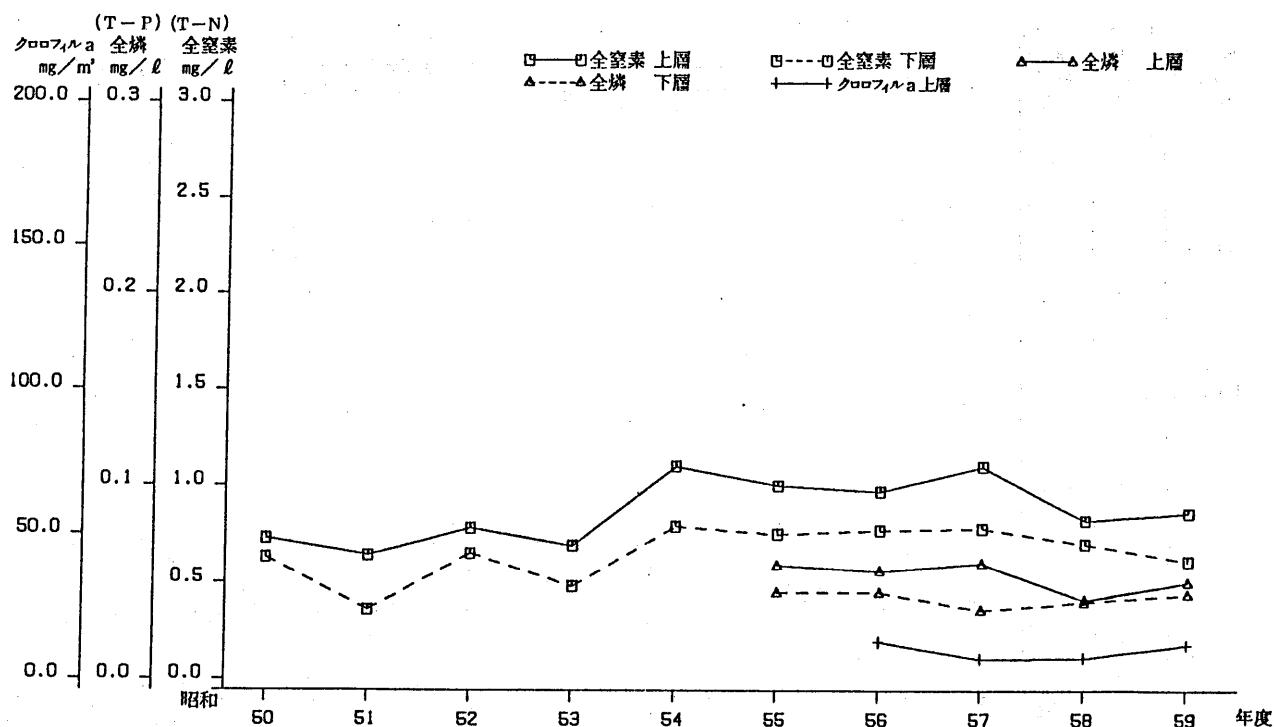
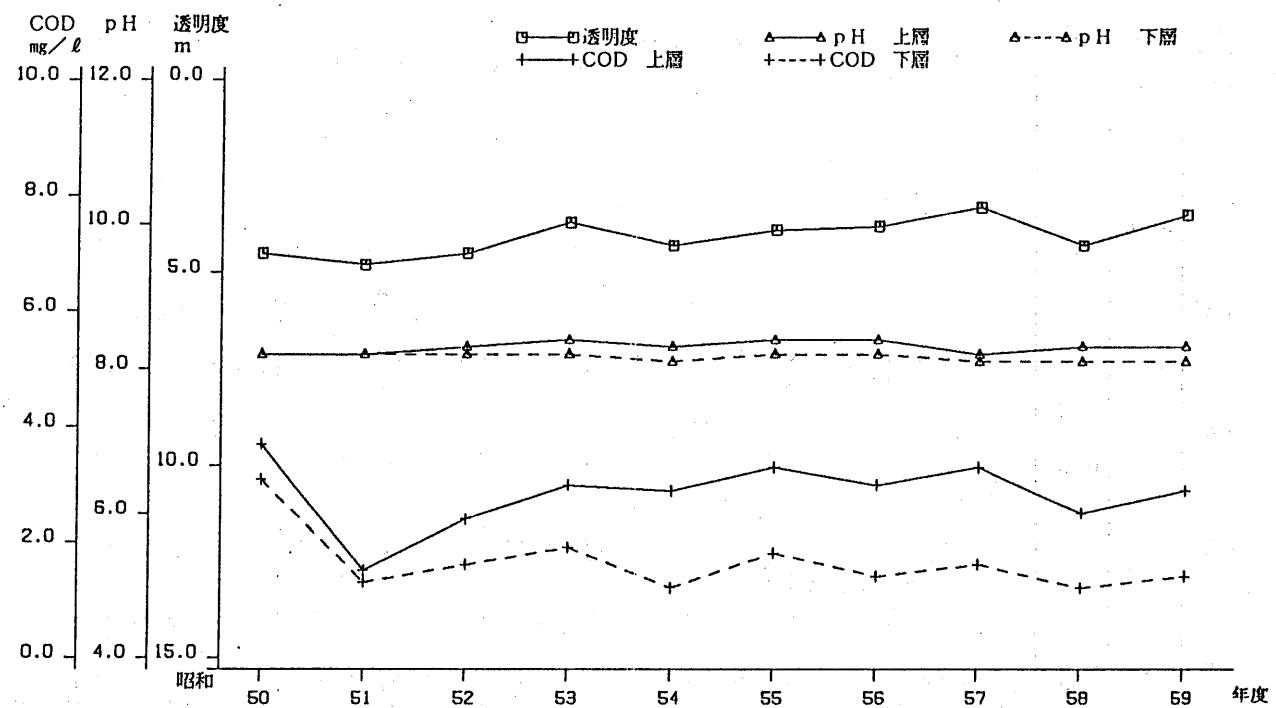
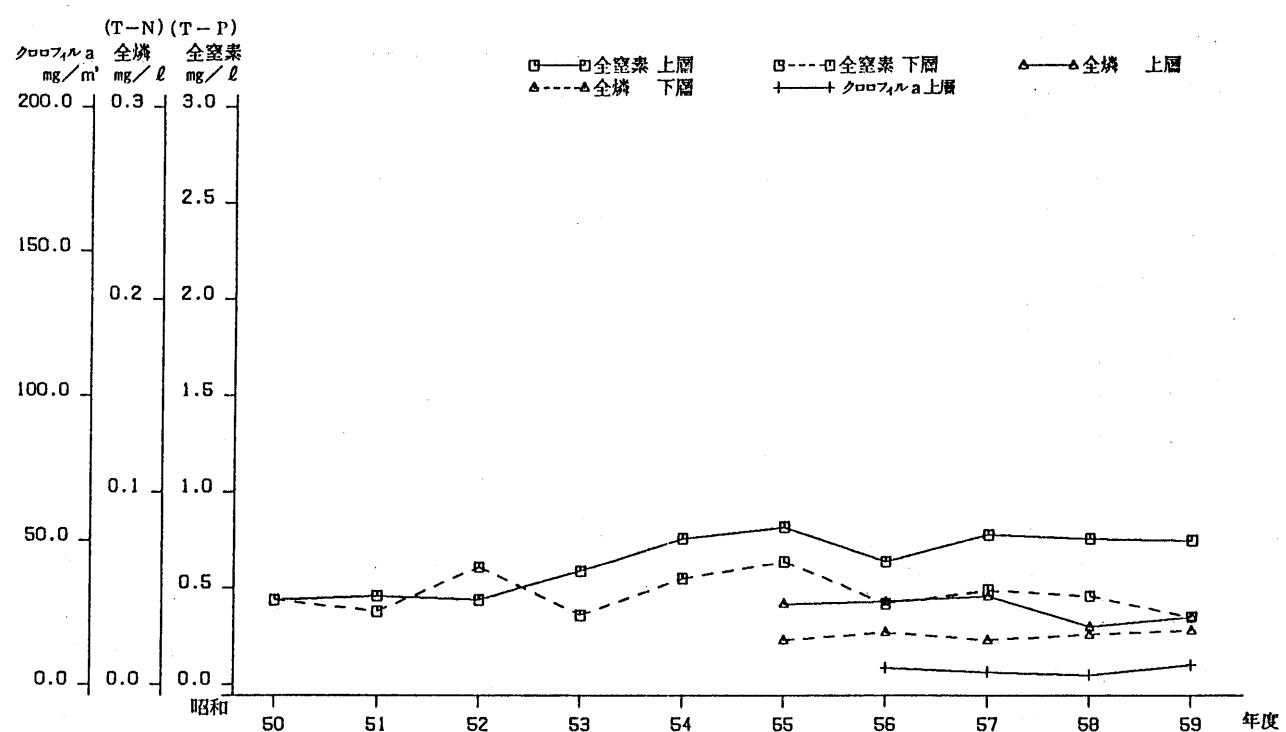
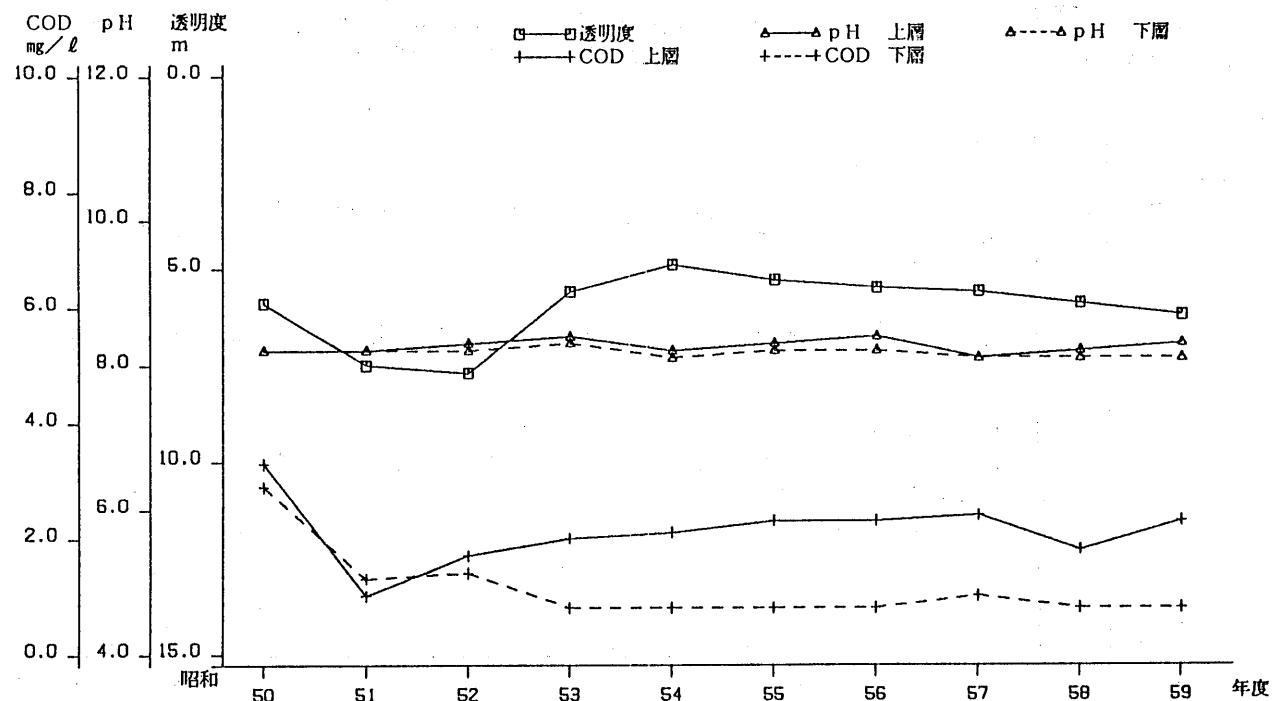


図8-6 浦賀沖



(9) 東京湾の主要地点における水質経月変化図

(透明度・pH・COD・T-N・T-P・クロロフィルa)

図9-1 横浜港内

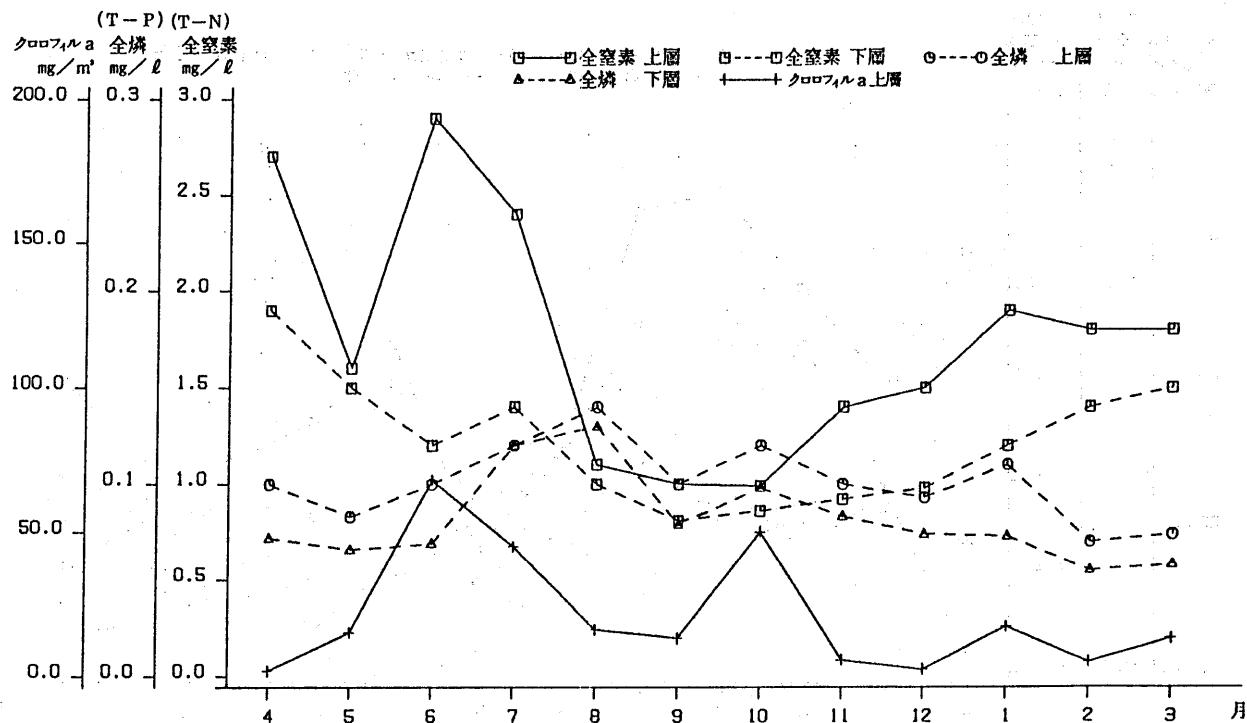
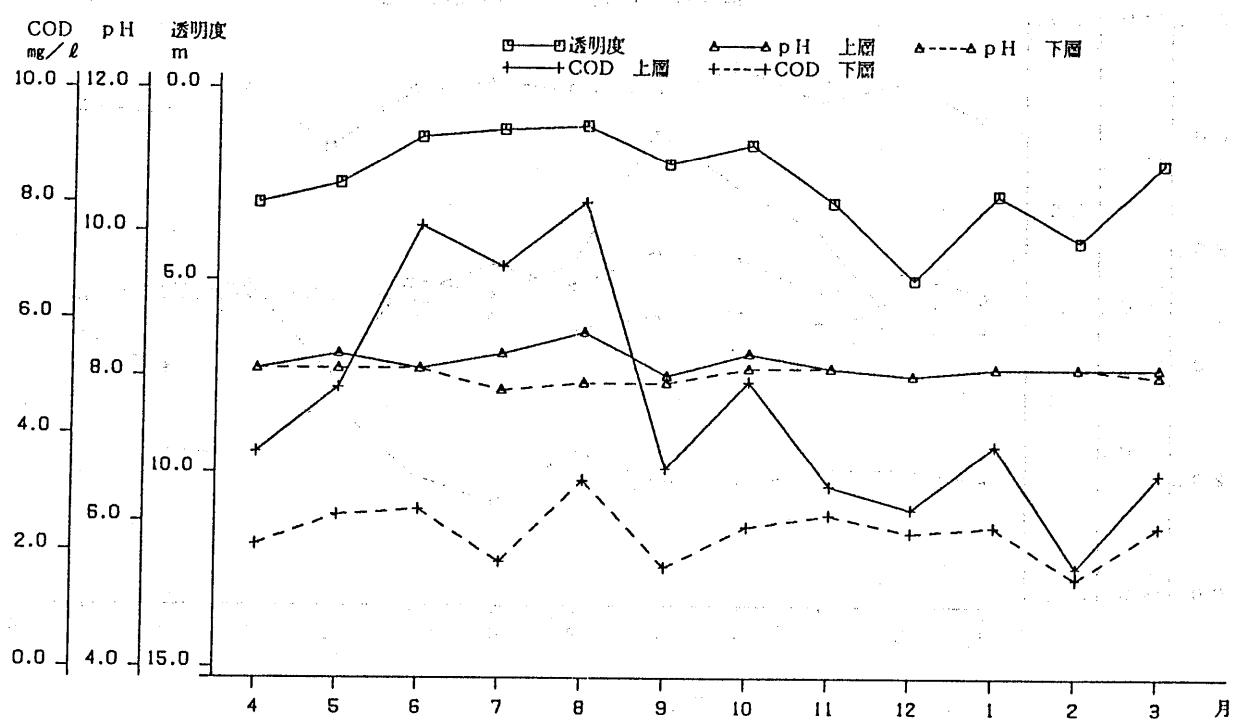


図9-2 千鳥町沖

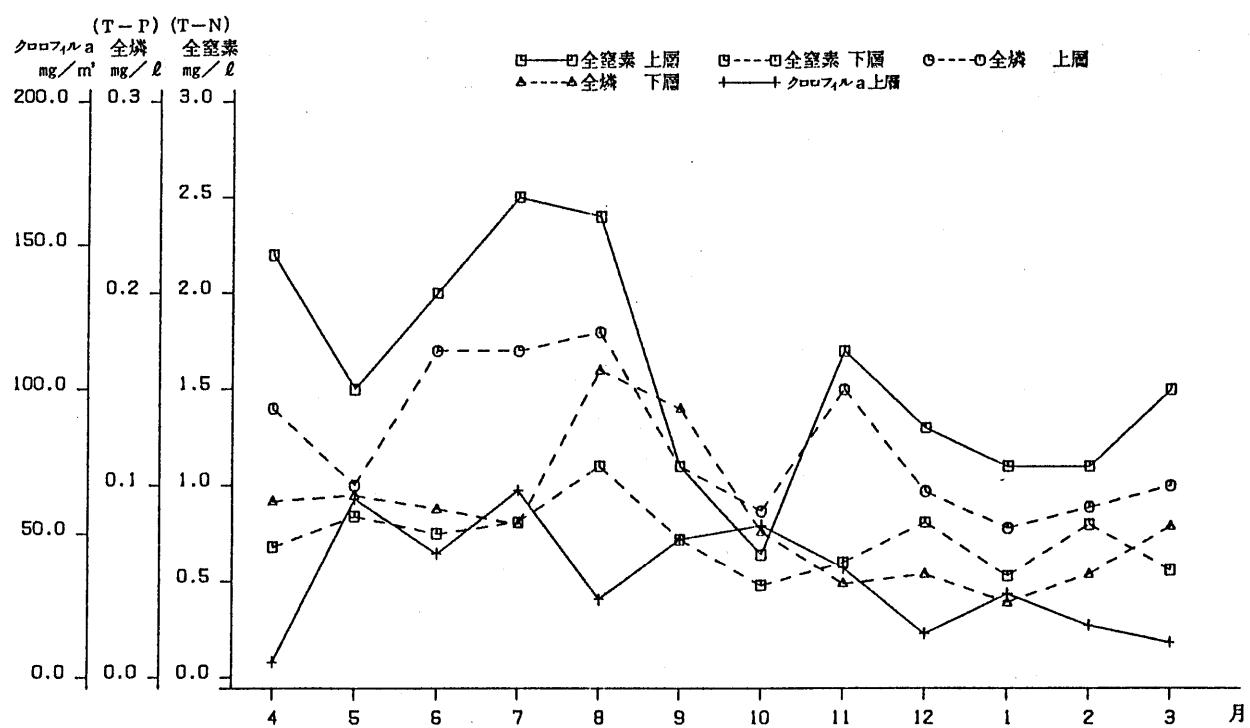
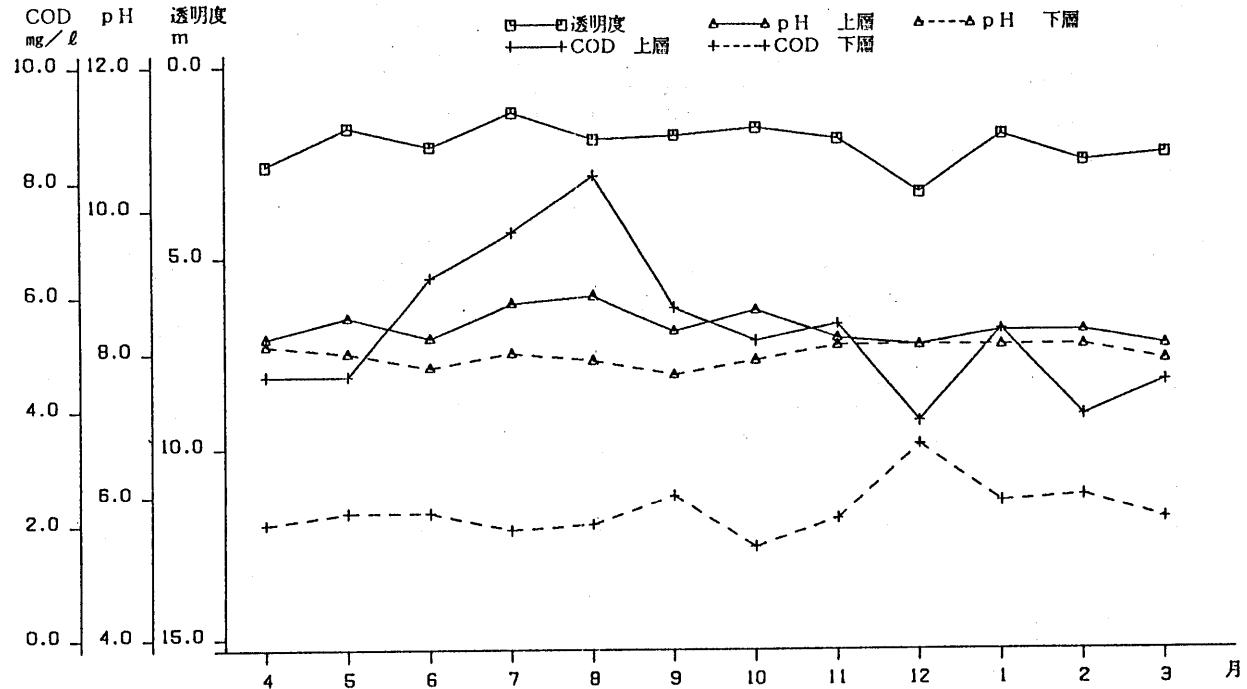


図9-3 富岡沖

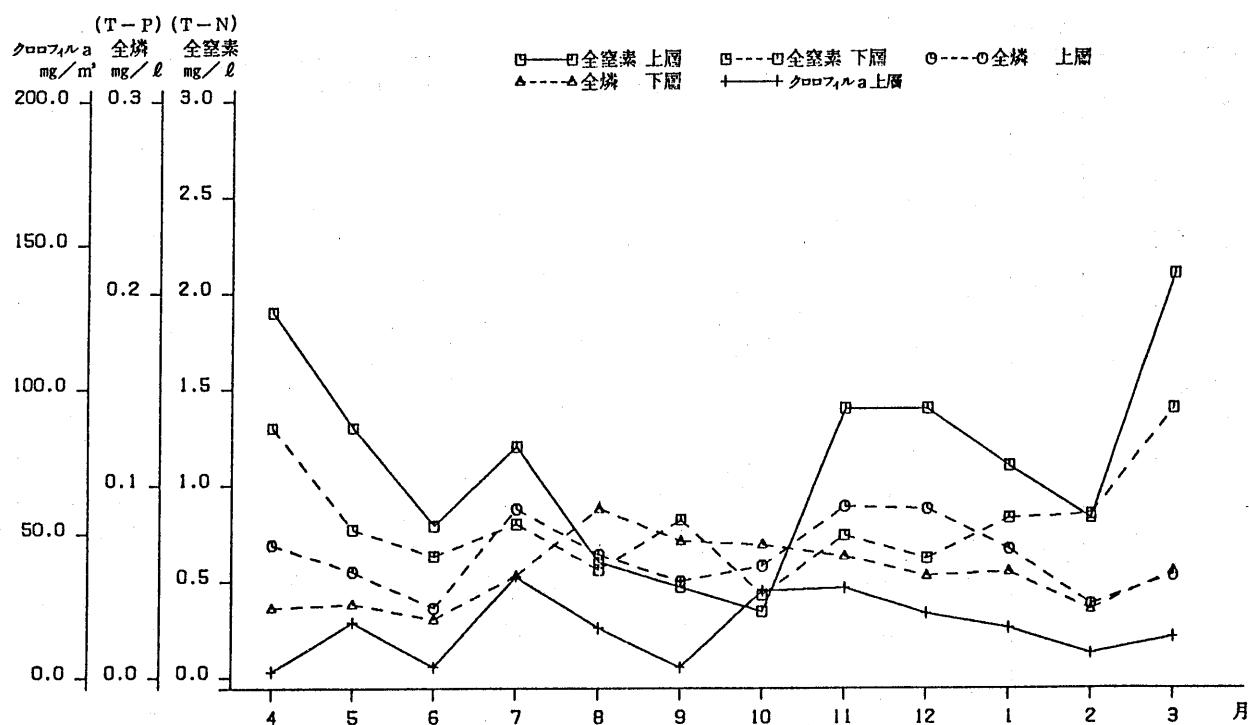
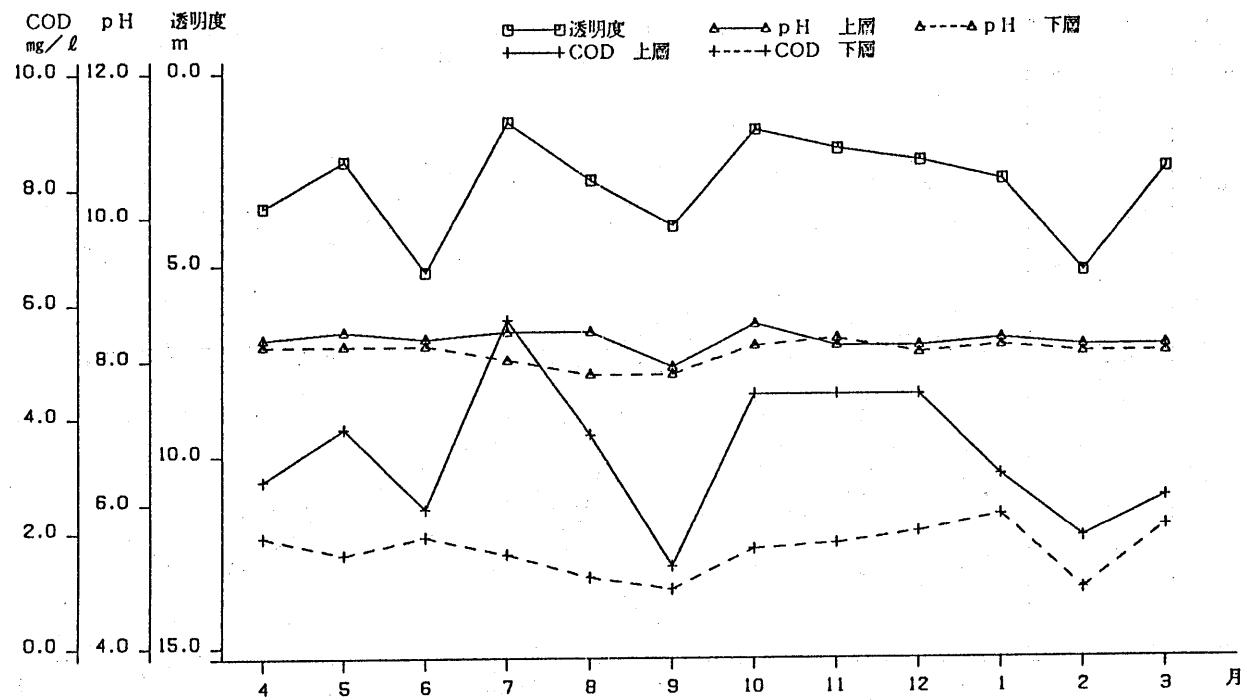


図9-4 大津湾

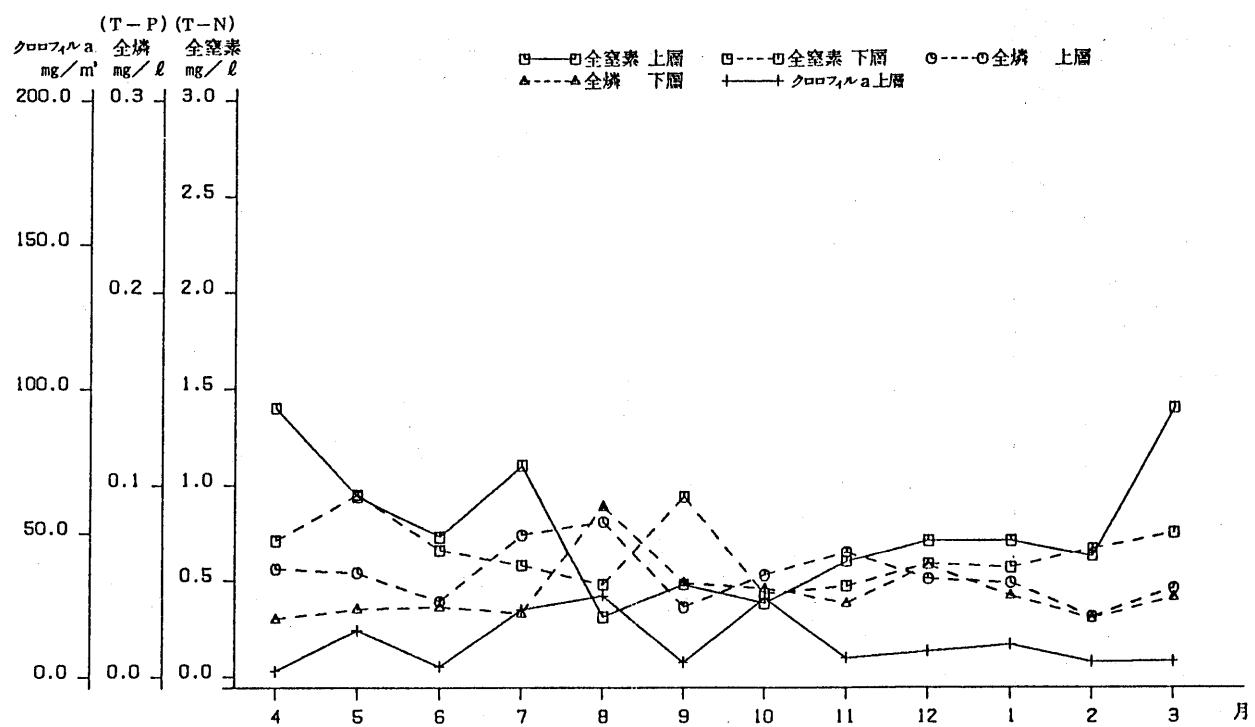
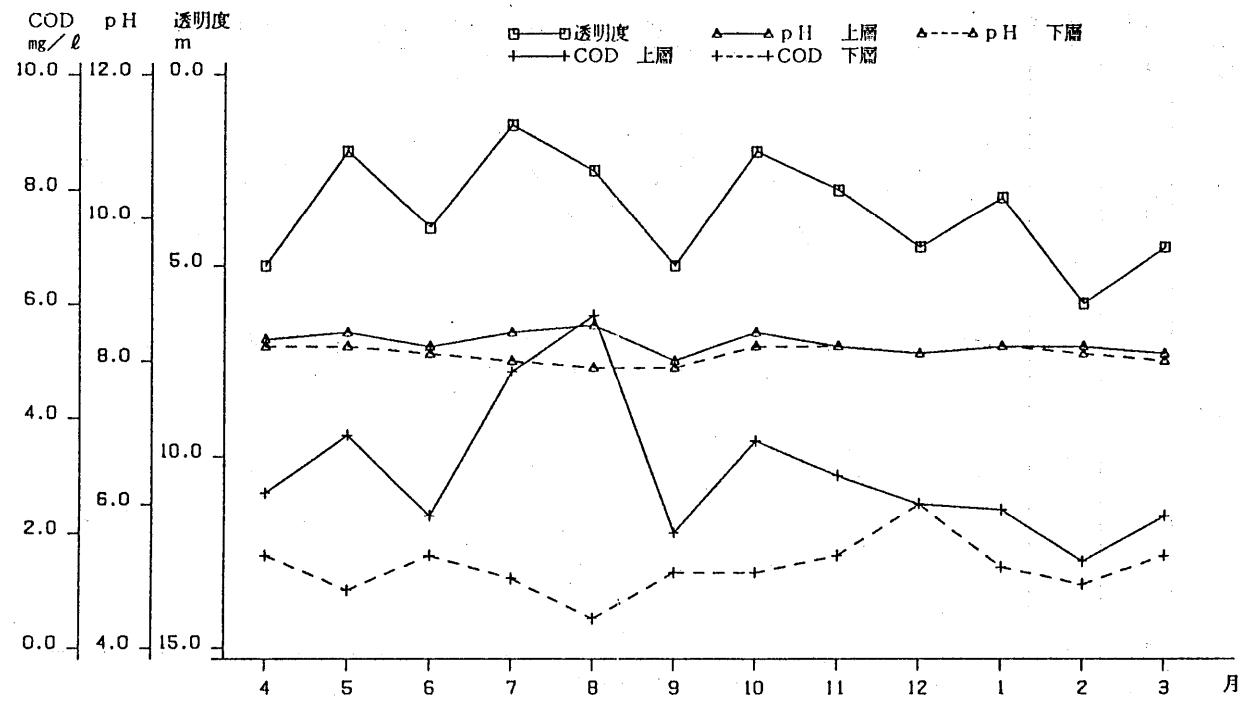


図9-5 中の瀬南

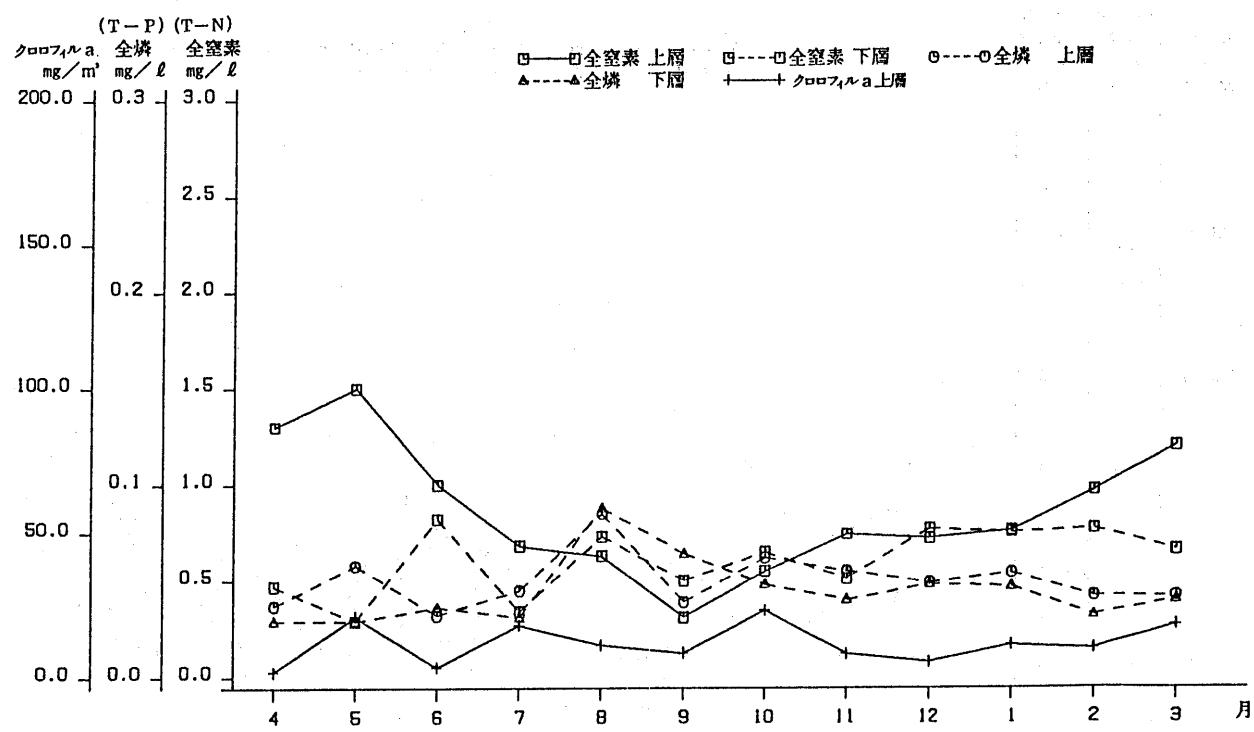
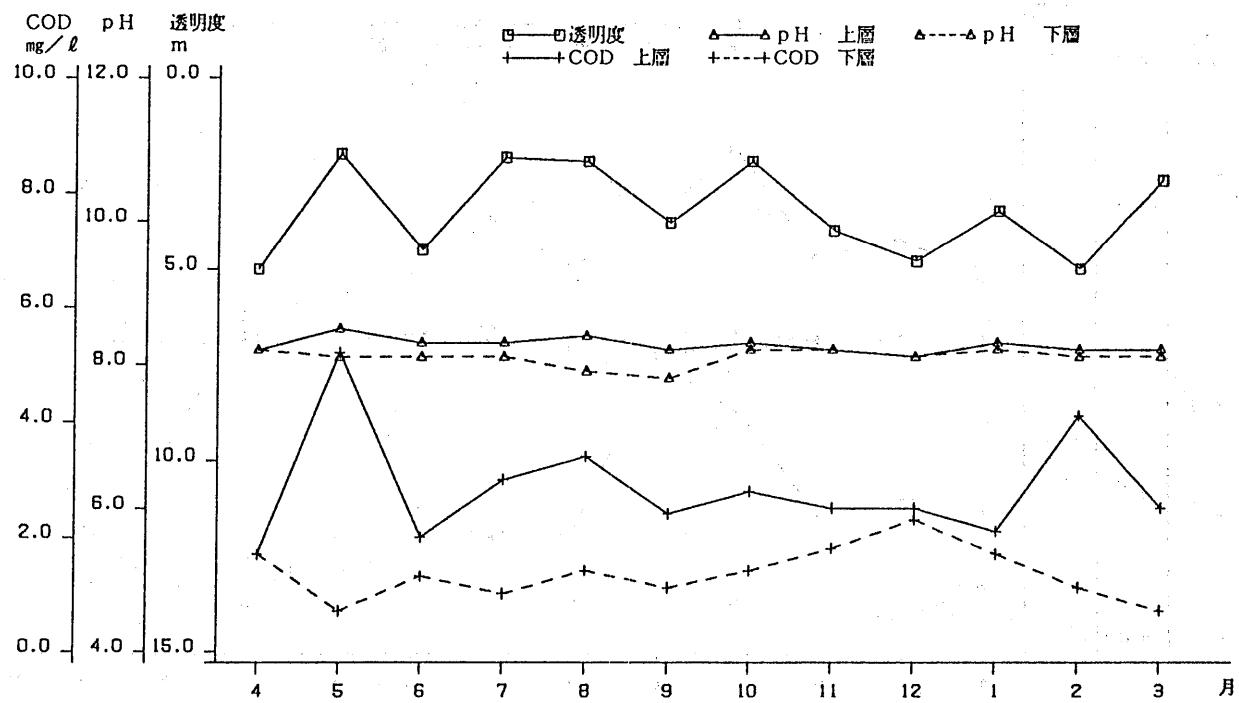
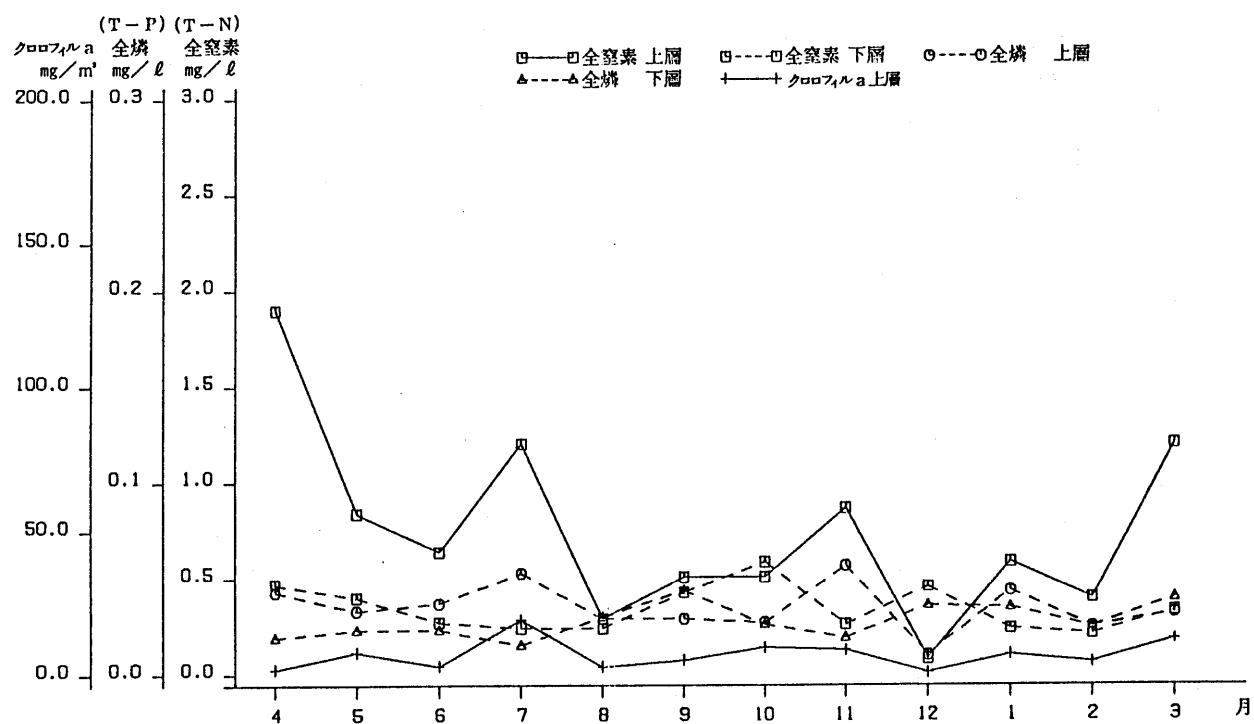
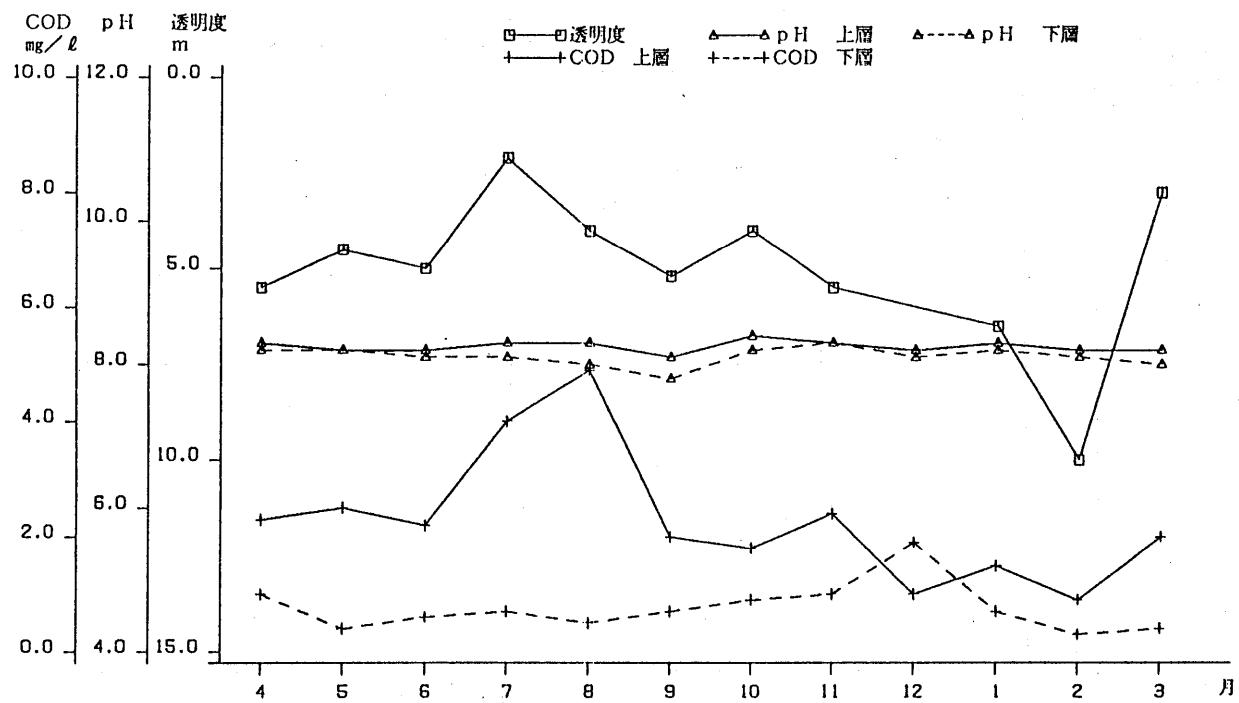
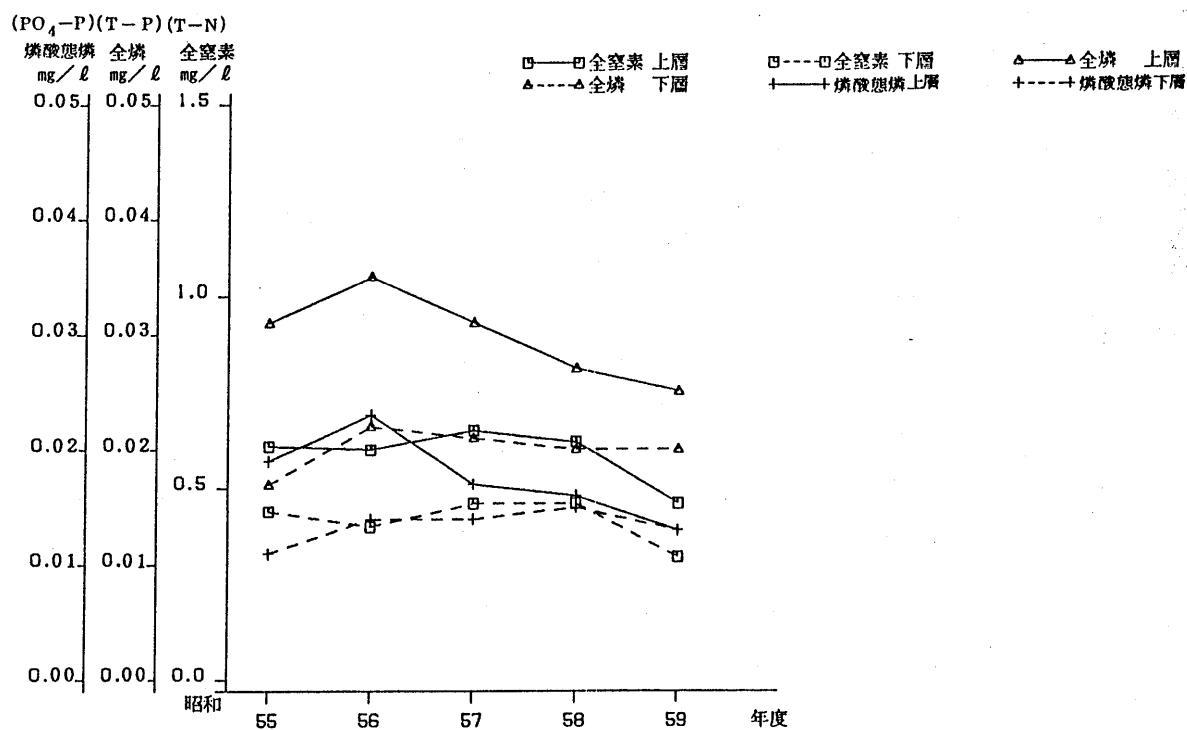
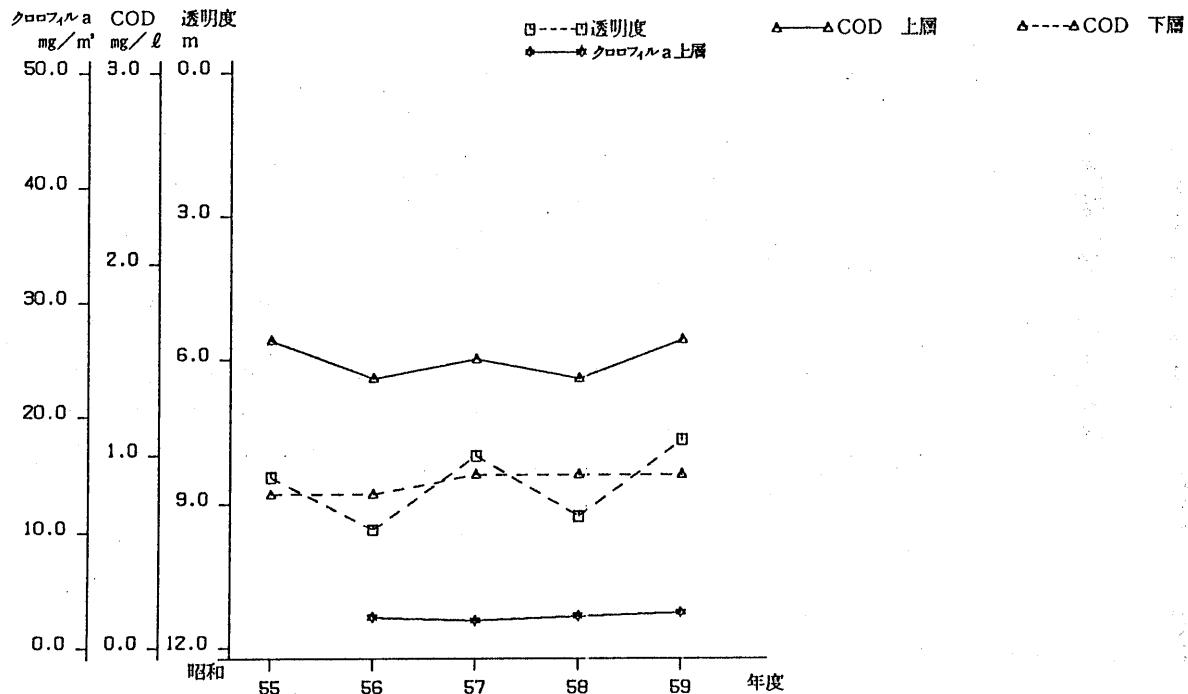


図9-6 浦賀沖



(10) 相模湾における水質経年変化図(全測定地点の平均値)
 (透明度、COD、クロロフィルa、T-N、T-P、PO₄-P)

図10 相模湾(全域)



(11) 相模湾の主要地點における経年変化図(年平均値)
(透明度・pH・COD・T-N・T-P・クロロフィルa)

図11-1 江島沖

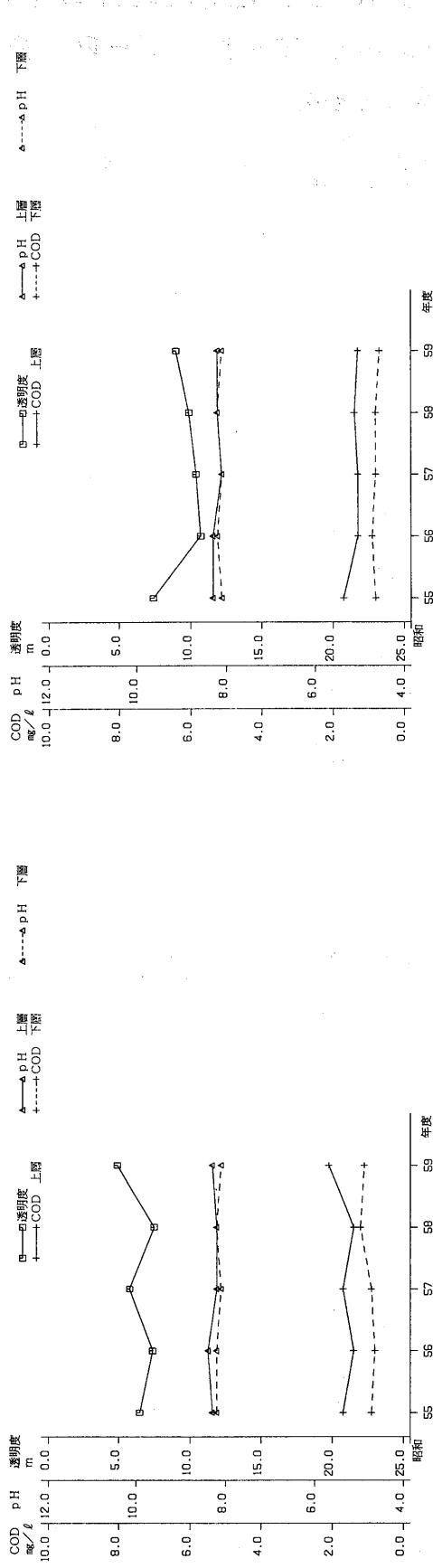


図11-2 城ヶ島西

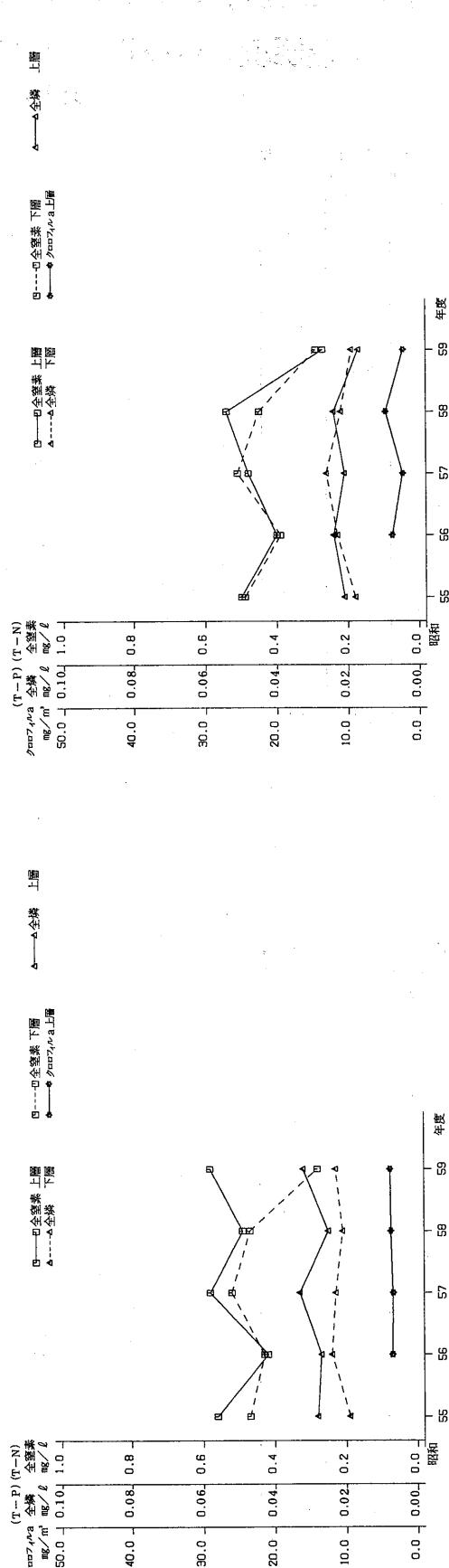


図11-3 七里ヶ浜沖

図11-4 大磯沖

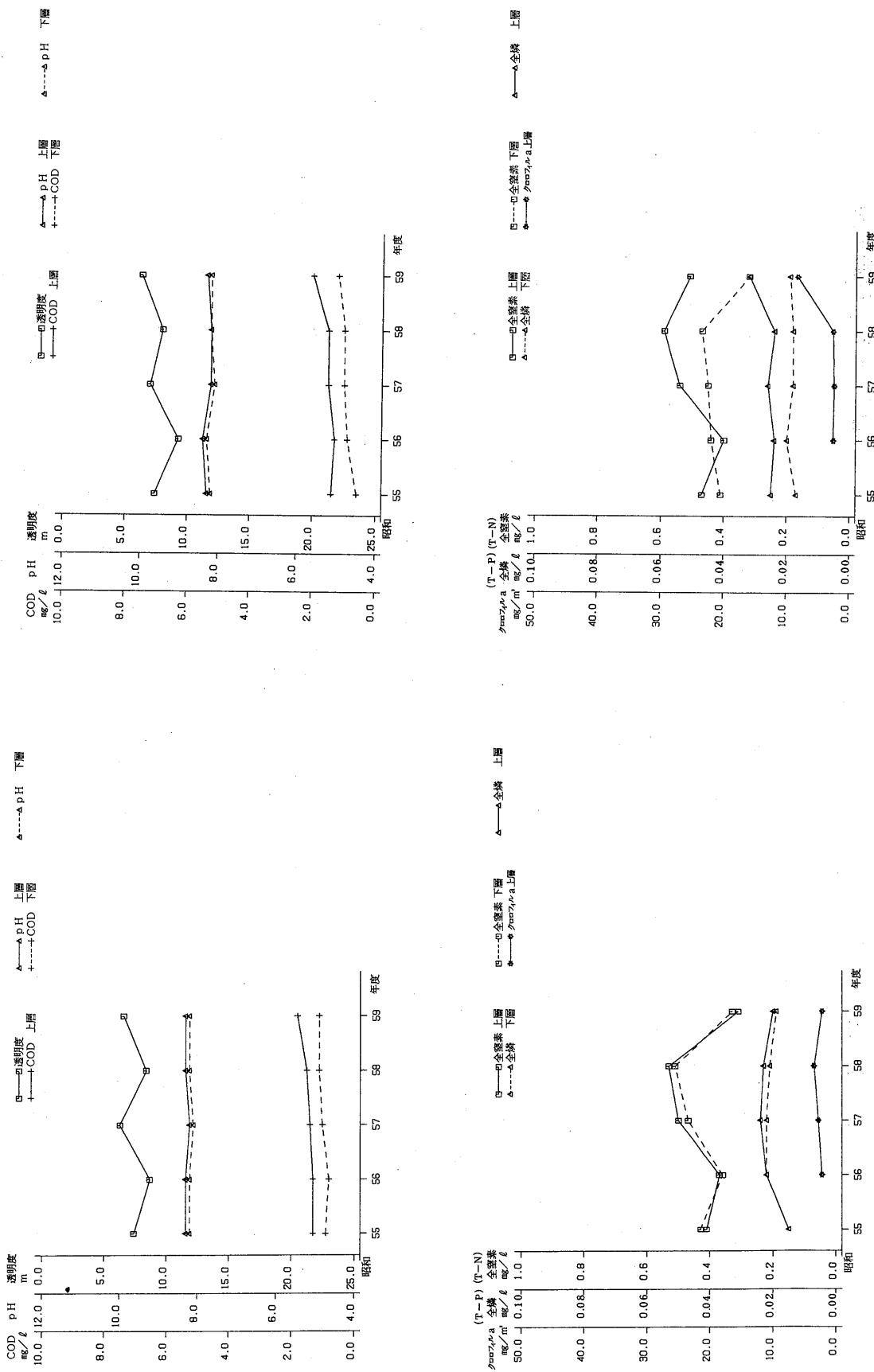
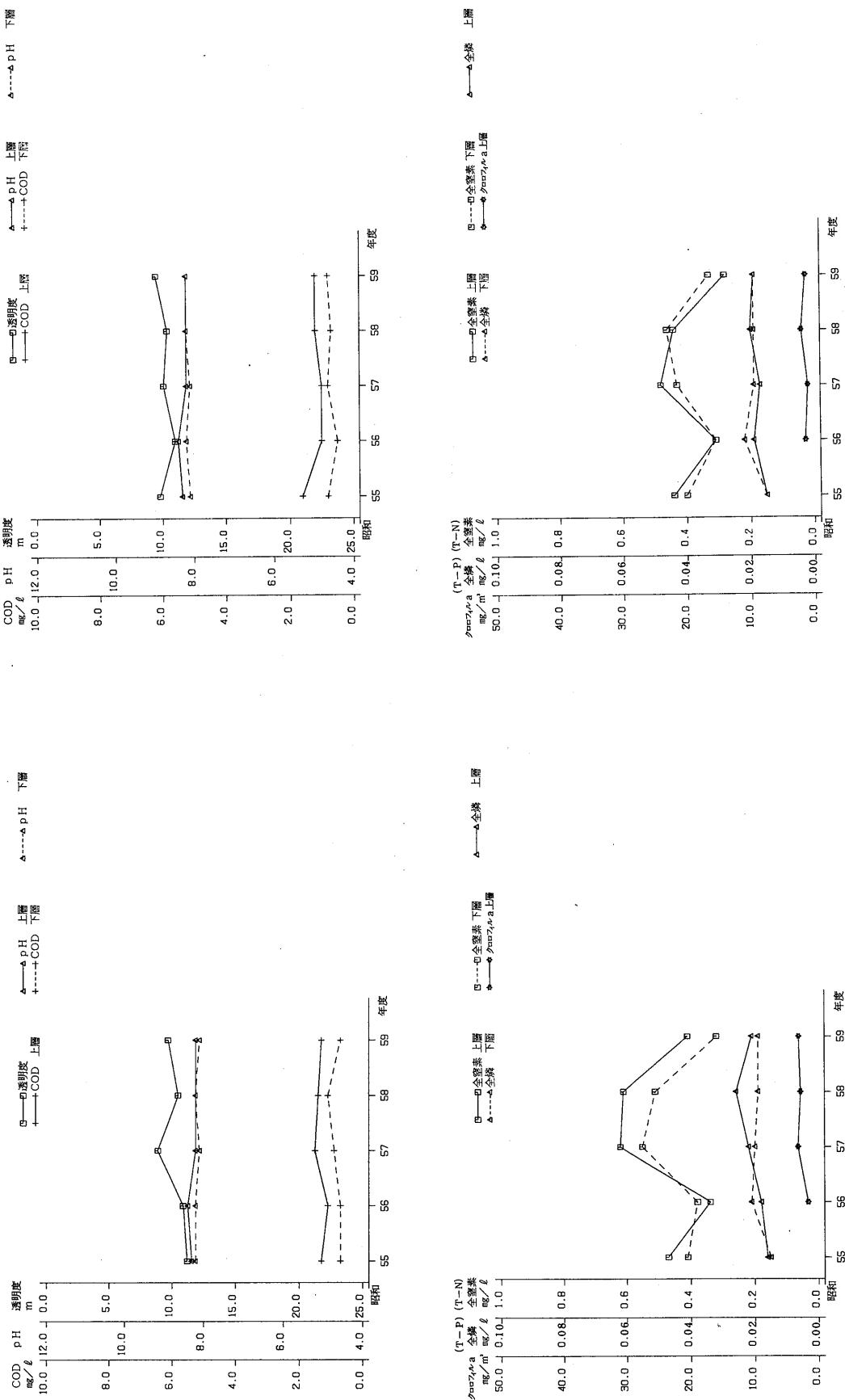


図11-5 湾央

図11-6 根府川沖



(12) 相模湾の主要地点における水質経月変化図

(透明度. pH. COD. T-N. T-P. クロロフィルa)

図 12-1 遊歩堂沖

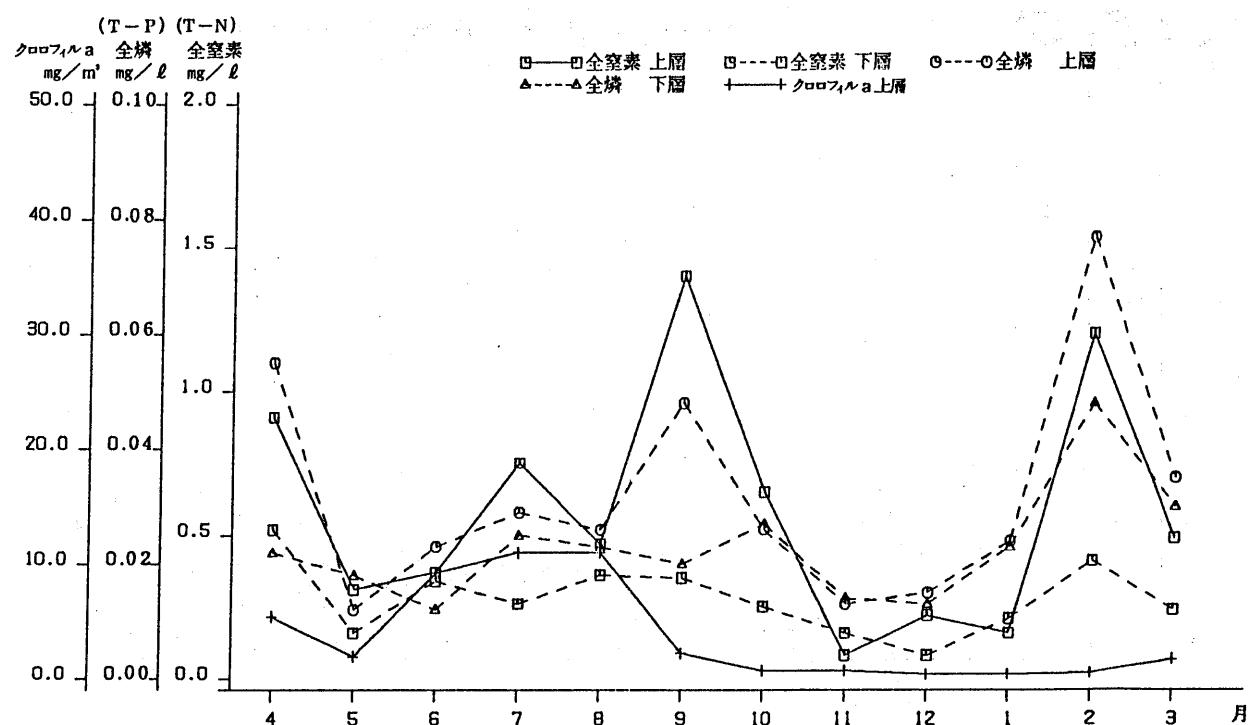
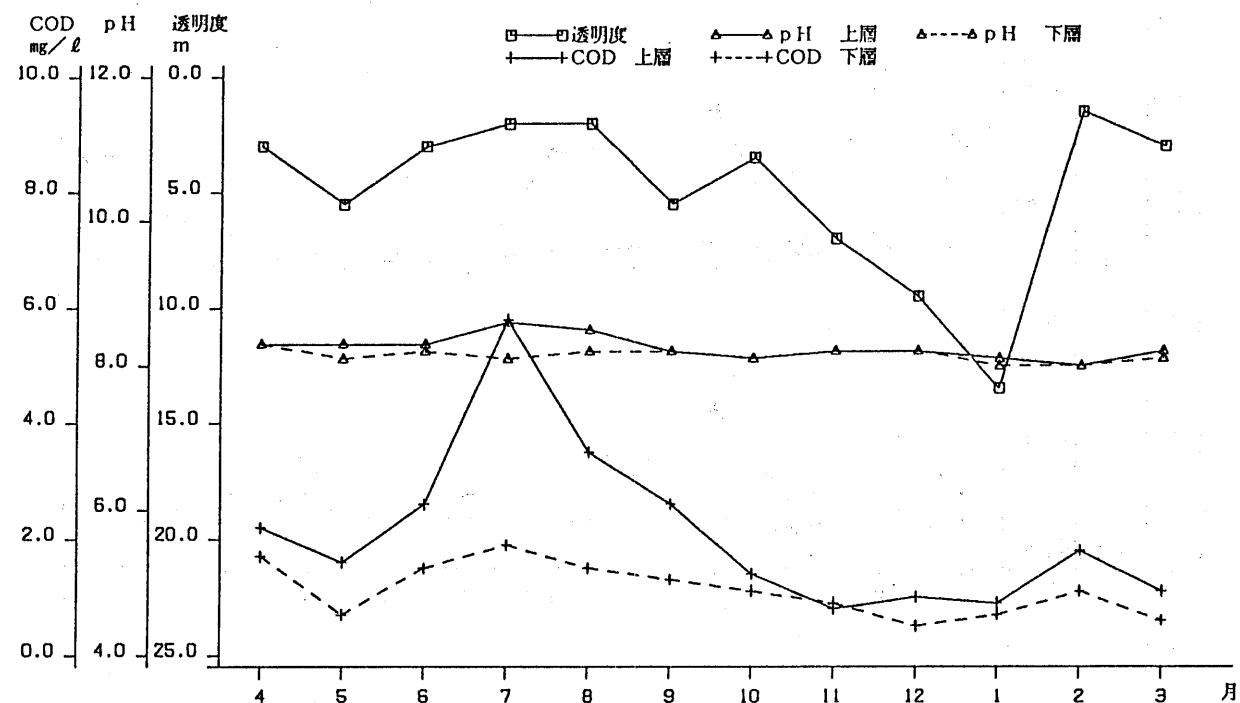


図 12-2 城ヶ島西

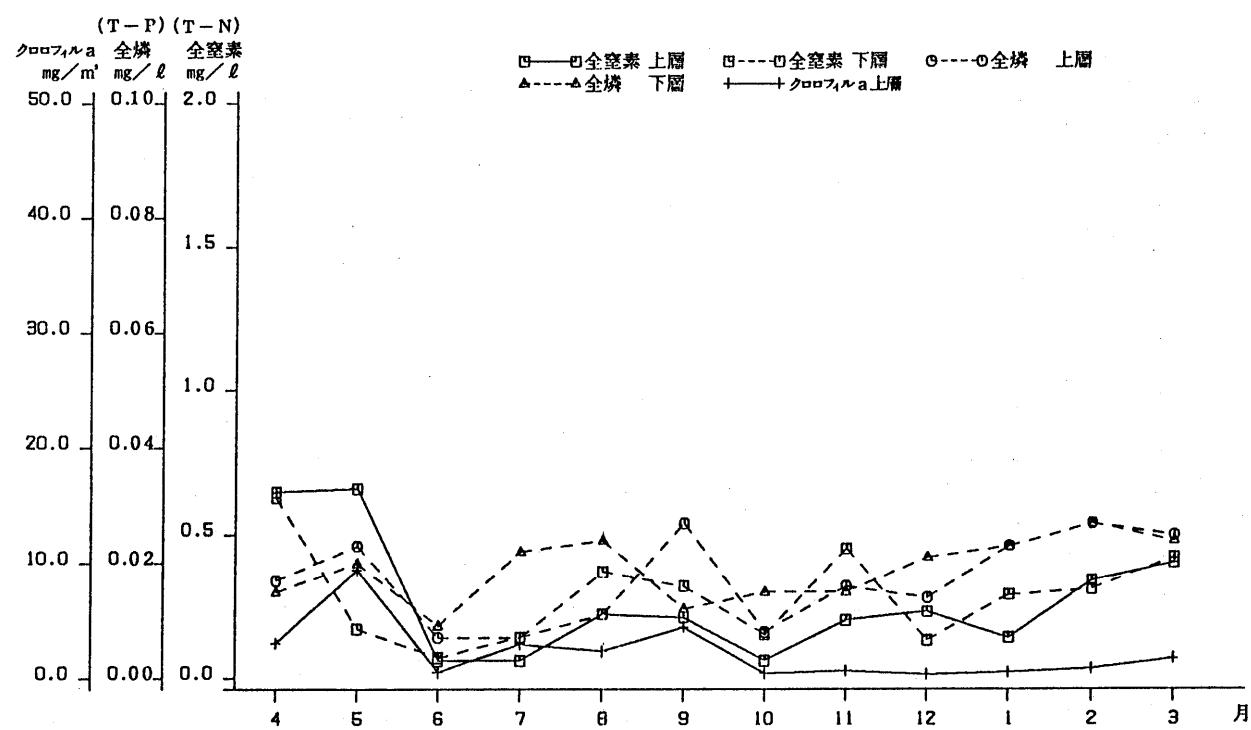
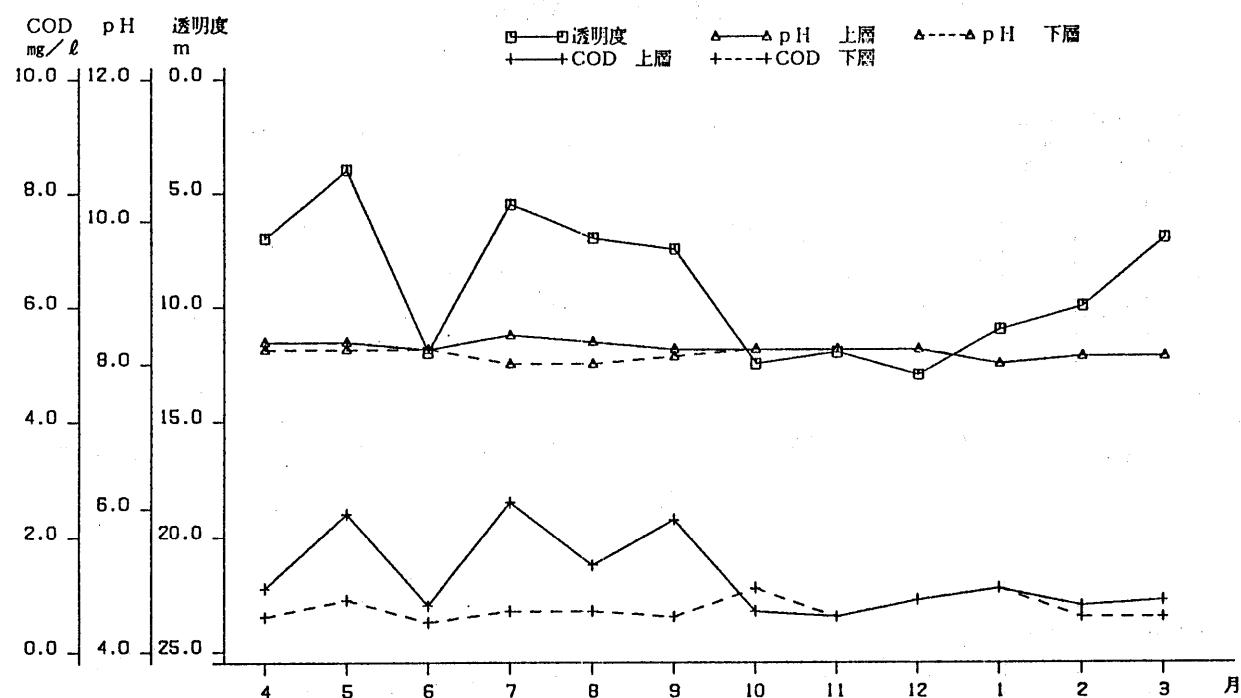


図12-3 七里ヶ浜沖

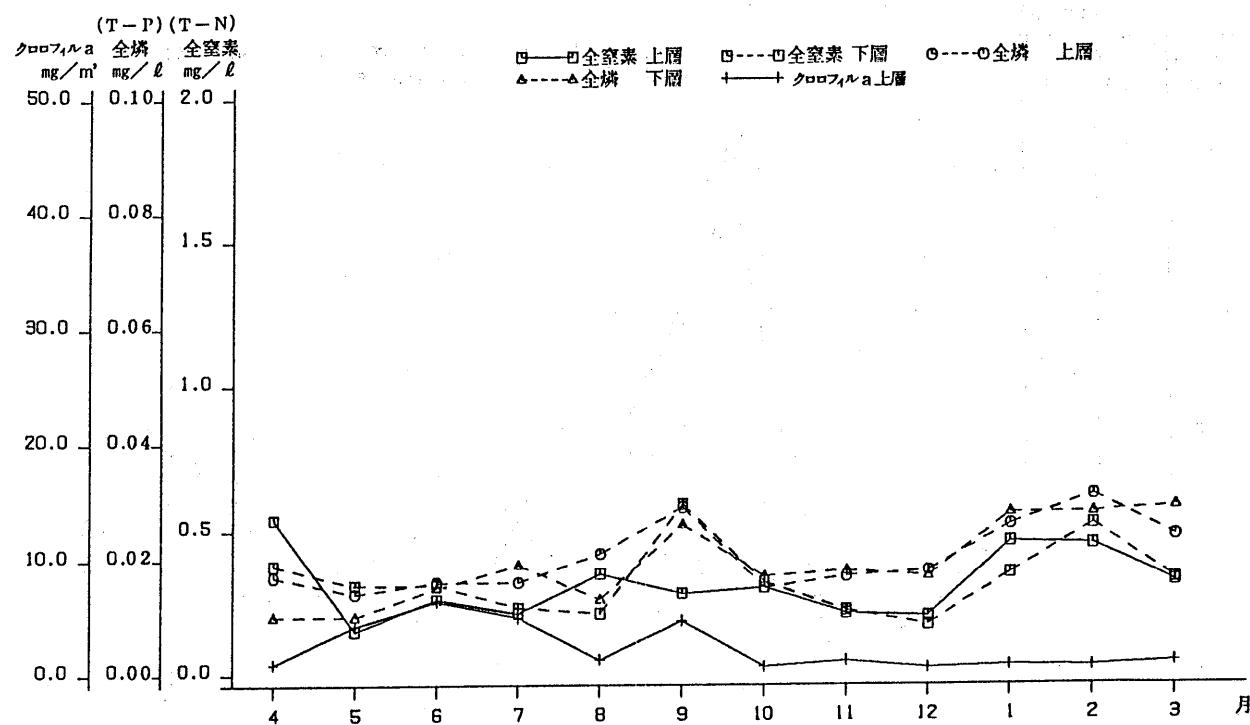
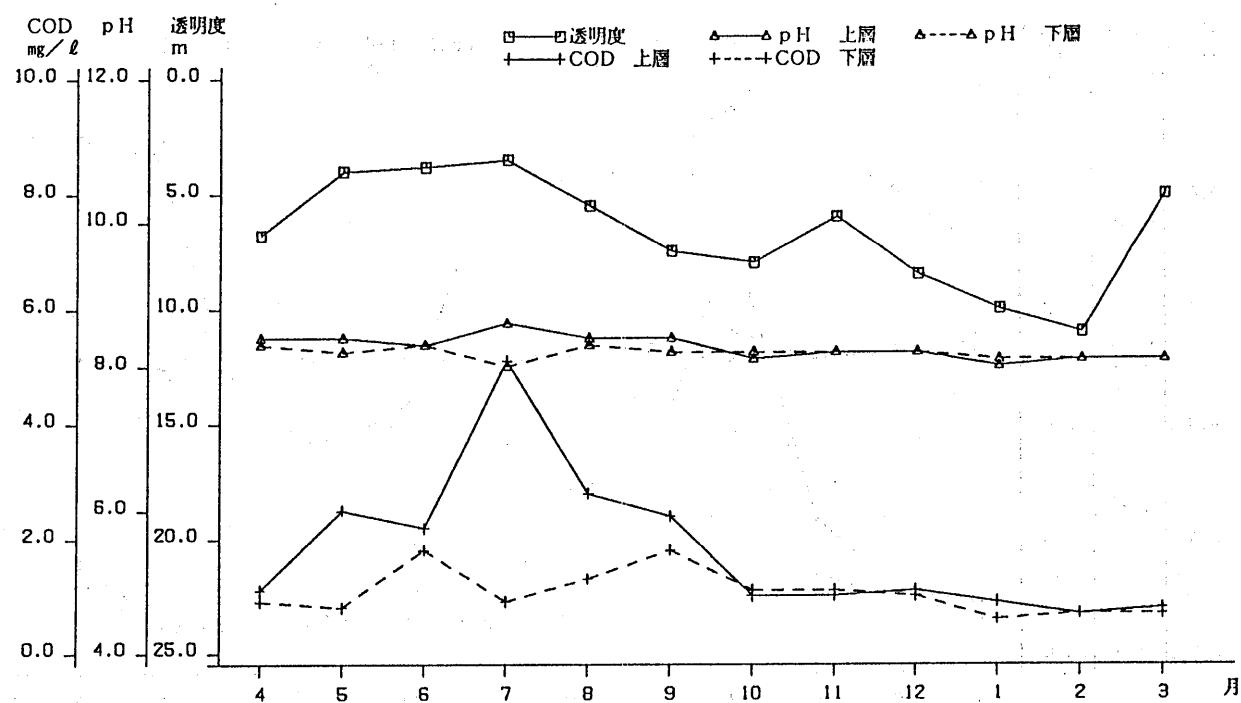


図 12-4 大磯沖

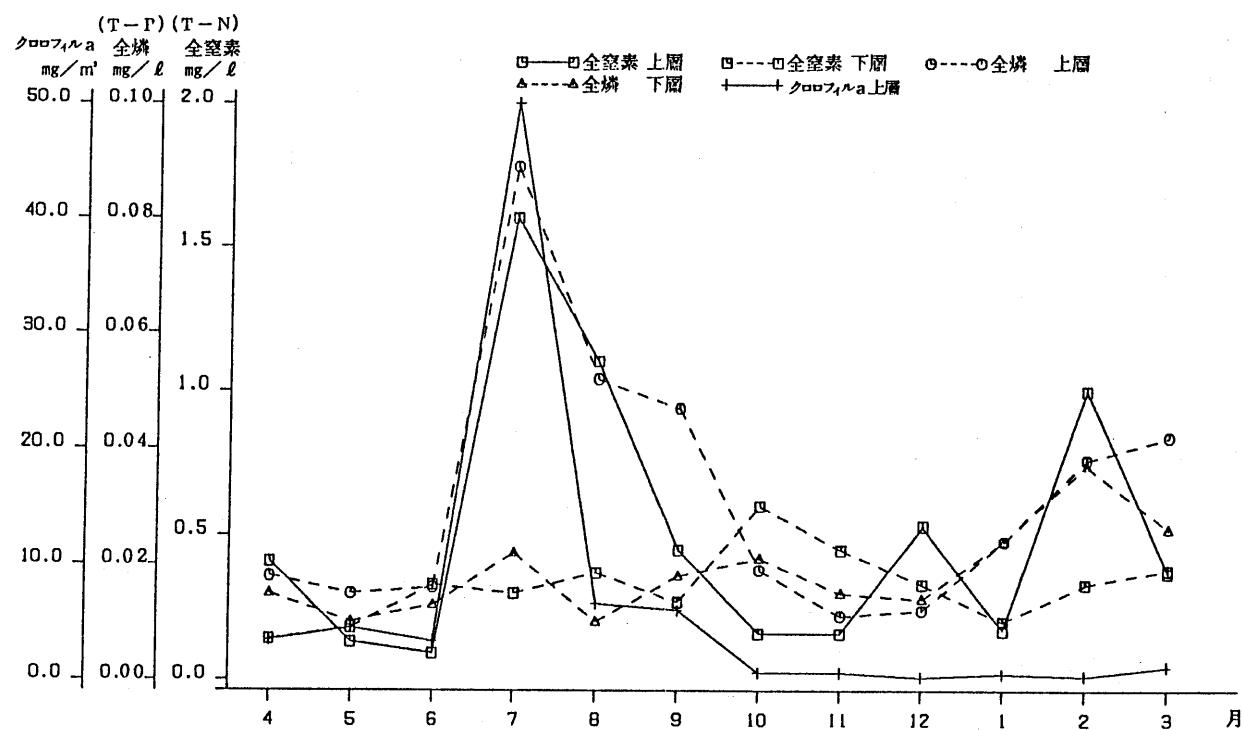
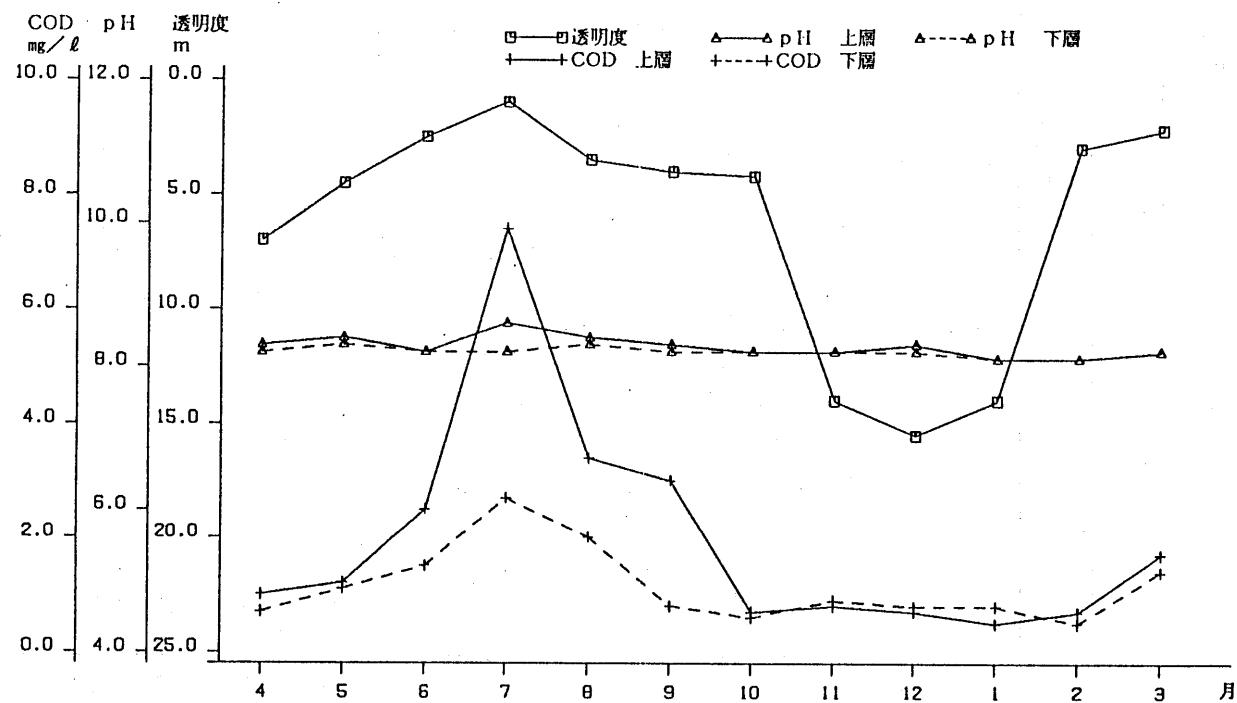


図12-5 湾央

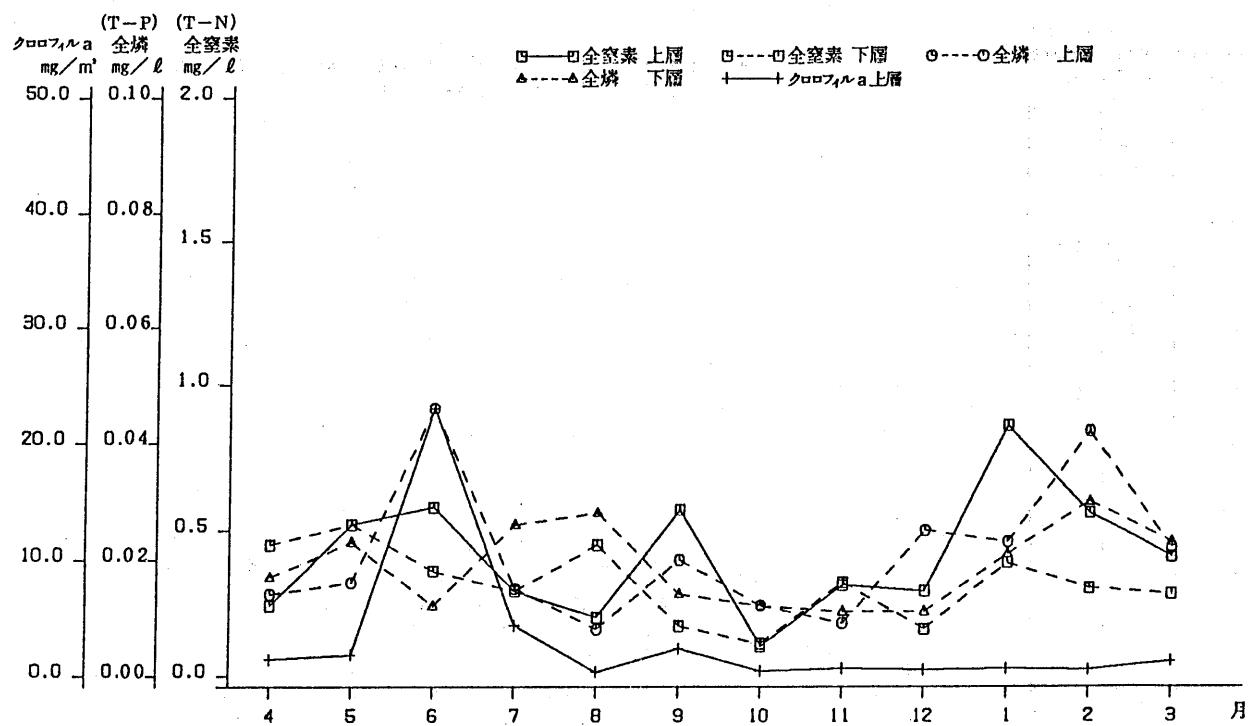
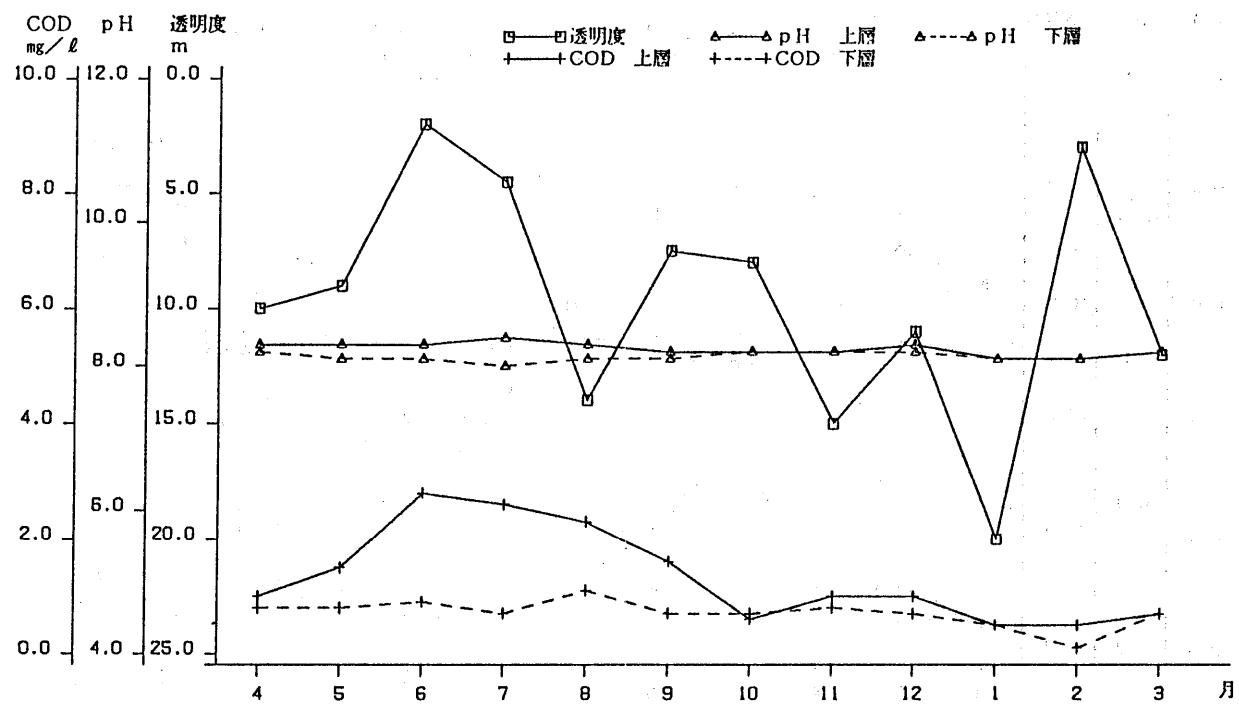
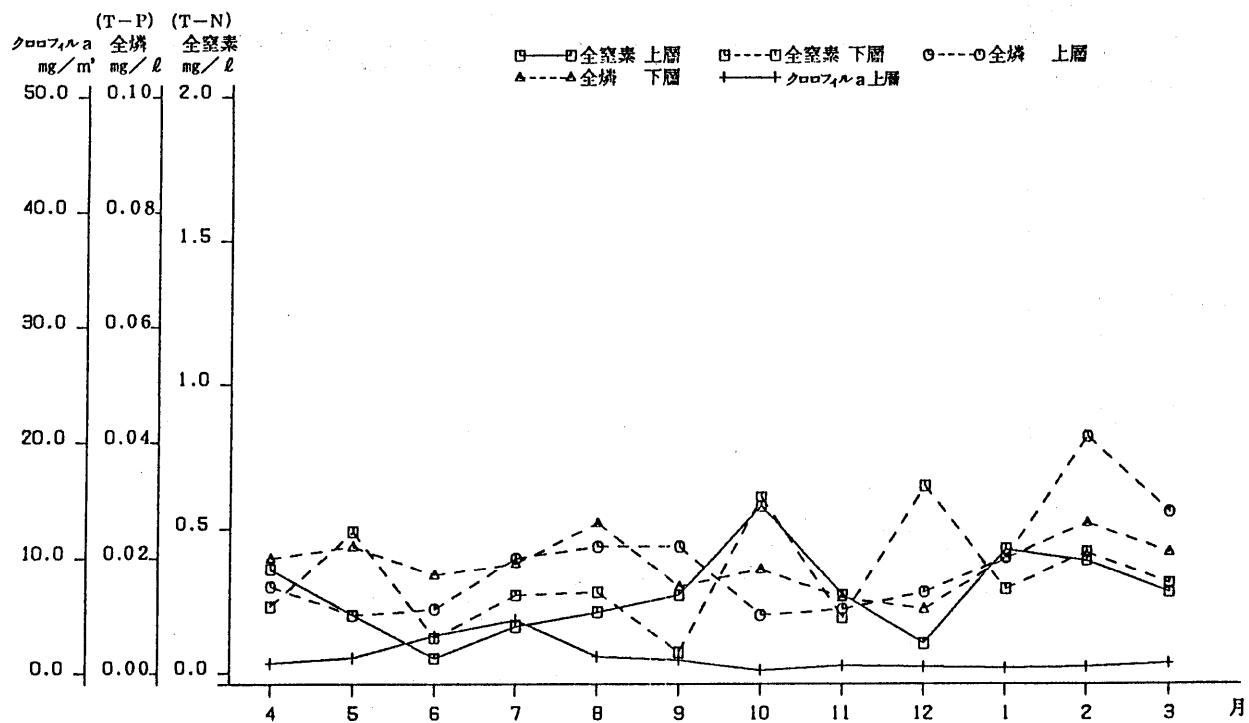
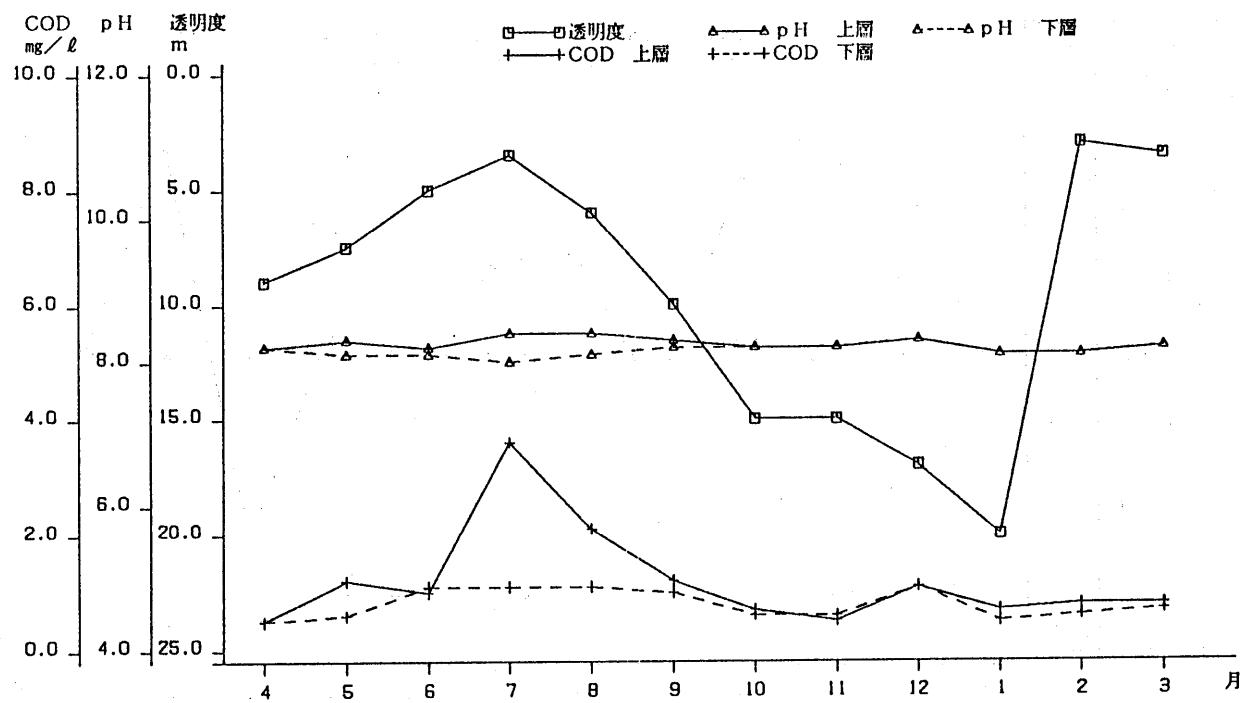


図 12-6 根府川沖



表

)

表-1 各測定地点におけるBOD(COD)年平均値経年変化

1. 河川(BOD)年平均値経年変化

(単位: mg/l)

水域(支川)	類型	番号	測定地点	47~54年度 平均	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度
多摩川	C	①	多摩川原橋	7.7	9.2	9.0	5.0	5.3	6.9
		2	多摩水道橋	6.0	6.1	6.3	4.3	4.3	5.2
		3	二子橋	11	9.4	9.3	6.6	5.9	7.4
		④	田園調布 取水堰(上)	* 1 8.0	6.7	7.6	5.7	5.1	6.8
	D	5	ガス橋	7.1	5.1	6.7	5.1	5.3	5.2
		6	六郷橋	4.8	4.0	4.1	3.5	3.2	3.9
		⑦	大師橋	4.1	3.5	3.3	2.6	2.7	3.4
	C	8	一の橋	—	18	17	24	22	19
(三沢川) (平瀬川)		9	平瀬橋	14	12	20	14	18	14
鶴見川	D	10	千代橋	13	11	11	13	9.6	13
		⑪	亀の子橋	13	14	14	10	9.7	10
	E	⑫	大綱橋	14	16	15	10	9.8	9.7
		13	末吉橋	16	14	14	7.8	7.0	8.0
		⑭	臨港鶴見川橋	7.9	6.6	5.3	3.8	3.5	4.3
	D	15	都橋	* 1 19	14	15	14	11	15
	E	16	峯大橋	23	18	20	19	15	17
(矢上川)		17	一本橋	43	28	30	33	30	35
入江川	E	⑯	入江橋	51	49	38	27	20	25
帷子川	E	⑯	水道橋	20	16	17	17	16	20
大岡川	E	⑰	清水橋	18	8.9	11	8.9	8.1	11
宮川	E	⑱	瀬戸橋	15	14	21	11	12	12
侍従川	E	⑲	平潟橋	13	11	11	8.4	8.3	8.1
鷹取川	E	⑳	追浜橋	23	19	22	18	19	21
平作川	E	㉑	夫婦橋	19	7.9	9.4	7.5	8.6	7.1
松越川	E	㉒	竹川合流後	—	11	16	14	16	19

水域(支川)	類型	番号	測定地点	47~54年度 平均	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度
下山川	E	㉖	下山橋	6.5	5.8	6.3	6.7	8.4	13
森戸川 ※葉山町内	E	㉗	森戸橋	9.7	8.0	9.5	10	11	11
田越川	E	㉘	渚橋	5.5	3.2	3.8	2.8	2.9	2.3
滑川	E	㉙	滑川橋	13	4.5	4.8	6.3	3.2	4.2
神戸川	E	㉚	神戸橋	18	13	17	17	19	17
境川	D	31	境橋	※ ² ₁₆	11	13	12	12	14
		32	鶴間橋	27	24	25	27	17	19
		33	新道大橋	※ ¹ ₂₂	22	23	20	15	14
		34	高鎌橋	19	18	19	21	18	20
		35	大道橋	14	12	12	12	11	12
		㉞	境川橋	14	11	11	10	10	11
(柏尾川)	D	37	吉倉橋	※ ¹ ₁₈	18	18	22	19	18
		38	鷺匠橋	-	12	11	13	14	13
		39	川名橋	13	10	9.2	9.0	9.6	8.6
引地川	D	40	下土棚大橋	※ ¹ _{9.1}	7.4	9.1	9.4	10	11
		41	石川橋	9.4	8.9	9.4	10	9.3	9.0
		㉩	富士見橋	9.3	7.6	7.8	7.8	8.3	7.2
相模川	A	43	小倉橋	1.2	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0
		44	昭和橋	1.4	1.4	1.5	2.0	2.1	2.5
		45	相模大橋	1.5	1.3	1.2	1.5	1.4	1.8
		㉯	寒川取水堰(上)	1.8	1.5	1.4	1.7	1.4	1.8
(鳩川)	C	㉧	馬入橋	2.7	2.4	2.9	3.0	1.9	2.9
		48	まぶね橋	7.6	11	18	11	7.1	6.3
(中津川)		49	第1鮎津橋	1.2	1.3	1.1	1.4	1.5	1.8
(小鮎川)	A	50	第2鮎津橋	5.7	5.6	7.3	4.7	4.6	4.3
(玉川)		51	相川水位観測所	8.5	4.3	4.3	3.9	4.3	3.9
(永池川)		52	本川合流前	※ ¹ _{6.7}	7.4	9.8	8.3	8.6	6.9
(目久尻川)	C	53	河原橋	13	6.8	9.6	7.6	6.8	6.8

水域(支川)	類型	番号	測定地点	47~54年度 平均	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度
(小出川)	C	54	宮の下橋	※3 11	10	13	10	10	10
金目川	A	55	小田急鉄橋	6.5	3.8	5.7	5.9	5.5	6.4
	C	56	花水橋	12	9.0	8.2	11	9.6	9.3
(鈴川)	C	57	渋田川合流前	※1 5.3	6.8	6.6	6.5	5.4	7.6
		58	鈴川合流前	※1 6.1	8.2	9.1	7.8	9.0	13
葛川	C	59	吉田橋	11	8.4	10	9.3	8.8	11
中村川	C	60	押切橋	5.1	4.8	5.8	4.6	3.5	4.2
森戸川	D	61	万石橋	2.3	2.3	2.4	2.3	2.2	2.5
※ 小田原市内		62	親木橋	9.8	7.9	7.5	7.4	7.6	10
酒匂川	A	63	十文字橋	1.4	1.0	1.1	0.9	0.7	0.8
		64	報徳橋	1.4	0.9	1.1	1.1	1.3	1.1
		65	飯泉取水堰(上)	1.7	1.2	1.2	1.1	1.6	2.1
	B	66	酒匂橋	—	1.3	1.4	1.2	1.5	1.4
(鮎沢川)	A	67	峰下橋	※1 1.1	1.0	1.1	1.1	0.8	0.9
(川音川)		68	文久橋	※1 0.9	0.8	1.0	0.8	0.6	0.8
(狩川)		69	狩川橋	1.8	1.6	1.8	1.9	2.0	1.9
山王川	E	70	足柄小学校前	2.5	2.2	2.0	1.5	1.3	2.1
		71	山王橋	4.2	3.1	3.8	3.7	3.0	3.5
早川	A	72	観光会館前	※1 1.6	1.5	1.1	1.0	1.0	1.3
		73	早川橋	1.7	1.5	1.1	1.5	1.5	1.9
新崎川	B	74	吉浜橋	1.4	1.4	1.6	1.5	1.3	1.9
千歳川	B	75	千歳橋	2.9	3.3	2.8	2.5	2.2	2.2
丹沢湖流入河川 (落合発電所放流水)	A	76	落合発電所	—	0.9	0.8	0.7	0.5	0.4
(玄倉川)		77	玄倉水位観測所	—	1.0	0.7	0.5	0.5	0.7
(河内川)		78	湖流入前	—	0.9	0.7	0.8	0.6	0.6
(世附川)		79	湖流入前	—	0.9	0.6	0.4	0.4	0.5

注 1. 番号が○でかこまれている測定地点は、環境基準点である。(以下同じ。)

2. ※1 : 51年度から54年度までの各年度の年平均値の平均値

※2 : 49年度から54年度までの各年度の年平均値の平均値

※3 : 48年度から54年度までの各年度の年平均値の平均値

3. 年平均値は、日間平均値の平均値(以下同じ。)

2. 相模湖(BOD), 津久井湖(BOD), 芦ノ湖(COD) 及び丹沢湖(COD) 年平均値経年変化

水域	類型	番号	測定地点	層	48~54年度 平均	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度
相 模 湖	河川 A	①	境 川 橋	上	1.8	1.3	1.2	1.5	1.1	2.2
				下	1.8	1.6	1.5	1.5	1.4	1.8
				全	1.8	1.5	1.4	1.5	1.2	2.1
		2	日 連 大 橋	上	2.6	1.7	1.7	1.3	0.8	1.6
				下	1.6	1.2	1.3	1.0	1.1	1.8
				全	2.1	1.5	1.5	1.2	1.0	1.7
		3	湖 央 西 部	上	2.6	2.1	1.7	1.3	1.9	1.6
				下	1.2	1.1	1.2	1.2	1.0	1.3
				全	1.9	1.6	1.5	1.3	1.5	1.5
		4	湖 央 東 部	上	2.5	1.7	1.8	1.5	1.5	1.6
				下	1.3	0.8	1.2	0.9	0.8	1.3
				全	1.7	1.3	1.6	1.2	1.2	1.5
		5	相 模 湖 大 橋	上	2.7	1.6	2.1	2.0	1.8	2.2
				下	1.4	0.9	1.6	1.0	0.7	1.4
				全	1.9	1.3	1.9	1.5	1.3	1.8
津 久 井 湖	河川 A	①	沼 本 ダ ム	上	1.7	1.3	1.4	0.8	1.2	1.5
				下	1.5	1.3	1.3	1.0	1.2	1.5
				全	1.6	1.3	1.4	0.9	1.2	1.5
		2	名 手 橋	上	2.6	1.6	2.4	3.1	2.5	1.9
				下	1.4	1.1	1.4	1.1	1.2	1.3
				全	1.9	1.4	1.9	2.1	1.9	1.6
		3	湖 央 部	上	1.8	1.2	1.4	1.3	1.8	1.4
				下	1.5	1.1	1.0	0.9	1.1	1.2
				全	1.6	1.2	1.2	1.1	1.5	1.3
		4	道 志 橋	上	3.3	3.0	2.6	1.2	2.8	4.5
				下	2.4	2.0	2.5	1.1	2.4	3.6
				全	2.9	2.6	2.6	1.2	2.7	4.1

水域	類型	番号	測定地点	層	48~54年度 平均	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度
芦 湖	湖沼 AA	①	湖北中央部	上	1.7	1.7	2.4	2.3	1.8	1.6
				下	1.6	1.3	1.9	1.5	1.2	1.2
				全	1.8	1.5	2.1	1.9	1.6	1.4
		②	湖央部	上	1.7	1.6	2.1	2.0	1.7	1.8
				下	1.3	1.1	1.3	1.3	1.2	1.1
				全	1.7	1.4	1.7	1.7	1.4	1.5
		③	湖西部	上	1.9	1.7	2.0	2.2	1.7	1.8
				下	1.3	1.1	1.3	1.5	0.9	1.2
				全	1.7	1.4	1.7	1.9	1.4	1.5
		④	湖東部	上	1.8	1.6	2.2	2.5	1.6	1.8
				下	1.3	1.5	1.4	1.5	1.2	1.3
				全	1.7	1.6	1.8	2.0	1.4	1.6
丹 沢 湖	湖沼 A	①	湖央部	上	—	1.5	1.4	1.4	1.3	1.6
				下	—	0.7	1.0	1.1	0.8	0.9
				全	—	1.1	1.2	1.3	1.1	1.3
		2	大仏大橋	上	—	1.3	1.8	1.8	1.6	1.5
				下	—	0.8	1.0	1.4	1.0	1.1
				全	—	1.1	1.4	1.7	1.3	1.4
		3	湖東部	上	—	1.1	1.8	1.5	1.4	1.5
				下	—	0.9	1.0	1.2	1.0	1.0
				全	—	1.0	1.4	1.4	1.2	1.2
		4	湖西部	上	—	2.2	2.4	2.0	2.0	1.9
				下	—	0.8	1.0	1.3	1.1	0.9
				全	—	1.5	1.7	1.7	1.6	1.4

3. 東京湾 (COD) 年平均値経年変化

番号	測定地点	類型	層	47~54年度 平均	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度
1	多摩川河口先 N 35°32'06" E139°46'23"	C	上	—	4.6	7.4	4.9	6.1	6.2
			下	—	4.0	5.9	4.0	5.2	4.9
			全	—	4.3	6.6	4.5	5.7	5.6
2	川崎航路 N 35°30'13" E139°46'52"	C	上	—	3.2	5.6	3.6	4.8	5.4
			下	—	2.1	2.8	1.8	3.0	3.3
			全	—	2.7	4.2	2.7	3.9	4.4
③	京浜運河千鳥町 N 35°30'04" E139°45'24"	C	上	3.1	3.8	6.1	3.7	4.4	5.1
			下	2.1	2.8	2.3	1.8	2.5	2.8
			全	2.6	3.3	4.2	2.7	3.5	4.0
④	川崎港防波堤沖 N 35°28'33" E139°44'57"	C	上	3.1	4.4	6.8	3.9	5.1	5.2
			下	1.7	2.1	2.2	1.4	2.6	2.6
			全	2.4	3.2	4.5	2.7	3.9	3.9
⑤	京浜運河扇町 N 35°29'19" E139°43'28"	C	上	3.3	3.9	6.4	3.7	4.5	5.4
			下	2.3	2.5	2.4	1.8	2.7	3.1
			全	2.8	3.2	4.4	2.8	3.6	4.3
⑥	鶴見川河口先 N 35°28'22" E139°41'19"	C	上	5.4	6.3	6.5	5.3	4.5	5.6
			下	3.8	3.2	2.7	3.0	2.8	3.3
			全	4.5	4.8	4.6	4.2	3.7	4.5
⑦	横浜港内 N 35°27'25" E139°39'01"	C	上	4.3	4.7	4.6	6.0	3.6	4.5
			下	3.2	2.3	1.9	2.3	2.1	2.3
			全	3.7	3.5	3.3	4.2	2.9	3.4
⑧	磯子沖 N 35°23'28" E139°39'04"	C	上	4.1	3.5	6.9	3.6	4.1	3.7
			下	2.7	2.1	1.7	2.5	2.1	2.6
			全	3.4	2.8	4.4	3.1	3.1	3.2
⑨	夏島沖 N 35°18'44" E139°39'06"	C	上	3.7	3.2	3.1	3.3	2.7	2.8
			下	2.8	2.2	1.8	2.0	2.0	2.0
			全	3.2	2.7	2.5	2.7	2.4	2.4
⑩	浮島沖 N 35°30'04" E139°48'42"	B	上	3.2	3.7	6.2	4.3	5.8	5.7
			下	1.5	1.7	2.5	1.6	2.3	2.7
			全	2.4	2.7	4.4	2.9	4.1	4.2
⑪	平潟湾内 N 35°19'28" E139°37'48"	B	上	5.7	5.0	6.3	5.1	5.5	5.4
			下	4.2	3.5	4.1	3.6	3.5	4.1
			全	4.9	4.3	5.2	4.4	4.5	4.8
⑫	千鳥町沖 N 35°28'50" E139°47'56"	B	上	2.9	3.7	5.5	3.8	4.7	5.4
			下	1.4	1.8	1.9	1.2	2.2	2.2
			全	2.2	2.8	3.7	2.5	3.5	3.8
⑬	扇島沖 N 35°27'27" E139°45'05"	B	上	2.7	4.5	5.6	3.5	6.0	5.7
			下	1.4	1.9	2.1	1.2	2.2	2.5
			全	2.1	3.2	3.9	2.4	4.2	4.1

番号	測定地点	類型	層	47~54年度 平均	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度
(14)	本牧沖 N 35°24'00" E139°41'28"	B	上	4.1	3.8	4.5	3.7	3.3	3.6
			下	2.7	1.4	1.2	1.3	1.1	1.3
			全	3.4	2.6	2.8	2.6	2.2	2.5
(15)	富岡沖 N 35°22'00" E139°45'40"	B	上	4.1	3.8	3.6	3.4	2.9	3.4
			下	3.0	2.3	1.4	2.2	1.6	1.7
			全	3.5	3.1	2.5	2.8	2.3	2.6
16	平潟湾沖 N 35°20'00" E139°39'42"	B	上	※ 3.9	3.4	4.6	4.6	2.8	3.4
			下	※ 2.6	2.4	1.5	2.1	1.6	1.8
			全	※ 3.1	2.9	3.1	3.4	2.2	2.6
(17)	大津湾 N 35°16'32" E139°42'12"	B	上	3.4	3.0	2.9	3.3	2.5	3.1
			下	2.1	1.4	1.3	1.4	1.2	1.4
			全	2.8	2.2	2.1	2.4	1.9	2.3
(18)	浦賀港内 N 35°14'04" E139°43'40"	B	上	2.5	2.3	2.6	2.1	1.8	2.1
			下	2.2	1.4	1.5	1.5	1.2	1.6
			全	2.3	1.9	2.1	1.8	1.6	1.9
(19)	久里浜港内 N 35°13'13" E139°43'20"	B	上	3.1	2.5	2.1	2.7	1.7	2.1
			下	2.2	1.6	1.7	1.7	1.4	1.8
			全	2.6	2.1	1.9	2.2	1.6	2.0
(20)	中の瀬北 N 35°25'04" E139°44'56"	A	上	4.0	3.9	4.0	3.6	3.5	3.6
			下	2.2	1.3	1.3	2.2	1.8	1.5
			全	3.1	2.7	2.7	2.9	2.7	2.6
(21)	中の瀬南 N 35°20'50" E139°43'30"	A	上	3.4	3.3	3.0	3.3	2.5	2.9
			下	2.1	1.8	1.4	1.6	1.2	1.4
			全	2.8	2.6	2.2	2.5	1.9	2.1
(22)	第三海堡東 N 35°16'56" E139°45'40"	A	上	2.0	2.2	2.4	2.6	1.9	2.0
			下	1.3	1.0	1.1	1.2	1.0	0.8
			全	1.7	1.6	1.8	1.9	1.5	1.5
(23)	浦賀沖 N 35°13'28" E139°46'00"	A	上	2.1	2.3	2.3	2.4	1.8	2.3
			下	0.8	0.8	0.8	1.0	0.8	0.8
			全	1.5	1.6	1.6	1.7	1.3	1.6

注 ※：49年度から54年度までの各年度の年平均値の平均値

4. 相模湾 (COD) 年平均値経年変化

番号	測定地點	類型	層	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度
1	江ノ島西 N 35° 17' 54" E 139° 28' 33"	A	上	3.1	3.9	3.8	2.6	2.8
			下	1.1	1.0	1.2	1.4	1.5
			全	2.2	2.5	2.5	2.0	2.2
②	辻堂沖 N 35° 18' 12" E 137° 27' 04"	A	上	1.7	1.4	1.7	1.4	2.1
			下	0.9	0.8	0.9	1.2	1.1
			全	1.3	1.1	1.3	1.3	1.7
③	城ヶ島沖 N 35° 06' 48" E 139° 37' 48"	A	上	1.9	1.7	1.4	1.5	1.4
			下	0.8	0.9	0.8	0.9	0.8
			全	1.3	1.3	1.1	1.2	1.1
④	城ヶ島西 N 35° 07' 50" E 139° 36' 00"	A	上	1.7	1.3	1.3	1.4	1.3
			下	0.8	0.9	0.8	0.8	0.7
			全	1.2	1.2	1.1	1.1	1.1
⑤	小網代湾 N 35° 10' 00" E 139° 36' 00"	A	上	1.3	1.1	1.5	1.3	1.2
			下	0.5	0.7	0.7	0.8	0.7
			全	0.9	0.9	1.1	1.1	1.0
6	小田和湾 N 35° 12' 45" E 139° 36' 35"	A	上	1.6	1.5	1.5	1.2	1.7
			下	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
			全	1.3	1.3	1.4	1.2	1.4
7	葉山沖 N 35° 15' 18" E 139° 33' 48"	A	上	1.5	1.3	1.3	1.3	1.1
			下	0.8	0.9	0.7	0.9	0.8
			全	1.2	1.1	1.0	1.1	1.0
⑧	由比ヶ浜沖 N 35° 17' 00" E 139° 32' 48"	A	上	1.4	1.1	1.3	1.2	1.2
			下	0.9	1.0	1.1	0.9	0.9
			全	1.2	1.1	1.3	1.1	1.1
9	七里ヶ浜沖 N 35° 17' 24" E 139° 30' 24"	A	上	1.3	1.3	1.4	1.5	1.8
			下	0.9	0.8	1.0	1.1	1.1
			全	1.1	1.1	1.2	1.3	1.5
10	茅ヶ崎沖 N 35° 17' 54" E 139° 24' 00"	A	上	1.4	1.8	1.8	1.3	1.8
			下	0.8	0.9	1.0	0.9	0.8
			全	1.1	1.3	1.4	1.1	1.3

番号	測定地点	類型	層	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度
11	平塚沖 N 35° 18' 12" E 139° 21' 12"	A	上	2.0	1.5	1.9	1.3	2.1
			下	0.8	1.0	1.3	1.1	1.2
			全	1.5	1.3	1.6	1.2	1.7
⑫	大磯沖 N 35° 17' 24" E 139° 17' 24"	A	上	1.4	1.3	1.5	1.5	2.0
			下	0.6	0.9	1.0	1.0	1.2
			全	1.0	1.1	1.3	1.3	1.6
13	湾央東 N 35° 14' 36" E 139° 28' 33"	A	上	1.5	1.3	1.2	1.3	1.4
			下	0.7	0.7	0.9	0.8	0.7
			全	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
⑭	湾央 N 35° 14' 36" E 139° 22' 36"	A	上	1.3	1.1	1.5	1.4	1.3
			下	0.7	0.7	0.9	1.1	0.7
			全	1.0	0.9	1.2	1.3	1.1
15	湾央西 N 35° 14' 36" E 139° 16' 36"	A	上	1.2	1.4	1.5	1.1	1.2
			下	0.8	0.9	0.7	0.6	0.6
			全	1.1	1.2	1.1	0.9	0.9
16	国府津沖 N 35° 16' 08" E 139° 13' 44"	A	上	1.1	1.2	1.2	1.2	1.5
			下	0.8	0.6	0.5	0.7	0.6
			全	1.0	0.9	0.9	1.0	1.1
17	小田原沖 N 35° 14' 36" E 139° 11' 24"	A	上	1.2	1.2	1.3	1.1	1.3
			下	0.6	0.7	0.7	0.6	0.6
			全	0.9	0.9	1.0	0.9	0.9
⑯	根府川沖 N 35° 12' 24" E 139° 09' 48"	A	上	1.6	1.0	1.0	1.2	1.2
			下	0.8	0.5	0.8	0.7	0.8
			全	1.2	0.8	0.9	1.0	1.0
19	真鶴沖 N 35° 09' 31" E 139° 09' 48"	A	上	1.6	1.2	1.3	1.4	1.6
			下	0.6	0.5	0.8	0.9	0.9
			全	1.1	0.9	1.0	1.2	1.3
⑳	吉浜沖 N 35° 08' 26" E 139° 07' 56"	A	上	1.3	1.0	1.2	1.2	1.6
			下	0.9	0.8	1.1	0.9	0.8
			全	1.1	0.9	1.2	1.1	1.3

表-2 各測定地点におけるBOD (COD) 75%値経年変化

1. 河川 (BOD) 75% 値経年変化

(単位: mg/l)

水域(支川)	類型	番号	測定地点	47~54年度 平均	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度
多摩川	C	①	多摩川原橋	9.7	12	11	6.8	7.1	7.5
		2	多摩水道橋	7.2	7.9	7.2	5.3	5.0	5.4
		3	二子橋	13	11	10	8.3	8.2	7.8
		④	田園調布取水堰上	※ 1 9.3	8.4	8.4	7.2	5.9	7.3
	D	5	ガス橋	8.4	6.8	7.3	6.7	6.2	6.1
		6	六郷橋	5.5	3.9	4.8	4.4	3.8	4.0
		⑦	大師橋	4.8	4.2	3.9	2.9	3.1	3.5
(三沢川)	C	8	一の橋	—	25	17	31	19	23
(平瀬川)		9	平瀬橋	17	15	20	17	27	16
鶴見川	D	10	千代橋	15	14	11	14	12	14
		⑪	亀の子橋	15	16	17	11	11	12
	E	⑫	大綱橋	17	17	17	11	12	10
		13	末吉橋	18	16	18	9.0	8.0	8.7
		⑭	臨港鶴見川橋	8.9	6.7	6.8	4.2	3.7	4.2
(恩田川)	D	15	都橋	※ 1 23	17	18	15	12	17
(早瀬川)	E	16	峯大橋	25	23	29	21	19	17
(矢上川)		17	一本橋	54	33	39	37	43	43
入江川	E	⑯	入江橋	61	62	43	37	23	26
帷子川	E	⑯	水道橋	22	16	20	19	23	24
大岡川	E	⑰	清水橋	21	9.9	12	10	12	13
宮川	E	⑱	瀬戸橋	17	17	25	15	13	14
侍従川	E	⑲	平潟橋	15	15	13	9.6	8.2	9.1
鷹取川	E	⑳	追浜橋	28	24	22	22	21	27
平作川	E	㉑	夫婦橋	23	9.9	11	8.2	9.1	8.1
松越川	E	㉒	竹川合流後	—	11	19	14	18	19

水域(支川)	類型	番号	測定地点	47~54年度 平均	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度	
下山川	E	㉖	下山橋	6.9	5.7	8.1	8.2	8.2	15	
森戸川 ※葉山町内	E	㉗	森戸橋	12	8.4	11	13	11	11	
田越川	E	㉘	渚橋	6.7	4.0	3.8	3.3	3.8	2.8	
滑川	E	㉙	滑川橋	16	4.9	5.0	5.9	3.9	3.4	
神戸川	E	㉚	神戸橋	19	17	18	17	19	18	
境川	D	31	境橋	※ ² ₂₀	12	16	14	13	16	
		32	鶴間橋	33	28	31	33	20	21	
		33	新道大橋	※ ¹ ₂₄	22	26	24	18	15	
		34	高鎌橋	22	24	20	22	16	23	
		35	大道橋	※ ¹ ₁₇	14	14	16	15	14	
		㉖	境川橋	16	13	15	12	12	13	
(柏尾川)	D	37	吉倉橋	※ ¹ ₂₁	20	22	29	18	18	
		38	鷹匠橋	-	14	12	15	12	11	
		39	川名橋	16	13	10	9.9	11	9.3	
引地川	D	40	下土棚大橋	※ ¹ ₁₀	8.1	10	11	12	14	
		41	石川橋	11	9.9	11	12	11	10	
		㉒	富士見橋	9.8	8.1	9.2	8.9	9.5	7.8	
相模川	A	43	小倉橋	1.5	1.0	1.1	1.1	1.0	1.1	
		44	昭和橋	1.7	1.5	2.1	2.4	2.5	2.4	
		45	相模大橋	1.8	1.4	1.5	1.6	1.8	2.0	
		㉖	寒川取水堰(上)	2.1	1.7	1.7	2.1	1.5	1.9	
	C	㉗	馬入橋	3.2	2.5	3.4	3.7	2.2	3.2	
(鳩川)	A	48	まぶね橋	8.3	9.7	22	15	9.2	7.3	
		49	第1鮎津橋	1.4	1.3	1.4	1.5	1.8	1.7	
(中津川)		50	第2鮎津橋	6.9	6.8	8.9	5.4	6.1	4.3	
		51	相川水位観測所	11	5.0	4.7	4.5	5.8	4.5	
(小鮎川)		52	本川合流前	8.0	7.5	13	12	8.9	7.2	
		53	河原橋	14	7.8	12	8.6	7.2	7.4	
(玉川)	C	54	宮の下橋	※ ³ ₁₄	14	14	12	12	13	
		55	小田急鉄橋	7.9	4.2	6.4	6.3	6.5	7.2	

水域(支川)	類型	番号	測定地点	47~54年度 平均	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度
(鈴川)	C	56	花水橋	14	9.7	10	13	12	12
	C	57	渋田川合流前	※ 1 6.4	8.9	7.7	7.5	7.2	9.3
		58	鈴川合流前	※ 1 7.4	7.1	12	9.8	9.5	18
葛川	C	59	吉田橋	12	9.2	13	12	12	12
中村川	C	60	押切橋	5.8	5.9	6.3	4.6	3.8	4.9
森戸川	D	61	万石橋	2.7	3.1	2.9	2.9	3.1	3.3
※ 小田原市内		62	親木橋	11	9.7	11	9.5	10	9.4
酒匂川	A	63	十文字橋	1.8	1.1	1.2	1.1	0.7	0.9
		64	報徳橋	1.7	0.9	1.3	1.4	1.5	1.5
		65	飯泉取水堰(上)	2.0	1.2	1.4	1.5	2.2	3.1
	B	66	酒匂橋	—	1.9	1.8	1.5	2.4	1.7
(鮎沢川)	A	67	峰下橋	※ 1 1.3	1.0	1.3	1.0	0.7	1.0
(川音川)		68	文久橋	※ 1 1.2	0.8	1.1	1.0	0.8	0.8
(狩川)		69	狩川橋	2.3	1.6	2.1	2.3	3.0	2.4
山王川	E	70	足柄小学校前	2.9	2.7	2.0	1.8	1.6	2.4
		71	山王橋	4.7	3.5	4.5	5.2	3.7	4.4
早川	A	72	観光会館前	※ 1 1.9	1.5	1.3	1.1	1.1	1.5
		73	早川橋	2.0	1.7	1.5	1.7	1.9	2.2
新崎川	B	74	吉浜橋	1.8	1.7	1.7	1.5	1.3	2.1
千歳川	B	75	千歳橋	3.4	3.7	3.3	2.8	2.8	2.2
丹沢湖流入河川 (落合発電所放流水)	A	76	落合発電所	—	1.1	0.7	0.9	0.6	0.5
(玄倉川)		77	玄倉水位観測所	—	1.0	1.0	0.5	0.5	0.6
(河内川)		78	湖流入前	—	1.1	0.9	0.7	0.8	0.8
(世附川)		79	湖流入前	—	0.9	0.8	0.5	0.6	0.6

- 注 1. 番号が○でかこまれている測定地点は、環境基準点である。(以下同じ。)
2. 75 %値とは、年間の日間平均値の全データをその値の小さいものから順に並べたときの
 $0.75 \times n$ 番目 (n は日間平均値のデータ数) のデータ値である。
3. ※1 : 51年度から54年度までの各年度の75 %値の平均値
 ※2 : 49年度から54年度までの各年度の75 %値の平均値
 ※3 : 48年度から54年度までの各年度の75 %値の平均値

2. 相模湖 (BOD)、津久井湖 (BOD)、芦ノ湖 (COD) 及び丹沢湖 (COD) 75% 値経年変化

水域	類型	番号	測定地点	層	48~54年度 平均	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度
相 模 湖	河川 A	①	境川橋	上	1.9	1.5	1.8	1.9	1.2	3.5
				下	2.0	1.5	2.0	1.8	1.6	2.5
				全	2.1	1.5	2.0	1.9	1.4	2.7
		2	日連大橋	上	2.9	2.1	1.9	1.5	1.1	1.8
				下	1.7	1.5	1.5	1.3	1.4	2.1
				全	2.1	1.6	1.7	1.6	1.4	1.9
		3	湖央西部	上	3.2	2.5	2.2	1.8	2.5	1.9
				下	1.5	1.2	1.4	1.1	1.2	1.4
				全	2.2	1.6	1.8	1.8	1.7	1.7
		4	湖央東部	上	2.9	1.9	1.8	2.1	1.8	2.1
				下	1.5	1.2	1.3	1.0	1.0	1.6
				全	2.0	1.6	1.7	1.6	1.1	1.7
		5	相模湖大橋	上	3.4	2.3	3.0	3.5	1.8	2.9
				下	1.6	1.1	1.8	0.8	0.8	1.3
				全	2.3	1.5	2.3	2.4	1.3	2.3
津 久 井 湖	河川 A	①	沼本ダム	上	1.6	1.6	1.6	0.9	1.5	1.5
				下	1.8	1.6	1.7	1.1	1.3	1.7
				全	1.7	1.6	1.4	0.9	1.3	1.5
		2	名手橋	上	2.9	2.0	2.6	2.3	3.1	1.8
				下	1.6	1.4	1.6	1.3	1.3	1.4
				全	2.1	1.6	2.4	1.9	2.1	1.6
		3	湖央部	上	2.2	1.3	1.8	1.5	2.2	1.3
				下	1.7	1.5	1.1	0.9	1.2	1.5
				全	1.8	1.4	1.5	1.2	2.0	1.3
		4	道志橋	上	4.1	3.6	4.6	1.6	4.6	5.7
				下	2.7	2.2	3.5	1.5	3.2	3.2
				全	3.2	2.5	3.9	1.6	4.1	3.7

水域	類型	番号	測定地點	層	48~54年度 平均	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度
芦ノ湖	湖沼 AA	①	湖北中央部	上	2.0	2.0	2.8	2.6	1.7	1.8
				下	1.8	1.4	1.8	1.6	1.4	1.5
				全	1.9	1.7	2.5	2.1	1.9	1.6
		②	湖央部	上	2.0	1.8	2.4	1.9	1.7	2.0
				下	1.6	1.2	1.6	1.6	1.3	1.3
				全	1.9	1.5	1.8	1.7	1.5	1.6
		③	湖西部	上	2.2	1.7	2.4	2.8	1.9	2.0
				下	1.4	1.2	1.6	1.8	0.8	1.4
				全	1.9	1.6	1.9	2.2	1.5	1.6
		④	湖東部	上	2.1	2.2	2.6	2.8	1.9	2.1
				下	1.4	1.4	1.8	1.6	1.5	1.5
				全	2.0	1.8	1.9	2.3	1.7	1.8
丹沢湖	湖沼 A	①	湖央部	上	—	1.3	1.5	1.6	1.4	1.8
				下	—	0.8	1.2	0.9	0.8	1.2
				全	—	1.1	1.4	1.3	1.3	1.5
		2	大仏大橋	上	—	1.2	1.7	3.0	1.8	1.4
				下	—	1.0	1.1	1.3	0.9	1.0
				全	—	1.1	1.5	2.3	1.7	1.2
		3	湖東部	上	—	1.2	2.0	1.7	1.3	1.5
				下	—	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
				全	—	1.2	1.5	1.3	1.7	1.2
		4	湖西部	上	—	2.3	2.8	1.8	2.7	2.0
				下	—	0.9	1.0	1.1	1.3	1.1
				全	—	1.5	1.9	1.6	1.6	1.4

3. 東京湾 (COD) 75 %値経年変化

番号	測定地点	類型	層	47~54年度 平均	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度
1	多摩川河口先 N 35°32'06" E139°46'23"	C	上	—	6.0	8.5	5.5	6.5	6.5
			下	—	5.0	8.5	4.7	6.3	5.5
			全	—	5.6	8.5	5.1	6.7	6.0
2	川崎航路 N 35°30'13" E139°46'52"	C	上	—	3.6	6.8	4.2	5.8	5.5
			下	—	2.2	3.0	1.8	3.3	3.6
			全	—	3.4	4.6	3.0	4.6	4.9
③	京浜運河千鳥町 N 35°30'04" E139°45'24"	C	上	3.3	5.0	7.2	4.3	5.4	5.7
			下	2.3	3.4	2.3	1.9	2.6	3.2
			全	2.9	4.1	4.8	2.9	3.9	4.3
④	川崎港防波堤沖 N 35°28'33" E139°44'57"	C	上	3.2	5.2	6.8	4.7	5.5	5.7
			下	3.0	2.4	2.4	1.5	2.8	2.9
			全	2.4	4.0	4.4	3.0	4.0	4.0
⑤	京浜運河扇町 N 35°29'19" E139°43'28"	C	上	3.5	4.6	7.4	4.2	5.8	6.1
			下	2.6	3.4	2.6	2.0	2.9	3.5
			全	3.0	3.9	5.1	3.1	4.2	4.5
⑥	鶴見川河口先 N 35°28'22" E139°41'19"	C	上	6.0	7.6	7.5	6.4	5.3	6.6
			下	4.6	3.8	3.0	3.5	3.3	3.3
			全	5.4	5.5	6.3	4.9	3.9	4.8
⑦	横浜港内 N 35°27'25" E139°39'01"	C	上	5.1	6.5	5.4	4.9	4.6	4.9
			下	3.8	2.5	2.2	2.7	2.5	2.6
			全	4.4	4.1	3.7	4.0	3.6	3.7
⑧	磯子沖 N 35°23'28" E139°39'04"	C	上	4.2	4.7	5.3	4.1	4.5	4.4
			下	3.2	2.4	1.8	2.8	2.4	3.1
			全	3.6	3.7	3.5	3.3	3.1	3.7
⑨	夏島沖 N 35°18'44" E139°39'06"	C	上	4.7	3.6	4.1	3.8	2.6	3.3
			下	3.1	2.4	2.1	2.1	2.0	2.3
			全	3.8	3.6	2.9	3.0	2.7	2.7
⑩	浮島沖 N 35°30'04" E139°48'42"	B	上	3.7	4.8	6.6	4.9	6.8	5.7
			下	1.8	2.0	3.0	1.8	2.6	2.9
			全	2.7	2.9	5.3	3.2	4.5	4.3
⑪	平潟湾内 N 35°19'28" E139°37'48"	B	上	6.5	7.5	7.3	6.0	5.4	6.2
			下	4.5	4.8	4.6	4.7	3.8	4.8
			全	5.5	6.3	5.5	5.5	4.4	5.2
⑫	千鳥町沖 N 35°28'50" E139°47'56"	B	上	3.2	5.0	7.6	4.2	6.0	5.8
			下	1.7	2.0	2.3	1.4	2.7	2.4
			全	2.5	3.2	4.6	2.8	3.9	4.2
⑬	扇島沖 N 35°27'27" E139°45'05"	B	上	2.9	5.6	7.2	4.3	5.3	6.3
			下	1.6	2.4	2.4	1.5	2.5	2.9
			全	2.4	4.1	4.4	2.5	3.9	4.2

番号	測定地点	類型	層	47~54年度 平均	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度
⑭	本牧沖 N 35°24'00" E139°41'28"	B	上	4.7	4.8	5.7	4.3	3.5	4.0
			下	3.3	1.6	1.3	1.7	1.2	1.6
			全	3.8	2.9	3.5	2.7	2.4	2.8
⑮	富岡沖 N 35°22'00" E139°45'40"	B	上	4.5	5.9	5.3	3.9	3.9	4.4
			下	3.4	2.6	1.5	2.5	1.5	1.9
			全	3.7	4.1	3.2	3.2	2.8	3.1
16	平潟湾沖 N 35°20'00" E139°39'42"	B	上	※ 3.8	3.9	4.7	3.6	3.6	3.8
			下	※ 3.2	2.8	1.7	2.4	2.2	2.4
			全	※ 3.3	3.8	3.8	3.1	2.7	3.0
⑯	大津湾 N 35°16'32" E139°42'12"	B	上	4.1	3.9	3.5	3.0	2.8	3.6
			下	2.7	1.6	1.8	1.9	1.2	1.6
			全	3.2	2.9	2.5	2.2	2.0	2.5
⑰	浦賀港内 N 35°14'04" E139°43'40"	B	上	3.1	3.2	3.1	2.6	2.5	2.3
			下	2.7	1.6	1.7	1.6	1.6	1.8
			全	2.8	2.6	2.5	1.9	2.0	2.1
⑲	久里浜港内 N 35°13'13" E139°43'20"	B	上	3.9	3.4	2.5	3.0	2.1	2.3
			下	2.4	2.0	1.8	2.4	1.7	2.0
			全	3.1	2.6	2.3	2.8	1.9	2.3
⑳	中の瀬北 N 35°25'04" E139°44'56"	A	上	4.4	5.9	5.4	4.8	3.9	4.0
			下	2.9	1.7	1.4	2.5	2.0	1.7
			全	3.6	3.5	3.3	3.3	2.9	2.9
㉑	中の瀬南 N 35°20'50" E139°43'30"	A	上	4.0	4.3	4.5	3.7	3.4	3.0
			下	2.4	1.9	1.6	1.8	1.4	1.7
			全	3.3	2.7	2.9	2.7	2.3	2.4
㉒	第三海堡東 N 35°16'56" E139°45'40"	A	上	3.3	2.5	3.4	2.7	1.9	2.1
			下	2.3	1.1	1.3	1.5	1.2	0.9
			全	2.8	1.8	2.4	2.1	1.6	1.6
㉓	浦賀沖 N 35°13'28" E139°46'00"	A	上	2.9	2.6	3.2	2.9	2.0	2.4
			下	2.1	1.0	0.9	1.1	0.9	0.9
			全	2.3	2.0	1.8	2.0	1.6	1.7

※ 49 年度から 54 年度までの各年度の 75 % 値の平均値

4. 相模湾 (COD) 75 % 値経年変化

番号	測定地点	類型	層	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度
1	江ノ島西 N 35° 17' 54" E 139° 28' 33"	A	上	3.7	4.9	5.2	3.4	4.6
			下	1.5	1.3	1.5	1.5	1.5
			全	2.8	3.1	3.5	2.4	3.0
②	辻堂沖 N 35° 18' 12" E 139° 27' 04"	A	上	2.4	1.4	2.4	1.4	2.6
			下	0.9	1.0	1.1	1.2	1.5
			全	1.8	1.2	1.8	1.4	2.0
③	城ヶ島沖 N 35° 06' 48" E 139° 37' 48"	A	上	2.1	2.0	1.7	2.0	1.8
			下	1.1	1.1	0.9	0.9	1.1
			全	1.3	1.6	1.4	1.4	1.3
4	城ヶ島西 N 35° 07' 50" E 139° 36' 00"	A	上	1.9	1.5	1.5	1.9	1.5
			下	0.8	1.1	0.9	1.1	0.9
			全	1.3	1.2	1.3	1.3	1.1
⑤	小網代湾 N 35° 10' 00" E 139° 36' 00"	A	上	1.6	1.2	1.8	1.3	1.7
			下	0.6	0.9	0.9	0.9	0.9
			全	1.0	1.1	1.3	1.2	1.2
6	小田和湾 N 35° 12' 45" E 139° 36' 35"	A	上	1.8	1.6	1.7	1.4	2.0
			下	1.2	1.3	1.4	1.4	1.5
			全	1.6	1.4	1.7	1.3	1.8
7	葉山沖 N 35° 15' 18" E 139° 33' 48"	A	上	1.9	1.6	1.7	1.3	1.5
			下	0.9	1.0	0.9	1.1	1.0
			全	1.4	1.2	1.4	1.1	1.1
⑧	由比ヶ浜沖 N 35° 17' 00" E 139° 32' 48"	A	上	1.6	1.4	1.4	1.1	1.8
			下	1.2	1.0	1.3	1.1	1.0
			全	1.4	1.3	1.3	1.1	1.3
9	七里ヶ浜沖 N 35° 17' 24" E 139° 30' 24"	A	上	1.7	1.5	1.7	1.5	2.4
			下	1.1	1.0	0.9	1.3	1.1
			全	1.5	1.3	1.2	1.4	2.0
10	茅ヶ崎沖 N 35° 17' 54" E 139° 24' 00"	A	上	1.9	2.0	3.1	1.6	1.8
			下	1.1	1.0	1.3	1.1	0.8
			全	1.4	1.7	2.3	1.4	1.3

番号	測定地点	類型	層	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度
11	平塚沖 N 35° 18' 12" E 139° 21' 12"	A	上	2.6	2.0	2.2	1.5	2.1
			下	1.3	1.1	1.4	1.4	1.5
			全	2.0	1.5	1.9	1.5	1.8
⑫	大磯沖 N 35° 17' 24" E 139° 17' 24"	A	上	1.6	1.8	2.0	2.1	2.5
			下	0.7	1.2	1.1	1.1	1.4
			全	1.2	1.3	1.3	1.7	1.9
13	湾央東 N 35° 14' 36" E 139° 28' 33"	A	上	2.1	1.6	1.6	1.4	1.0
			下	1.0	1.0	1.0	0.9	0.8
			全	1.4	1.3	1.2	1.1	0.9
⑭	湾央 N 35° 14' 36" E 139° 22' 36"	A	上	1.6	1.2	1.7	1.5	1.6
			下	0.9	0.9	1.0	0.9	0.8
			全	1.2	1.1	1.3	1.3	1.2
15	湾央西 N 35° 14' 36" E 139° 16' 36"	A	上	1.6	1.7	2.0	1.2	1.4
			下	1.0	1.0	1.0	0.7	0.8
			全	1.4	1.3	1.4	0.9	1.2
16	国府津沖 N 35° 16' 08" E 139° 13' 44"	A	上	1.6	1.5	1.4	1.4	1.6
			下	1.1	0.7	0.7	0.8	0.9
			全	1.3	1.1	0.9	1.3	1.1
17	小田原沖 N 35° 14' 36" E 139° 11' 24"	A	上	1.7	1.4	1.7	1.4	1.4
			下	0.7	0.8	0.9	0.8	0.9
			全	1.1	1.1	1.4	1.1	1.1
⑯	根府川沖 N 35° 12' 24" E 139° 09' 48"	A	上	2.0	1.2	1.5	1.4	1.2
			下	0.9	0.8	1.1	1.0	1.1
			全	1.4	1.0	1.3	1.1	1.1
19	真鶴沖 N 35° 09' 31" E 139° 09' 48"	A	上	2.0	1.7	1.5	1.8	1.8
			下	0.6	0.6	1.0	1.0	1.1
			全	1.4	1.1	1.4	1.3	1.4
⑳	吉浜沖 N 35° 08' 26" E 139° 07' 56"	A	上	1.9	1.2	1.7	1.4	2.1
			下	1.0	0.9	1.3	1.0	1.0
			全	1.5	1.1	1.5	1.2	1.3

表-3 生活環境項目類型別総括表（59年度）

水 域	項 目 類 型	水素イオン濃度 (pH)			生物化学生物酸素要求量 (BOD)			化学的酸素要求量 (COD)			浮遊物質量 (SS)		
		n	m	$\frac{m}{n} \times 100$	n	m	$\frac{m}{n} \times 100$	n	m	$\frac{m}{n} \times 100$	n	m	$\frac{m}{n} \times 100$
河 川	A	898	37	4.1	898	369	41.1	(898)	—	—	898	45	5.0
	B	144	2	1.4	144	11	7.6	(144)	—	—	144	0	0
	C	680	0	0	680	528	77.6	(680)	—	—	680	14	2.1
	D	960	1	0.1	960	555	57.8	(960)	—	—	960	13	1.4
	E	960	7	0.7	960	379	39.5	(960)	—	—	960	0	0
	計	3,642	47	1.3	3,642	1,842	50.6	(3,642)	—	—	3,642	72	2.0
湖 沼	AA (芦ノ湖)	48	0	0	(48)	—	—	48	46	95.8	48	21	43.8
	A (丹沢湖)	48	0	0	(48)	—	—	48	4	8.3	48	0	0
	河川A (相模湖)	60	4	6.7	60	14	23.3	(60)	—	—	60	4	6.7
	河川A (津久井湖)	48	3	6.3	48	12	25	(48)	—	—	48	1	2.1
	計	204	7	3.4	108 (96)	26	24.1	96 (108)	50	52.1	204	26	12.7
海 域	A (相模湾)	240	11	4.6	—	—	—	240	29	12.1	—	—	—
	A (東京湾)	48	0	0	—	—	—	48	17	35.4	—	—	—
	B (東京湾)	120	7	5.8	—	—	—	120	57	47.5	—	—	—
	C (東京湾)	108	10	9.3	—	—	—	108	2	1.9	—	—	—
	小計 (東京湾)	276	17	6.2	—	—	—	276	76	27.5	—	—	—
	計	516	28	5.4	—	—	—	516	105	20.3	—	—	—
合 計		4,362	82	1.9	3,750 (3,846)	1,868	49.8	612 (4,362)	155	25.3	3,846	98	2.5

注 1. n : 調査検体数 m : 環境基準値を超えた検体数 $\frac{m}{n} \times 100$: 環境基準値不適合率(%)

2. ()内の数字は、環境基準は定められていないが測定した検体数を示す。ただし、合計欄

の()内の数字は、環境基準が定められている検体を含む総計である。

溶存酸素量 (D.O.)			大腸菌群数			n-ヘキサン抽出物質(油分等)			合計		
n	m	$\frac{m}{n} \times 100$	n	m	$\frac{m}{n} \times 100$	n	m	$\frac{m}{n} \times 100$	n	m	$\frac{m}{n} \times 100$
898	180	20.0	790	686	86.8	(80)	—	—	4,382 (5,360)	1,317	30.1
144	0	0	72	53	73.6	(12)	—	—	648 (804)	66	10.2
680	182	26.8	(240)	—	—	(36)	—	—	2,720 (3,676)	724	26.6
960	76	7.9	(204)	—	—	(68)	—	—	3,840 (5,072)	645	16.8
960	107	11.1	(204)	—	—	(68)	—	—	3,840 (5,072)	493	12.8
3,642	545	15.0	862 (648)	739	85.7	(264)	—	—	15,430 (19,984)	3,245	21.0
48	14	29.2	48	13	27.1	(48)	—	—	240 (336)	94	39.2
48	13	27.1	48	0	0	(48)	—	—	240 (336)	17	7.1
60	8	13.3	60	37	61.7	(60)	—	—	300 (420)	67	22.3
48	9	18.8	48	8	16.7	(48)	—	—	240 (336)	33	14.0
204	44	21.6	204	58	28.4	(204)	—	—	1,020 (1,428)	211	20.7
240	83	34.6	240	36	15.0	240	0	0	1,200	159	13.3
48	21	43.8	48	0	0	48	1	2.1	240	39	16.3
120	4	3.3	(120)	—	—	120	1	0.8	480 (600)	69	14.4
108	0	0	(108)	—	—	(108)	—	—	324 (540)	12	3.7
276	25	9.1	48 (228)	0	0	168 (108)	2	1.2	1,044 (1,380)	120	11.5
516	108	20.9	288 (228)	36	12.5	408 (108)	2	0.5	2,244 (2,580)	279	12.4
4,362	697	16.0	1,354 (2,230)	833	61.5	408 (984)	2	0.5	18,694 (23,992)	3,735	20.0

表-4 生活環境項目の環境基準値を超えた割合

水域	項目	年 度				
		n 55	56	57	58	59
河 川	水素イオン濃度(pH)	3,704	3,628	3,672	3,656	3,642
	生物化学的酸素要求量(BOD)	3,704	3,704	3,672	3,656	3,642
	浮遊物質量(SS)	3,704	3,628	3,672	3,656	3,642
	溶存酸素量(DO)	3,704	3,628	3,672	3,653	3,642
	大腸菌群数	876	876	876	876	862
相 模 湖	水素イオン濃度(pH)	60	60	60	60	60
	生物化学的酸素要求量(BOD)	60	60	60	60	60
	浮遊物質量(SS)	60	60	60	60	60
	溶存酸素量(DO)	60	60	60	60	60
	大腸菌群数	60	60	60	60	60
津 久 井 湖	水素イオン濃度(pH)	48	45	45	47	48
	生物化学的酸素要求量(BOD)	48	45	45	47	48
	浮遊物質量(SS)	48	45	45	47	48
	溶存酸素量(DO)	48	45	45	47	48
	大腸菌群数	48	45	45	47	48
芦 ノ 湖	水素イオン濃度(pH)	48	48	48	48	48
	化学的酸素要求量(COD)	48	48	48	48	48
	浮遊物質量(SS)	48	48	48	48	48
	溶存酸素量(DO)	48	48	48	48	48
	大腸菌群数	48	48	48	48	48
丹 沢 湖	水素イオン濃度(pH)	48	48	48	48	48
	化学的酸素要求量(COD)	48	48	48	48	48
	浮遊物質量(SS)	48	48	48	48	48
	溶存酸素量(DO)	48	48	48	48	48
	大腸菌群数	48	48	48	48	48
東 京 湾	水素イオン濃度(pH)	276	276	276	276	276
	化学的酸素要求量(COD)	276	276	276	276	276
	溶存酸素量(DO)	276	276	276	276	276
	大腸菌群数	48	48	48	48	48
	n-ヘキサン抽出物質	168	168	168	168	168
相 模 湾	水素イオン濃度(pH)	240	240	240	240	240
	化学的酸素要求量(COD)	240	240	240	240	240
	溶存酸素量(DO)	240	240	240	240	240
	大腸菌群数	240	240	240	240	240
	n-ヘキサン抽出物質	240	240	240	240	240

注 n : 調査検体数 m : 環境基準値を超えた検体数

 $m/n \times 100$ 環境基準値不適合率(%)

m					m/n × 100				
55	56	57	58	59	55	56	57	58	59
32	20	22	20	47	0.9	0.6	0.6	0.5	1.3
1,729	1,834	1,681	1,637	1,842	46.7	49.5	45.8	44.8	50.6
161	204	211	143	72	4.3	5.6	5.7	3.9	2.0
395	386	384	341	545	10.7	10.6	10.5	9.3	15.0
689	767	767	741	739	78.7	87.6	87.6	84.6	85.7
2	7	6	2	4	3.3	11.7	10.0	3.3	6.7
9	15	11	7	14	15.0	25.0	18.3	11.7	23.3
3	0	11	4	4	5.0	0	18.3	6.7	6.7
2	7	6	2	8	3.3	11.7	10.0	3.3	13.3
29	26	34	46	37	48.3	43.3	56.7	76.7	61.7
3	7	3	10	3	6.3	15.6	6.7	21.3	6.3
8	11	3	15	12	16.7	24.4	6.7	31.9	25.0
0	4	6	2	1	0	8.9	13.3	4.3	2.1
1	2	4	1	9	2.1	4.4	8.9	2.1	18.8
13	8	17	14	8	27.1	17.8	37.8	29.8	16.7
0	1	0	3	0	0	2.1	0	6.3	0
39	44	48	40	46	81.3	91.7	100	83.3	95.8
24	25	18	29	21	50.0	52.1	37.5	60.4	43.8
19	12	23	17	14	39.6	25.0	47.9	35.4	29.2
36	31	33	15	13	75.0	64.6	68.8	31.3	27.1
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	2	4	1	4	2.1	4.2	8.3	2.1	8.3
2	11	17	15	0	4.2	22.9	35.4	31.3	0
2	3	1	3	13	4.2	6.3	2.1	6.3	27.1
0	1	0	0	0	0	2.1	0	0	0
93	86	15	15	17	33.7	31.2	5.4	5.4	6.2
61	78	62	56	76	22.1	28.3	22.5	20.3	27.5
14	17	26	27	25	5.1	6.2	9.4	9.8	9.1
1	3	1	1	0	2.1	6.3	2.1	2.1	0
19	12	0	1	2	11.3	7.1	0	0.6	1.2
41	74	12	28	11	17.1	30.8	5.0	11.7	4.6
16	15	32	19	29	6.7	6.3	13.3	7.9	12.1
97	75	105	132	83	40.4	31.3	43.8	55.0	34.6
24	29	21	30	36	10.0	12.1	8.8	12.5	15.0
2	2	1	2	0	0.8	0.8	0.4	0.8	0

表-5 健康項目の環境基準値を超えた割合

水域	項目	年 度				
		55	56	57	58	59
河 川	カドミウム	1,807	1,808	1,808	1,807	1,670
	シアソン	1,808	1,808	1,808	1,807	1,670
	有機燐	84	82	82	76	75
	鉛	1,807	1,808	1,808	1,807	1,670
	クロム(6価)	1,807	1,808	1,808	1,807	1,670
	ヒ素	1,807	1,808	1,808	1,807	1,670
湖 沼	総水銀	1,847	1,848	1,848	1,847	1,710
	アルキル水銀	62	62	62	62	61
	P C B	76	76	76	76	75
	計	11,105	11,108	11,108	11,096	10,271
	カドミウム	34	33	34	33	34
	シアソン	34	33	34	33	34
芦相 ノ模 湖湖 ・ 丹津 沢久 井湖 ()	有機燐	34	33	34	33	34
	鉛	34	33	34	33	34
	クロム(6価)	34	33	34	33	34
	ヒ素	34	33	34	33	34
	総水銀	204	201	203	203	204
	アルキル水銀	34	33	34	33	34
海 域	P C B	34	33	34	33	34
	計	476	465	475	467	476
	カドミウム	516	516	516	516	516
	シアソン	516	516	516	516	516
	有機燐	86	86	86	86	86
	鉛	516	516	516	516	516
東相 京模 湾湾 ()	クロム(6価)	516	516	516	516	516
	ヒ素	516	516	516	516	516
	総水銀	516	516	516	516	516
	アルキル水銀	86	86	86	86	86
	P C B	86	86	86	86	86
	計	3,354	3,354	3,354	3,354	3,354

注 1. n : 調査検体数 m : 環境基準値を超えた検体数

 $m/n \times 100$: 環境基準値不適合率(%)2. 総水銀欄の()内の数字は、 $0.0005 mg/l$ を超えた検体数を示す。

m					m/n × 100				
55	56	57	58	59	55	56	57	58	59
0	0	0	0	1	0	0	0	0	0.1
0	1	0	2	1	0	0.1	0	0.1	0.1
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	2	0	0	0	0	0.1	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(1)	(3)	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	3	0	2	2	0	0.1 以下	0	0.1 以下	0.1 以下
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表-6 BOD(COD)の環境基準達成状況(59年度)

(1) 河川

番号	環境基準類型 あてはめ 水 域 名	類型	達成 期間	指定 年度	環 境 基 準 地 点 数	基 準 を 満 足 す る 地 点 数	基 準 を 満 足 し て い な い 地 点 数				達成 状況
							合計	x/y=100%	100>x/y ≥ 50	50>x/y > 25	
1	※ 多摩川下流	D	ハ	45	1	1					○
2	※ " 中流	C	ハ	45	2		2	2			×
3	鶴見川下流	E	ハ	45	2	2					○
4	※ " 上流	D	ハ	45	1		1		1		×
5	相模川中流	A	口	45	1	1					○
6	下山川	E	口	46	1		1			1	×
7	田越川	E	ハ	46	1	1					○
8	滑川	E	ハ	46	1	1					○
9	神戸川	E	ハ	46	1		1		1		×
10	※ 境川	D	ハ	46	1		1		1		×
11	引地川	D	ハ	46	1	1					○
12	金目川下流	C	ハ	46	1		1		1		×
13	" 上流	A	ハ	46	1		1	1			×
14	葛川	C	ハ	46	1		1		1		×
15	中村川	C	ハ	46	1	1					○
16	森戸川 (小田原市)	D	ハ	46	1		1		1		×
17	酒匂川上流	A	口	46	1		1			1	×
18	山王川	E	ハ	46	1	1					○
19	早川	A	ハ	46	1		1		1		×
20	新崎川	B	ハ	46	1	1					○
21	千歳川	B	ハ	46	1	1					○

番号	環境基準類型 あてはめ 水 域 名	類型	達成 期間	指定 年度	環 境 基 準 地 点 数	基 準 を 満 足 す る 地 点 数	基 準 を 满 足 し て い な い 地 点 数				達成 状況
							合計	$x/y = 100\%$	$100 > x/y \geq 50$	$50 > x/y > 25$	
22	入江川	E	ハ	46	1		1	1			×
23	帷子川	E	ハ	46	1		1		1		×
24	大岡川	E	ハ	46	1		1		1		×
25	宮川	E	ハ	46	1		1		1		×
26	侍従川	E	ハ	46	1	1					○
27	鷹取川	E	ハ	46	1		1		1		×
28	平作川	E	ハ	46	1	1					○
29	森戸川 (葉山町)	E	ハ	46	1		1		1		×
30	相模川下流	C	イ	47	1	1					○
31	※ 相模川上流(2) (相模湖)	A	ハ	47	1		1		1		×
32	" ⁽³⁾ (津久井湖)	A	イ	47	1	1					○
33	松越川	E	ハ	55	1		1		1		×
34	酒匂川下流	B	イ	55	1	1					○

(2) 湖 沼

番号	環境基準類型 あてはめ 水 域 名	類型	達成 期間	指定 年度	環 境 基 準 地 点 数	基 準 を 満 足 す る 地 点 数	基 準 を 满 足 し て い な い 地 点 数				達成 状況
							合計	$x/y = 100\%$	$100 > x/y \geq 50$	$50 > x/y > 25$	
1	芦ノ湖	AA	ハ	47	4		4	2	2		×
2	丹沢湖	A	イ	54	1	1					○

(3) 海域

番号	環境基準類型 あてはめ 水 域 名	類型	達成 期間	指定 年度	環 境 基 準 地 点 数	基 準 を 満 足 す る 地 点 数	基 準 を 満 足 し て い な い 地 点 数				達成 状況
							合計	x/y=100%	100>x/y ≥ 50	50>x/y > 25	
1	東京湾(6)	C	イ	46	5	5					○
2	"(7)	C	イ	46	1	1					○
3	"(8)	C	イ	46	1	1					○
4	※ "	(9)	B	ハ	46	1		1	1		×
5	"(10)	B	ロ	46	1		1		1		×
6	※ "	(12)	B	イ	46	4	1	3	1	1	×
7	"(13)	B	ロ	46	1	1					○
8	"(14)	B	ロ	46	1	1					○
9	"(15)	B	ロ	46	1	1					○
10	※ "	(16)	A	ロ	46	2		2		2	×
11	※ "	(17)	A	イ	46	2	2				○
12	相模湾(1)	A	ハ	54	1	1					○
13	"(2)	A	イ	54	7	7					○

注 1. 環境基準の達成水域の判定について

- (1) 環境基準が達成されているか否かの判定は、環境基準点における 75 % 値が基準値以下であるものを達成地点とした。
 - (2) 1 水域において複数の環境基準点を有する場合は、全ての環境基準点において基準が達成されている場合のみ達成水域とした。
2. ※：県際水域
 3. x : 環境基準に適合しない日数
y : 総測定日数
 4. ○ : 環境基準達成
× : 環境基準未達成
 5. 県際水域についての環境基準達成状況は、本県の環境基準点のみで判定した。